

1550、1570、1575、1580、
1585 シリーズ TerrainCut™ フ
ロントモア



JOHN DEERE

オペレータマニュアル
1500 シリーズ TerrainCut™ フロン
トモア

OMTCU40150 版 : K5 (JAPANESE)

John Deere Turf Care

北米版
Printed in U.S.A.

概要

John Deere の製品をご購入いただき、誠にありがとうございます

当社はお客様に感謝し、未永く機械を安全に満足してご利用いただけるよう願っています。

オペレータマニュアルの使用

このマニュアルは機械の重要な部分です。機械を売却する場合は一緒に引き渡してください。

オペレータマニュアルを読み、ユーザーやその他の人のけが、または機械の損傷の防止に役立ててください。このマニュアルでは、最も安全で最も効果的な機械の使用について説明しています。この機械の安全で正しい操作方法を理解することにより、この機械を操作することがある他の人を訓練することもできます。

アタッチメントを所有している場合は、機械のオペレータマニュアルと一緒にアタッチメントのオペレータマニュアルの安全および操作情報を使用して、アタッチメントを安全に正しく操作してください。

このマニュアルと機械上の安全標示ラベルは、他の言語でも入手可能です (注文するには、認定取扱店にお問い合わせください)。

オペレータマニュアルの各セクションは、すべての安全メッセージの理解とコントロール類の学習を進めやすいように特定の順序で配置されています。したがって、この機械を安全に操作できます。また、このマニュアルを使用して、特定の運転や整備に関する質問に答えることもできます。このマニュアルの最後にある便利な索引を使用すると、必要な情報をすばやく見つけることができます。

このマニュアルに示す機械は、お客様の機械とは少し異なる場合がありますが、説明を理解するうえで十分な類似性を有しています。

「右側」と「左側」は、前進している機械の進行方向に向かった状態で判断します。破線 (-----) が使用されている場合、参照しているアイテムは表示されていません。

この機械を納入する前に、取扱店は機械が最高の性能を発揮できるよう納品前点検を実施しています。

特殊なメッセージ

このマニュアルには、潜在的な安全上の懸念、機械の損傷に注意をうながす特殊なメッセージに加え、役に立つ運転および整備情報が掲載されています。すべての情報を注意深く読み、けがや機械の損傷を防止してください。



注意：けがを防止してください。この記号とテキストは、危険要素や手順を無視した場合に発生する可能性がある、オペレータや近くにいる人の潜在的な危険または死亡事故の可能性について強調しています。

重要：損傷を防止してください。このテキストは、機械の損傷の原因になる可能性があるオペレータの操作や条件を伝えるために使用されています。

注記：オペレータが機械を運転または整備するときに役立つ一般情報は、このマニュアル全体にわたって掲載されています。

機械の装置

お客様の機械がローントラクターであるか、コンパクトユーティリティトラクターであるか、ユーティリティ機械であるかに関係なく、機械でより多くの作業を実施したり、多機能な機械にしたりすることできる John Deere 装置/キットを取り揃えています。

JohnDeere.com でお客様の機械に適した装置の製品ライン全体を確認するか、John Deere 取扱店にお問い合わせください。エアレーターから電動リフトキットさらにチラーに至るまで、すべてのニーズを満たす John Deere アタッチメント/キットがあります。

目次

概要	2
製品識別	4
安全ラベル：説明文あり	5
安全ラベル：説明文なし	11
安全	16
機械の清掃	24
コントロールの操作	25
機械の操作	29
交換部品	57
点検間隔	58
潤滑関連の整備	60
エンジンの整備	63
トランスミッションの整備	79
ステアリングとブレーキの整備	84
電気系統の整備	87
その他の整備	92
トラブルシューティング	100
保管	103
仕様	105
保証	107
John Deere 品質に関する声明	110
整備記録	111

本文書は翻訳版です。
このマニュアルに掲載の全ての情報、画像、仕様は、発行時の情報に基づいています。
予告なしに変更されることがあります。

COPYRIGHT © 2015
DEERE & COMPANY
Moline, Illinois
All rights reserved
A John Deere ILLUSTRATION © Manual
Previous Editions
Copyright © 2014

製品識別

識別番号の記録

フロントモア

1550 PIN (020001～)

1570 PIN (020001～)

1575 PIN (020001～)

1580 PIN (020001～)

1585 PIN (020001～)

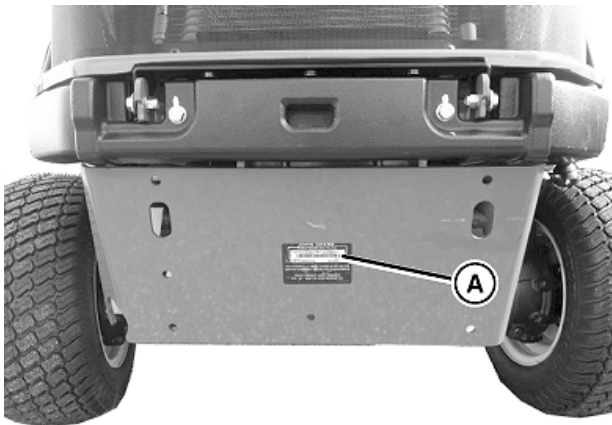
整備に関する情報を認定サービスセンターに問い合わせる必要がある場合は、製品モデルと識別番号を必ず伝えてください。

製品の識別番号の場所を確認する必要があります。下の空欄に情報を記録してください。

購入日：

取扱店名：

取扱店の電話番号：

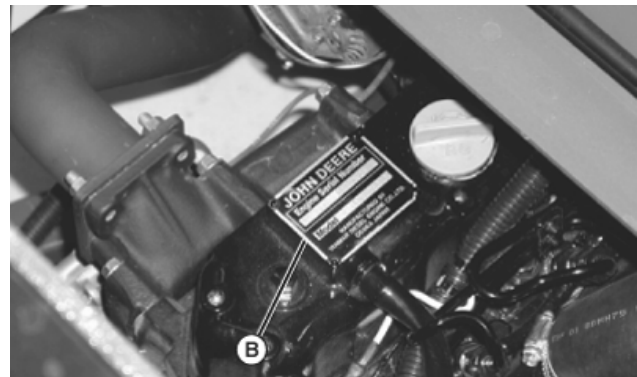


TCT007876—UN—11JUL13

製品識別番号 (A)：



TCT007877—UN—11JUL13

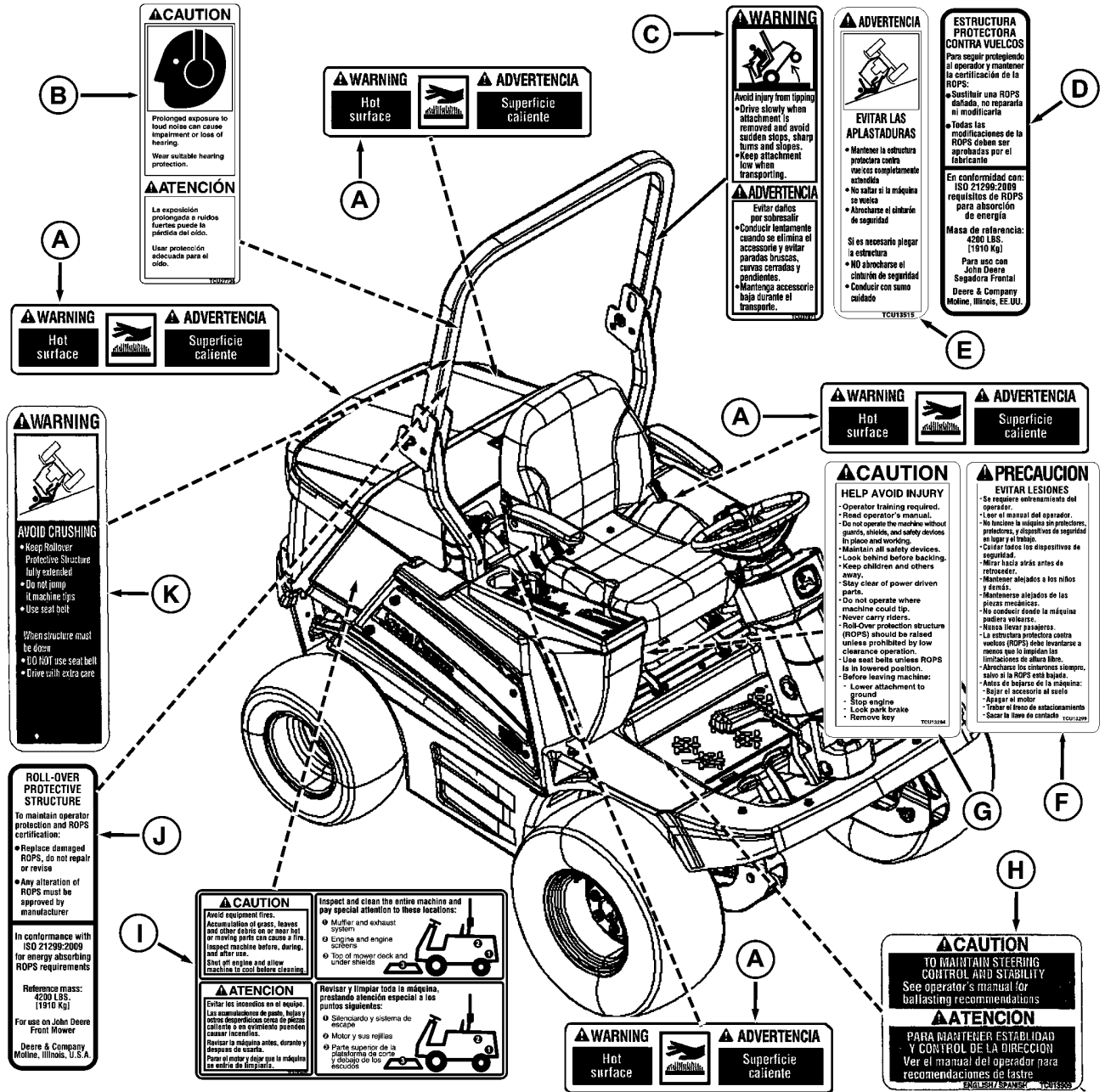


TCAL43291—UN—14MAR13

エンジンシリアル番号 (B)：

安全ラベル：説明文あり

安全ラベルの位置 (キャブなし)



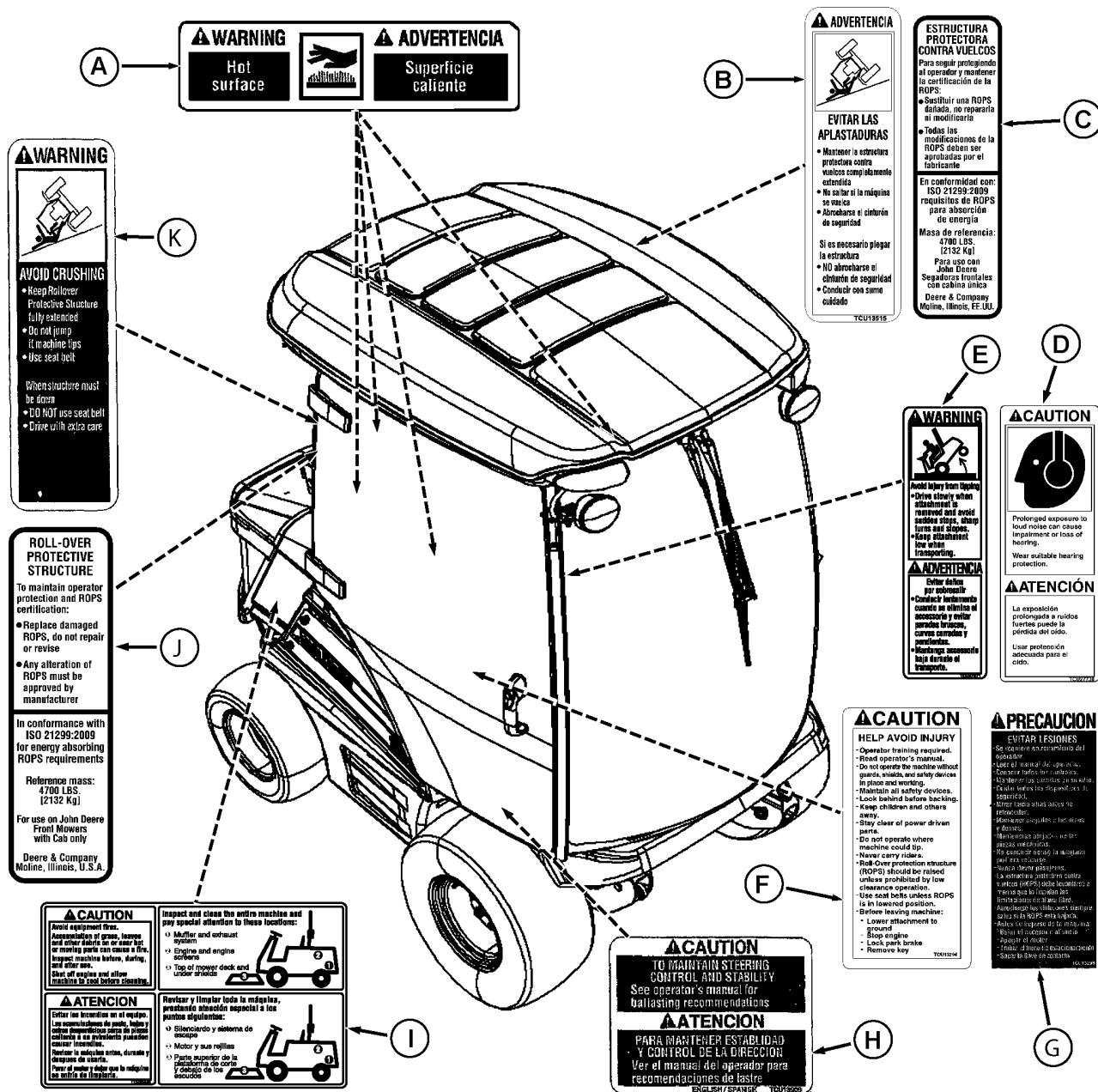
TCT008016—UN—18MAR14

- A — 警告 TCU13554 (後部に 2 箇所、シートの背後に 2 箇所)
B — 注意 TCU27738
C — 警告 TCU39231
D — 転倒時保護構造 TCU34015 (スペイン語)
E — 警告 TCU13515 (スペイン語)
F — 注意 TCU13299 (スペイン語)

- G — 注意 TCU13294
H — 注意 TCU13909
I — 注意 TCU33405
J — 転倒時保護構造 TCU34014
K — 警告 TCU13514

安全ラベル：説明文あり

安全ラベルの位置 (キャブ付きの場合)



- A — 警告 TCU13554 (後部に 2 箇所、シートの背後に 2 箇所)
 B — 警告 TCU13515 (スペイン語)
 C — 転倒時保護構造 TCU36521 (スペイン語)
 D — 注意 TCU27738
 E — 警告TCU39231
 F — 注意 TCU13294

- G — 注意 TCU13299 (スペイン語)
 H — 注意 TCU13909
 I — 注意 TCU33405
 J — 転倒時保護構造 TCU36520
 K — 警告 TCU13514

安全ラベル：説明文あり

機械の安全ラベルの意味



MXAL42363—UN—22MAY13

このセクションで説明する作業機の安全ラベルは、安全に関わる潜在的なリスクに対する注意を喚起するため作業機の重要な部分に表示されています。

お使いの作業機の安全ラベルには、安全警告マークとともに「危険」、「警告」、および「注意」の文字が表示されています。「危険」は最も重大な危険要素を示します。

オペレータマニュアルでは、必要に応じて「注意」の文字と安全警告マークとともに特別な安全に関するメッセージを記載し、安全に関わる潜在的なリスクについて説明しています。

安全ラベルが足りない場合は補充し、状態の悪いラベルは交換します。適切な安全ラベルの位置については、このオペレータマニュアルを使用してください。

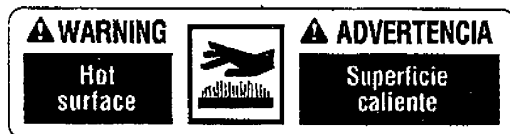
販売業者から供給される部品については、このオペレータマニュアルに転載されていない安全情報がさらに存在する可能性があります。

フランス語またはスペイン語の安全ラベルおよびオペレータマニュアル

この機械のオペレータマニュアルおよび安全ラベルのフランス語版またはスペイン語版は、認定 John Deere 取扱店を通じて入手できます。John Deere 取扱店にお問い合わせください。

注記：テキストラベルおよびテキストなしラベルの両方を以下に示します。お使いの機械にはこれらの種類のラベルのいずれかのみが貼付されています。

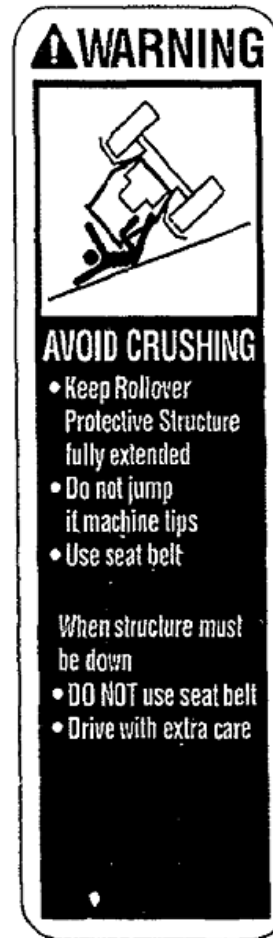
警告



TCAL43293—UN—14MAR13

高温面。

警告



TCU13515

TCT009080—UN—07MAR14

挟み込み防止

- ROPS (転倒時保護構造) を完全に伸長させてください
- 機械が傾いたときは、機械から飛び降りないでください
- シートベルトの着用

ROPS を下げる必要がある場合：

- シートベルトは着用しないでください。
- 十分注意して運転してください

安全ラベル：説明文あり

注意

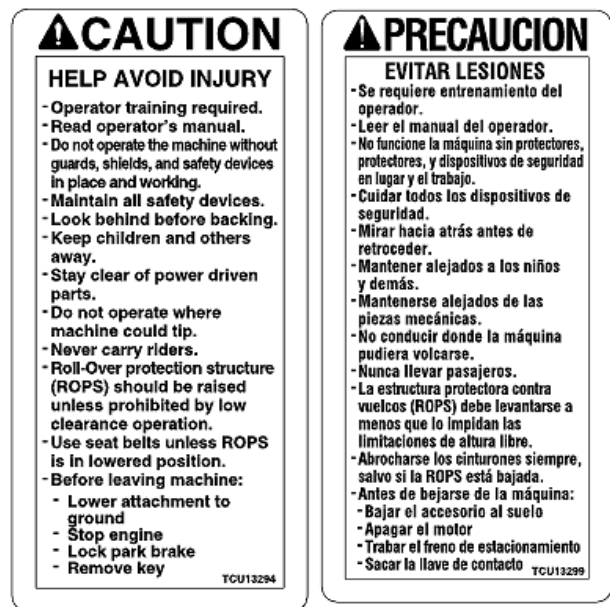
ステアリング制御と安定性を維持してください



TCAL43298—UN—14MAR13

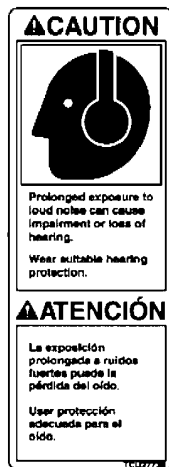
- バラストに関する推奨事項については、オペレータマニュアルを参照してください。

注意



TCT010621—UN—18MAR14

注意



TCAL43292—UN—14MAR13

- 騒音に長期間さらされると、聴覚の障害や損失を引き起こすことがあります。
- 適切な聴覚保護具を着用してください。

けが防止

- オペレータトレーニングが必要です。
- オペレータマニュアルをお読みください。
- すべてのコントロールについて確認してください。
- シールドを所定の位置に取り付けてください。
- すべての安全装置を維持してください。
- 後退する前に、後をよく確認してください。
- 子供や他の人を近づけないでください。
- 動力で駆動される部品から離れてください。
- 横転するおそれのある場所では機械を操作しないでください。
- 絶対に他の人を同乗させないでください。
- 上部との隙間が少ない場所で作業するために禁止されていない限り、ROPS (転倒時保護構造) を上げる必要があります。
- ROPS を下げていない限り、シートベルトを着用してください。
- 機械から離れる前に：
 - 装置を地面まで下げます。
 - エンジンを停止します。
 - パーキングブレーキをかけます。
 - キーを抜きます。

安全ラベル : 説明文あり

警告

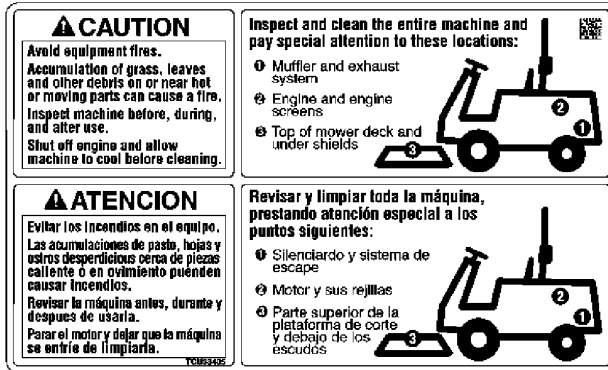


TCT010622—UN—18MAR14

横転によるけがの防止 :

- 装置を取り外しているときは、低速で運転し、急停止を避けて急旋回や傾斜地を避けてください。
- 輸送時は装置を下げた状態に維持してください。

注意



TCT010625—UN—03NOV15

装置火災を防止してください。

熱くなっている部分や可動部分に草、葉、ごみが詰まると、火災の原因になります。

使用前後と使用中に機械を点検してください。

清掃する前にエンジンを止めて、機械の温度を下げてください。

機械全体を点検して清掃し、以下の場所には特に注意してください。

1. マフラーおよび排気システム
2. エンジンおよびエンジンスクリーン
3. モアデッキの上およびシールドの下

転倒時保護構造 (キャブなしの装置)



TCT008512—UN—07MAR14

転倒時保護構造

オペレータ保護と ROPS 認定を維持するための注意事項 :

- 損傷した ROPS は修理や改変をせず、交換してください。
- ROPS の改造にはメーカーの承認が必要です。

ISO 21299:2009 (エネルギー吸収用 ROPS の要件) の適合条件

基準質量 :

4200 lb

[1910 Kg]

John Deere フロントモア用

Deere & Company Moline, Illinois, U.S.A.

安全ラベル：説明文あり

転倒時保護構造 (キャブ付きの装置)



TCT011302—UN—27DEC14

転倒時保護構造

オペレータ保護と ROPS 認定を維持するための注意事項：

- 損傷した ROPS は修理や改変をせず、交換してください。
- ROPS の改造にはメーカーの承認が必要です。

ISO 21299:2009 (エネルギー吸収用 ROPS の要件) の適合条件

基準質量：

4700 lb

[2132 Kg]

John Deere フロントモア (キャブ付き) 専用

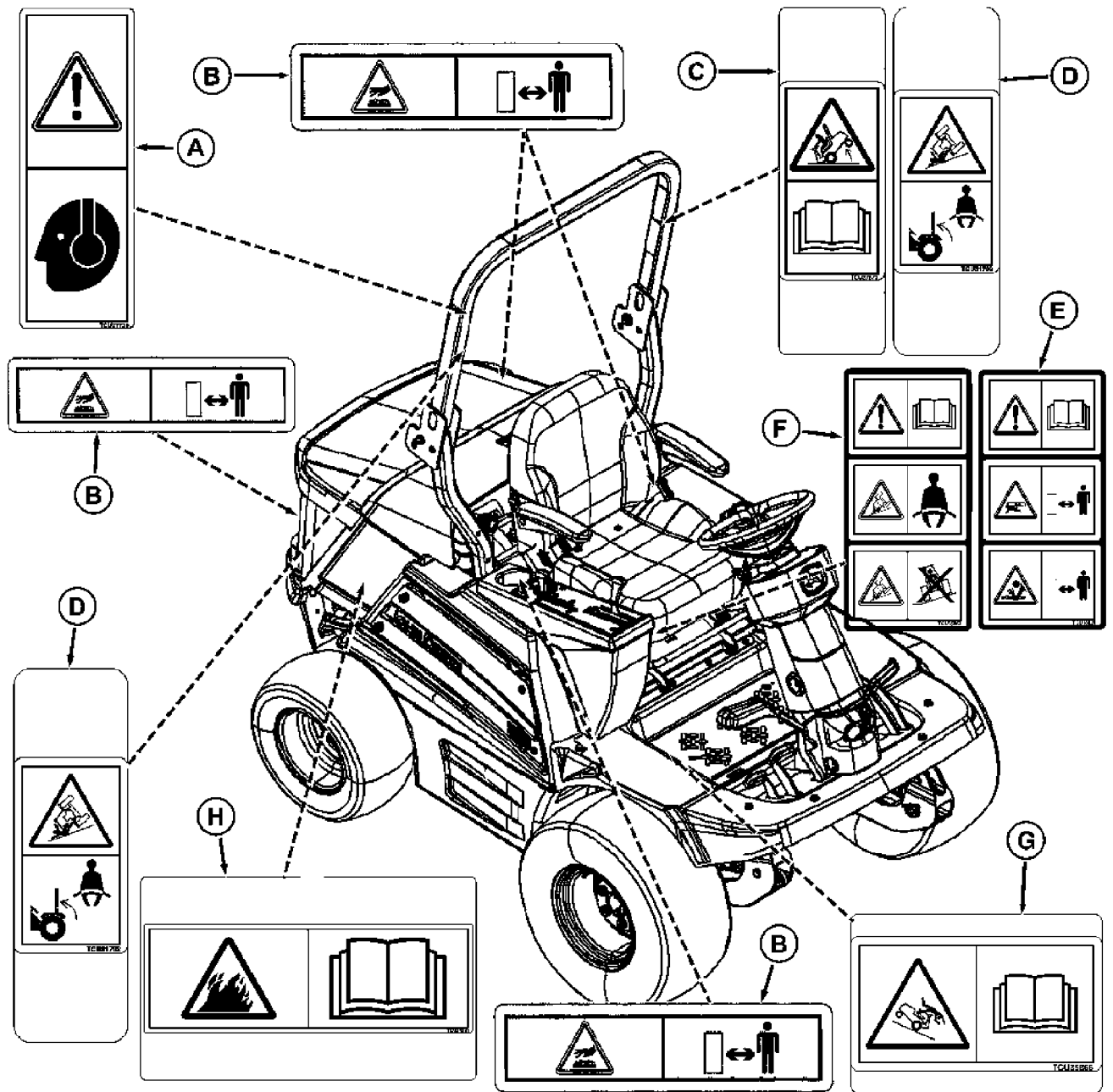
Deere & Company Moline, Illinois, U.S.A.

認定

本製品は、米国規格協会 B-71.4、商用芝生養生装置の安全仕様に適合していることが認定されています。

安全ラベル：説明文なし

安全ラベルの位置 (キャブなし)



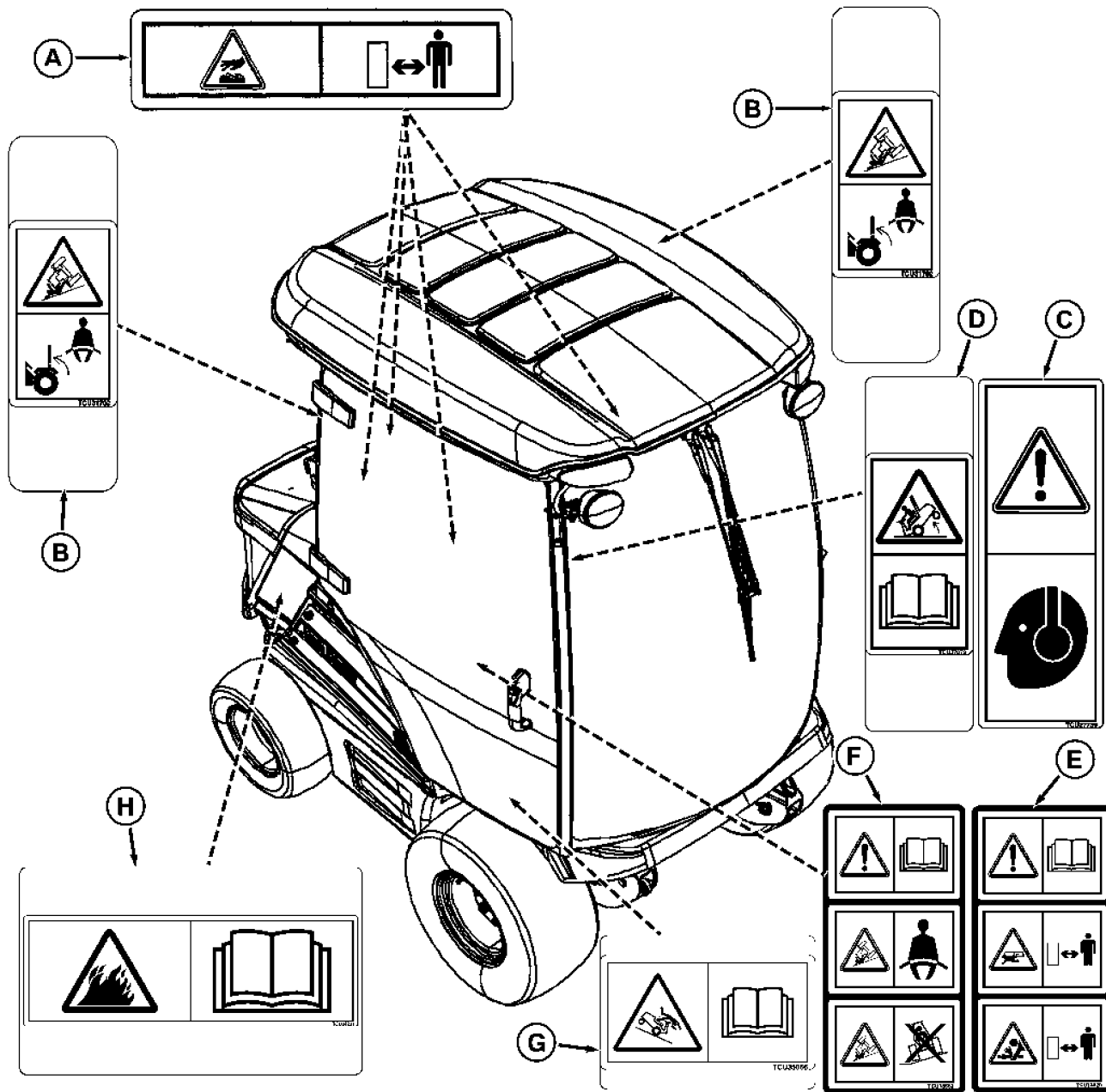
TCT008017—UN—29OCT15

- A — 騒音によるけがの防止 TCU27739
- B — 高温面に注意 TCU13555 (後部に 2 箇所、シートの背後に 2 箇所)
- C — 横転によるけがの防止 TCU37873
- D — 挟み込み防止 TCU31702

- E — けが防止 TCU13520
- F — けが防止 TCU36506
- G — ステアリング制御と安定性の維持 TCU35866
- H — 装置の火災の防止 TCU34231

安全ラベル：説明文なし

安全ラベルの位置 (キャビン付きの場合)



TCT009078—UN—03NOV15

- A — 高温面に注意 TCU13555 (後部に 2 箇所、シートの背後に 2 箇所)
- B — 挟み込み防止 TCU31702
- C — 騒音によるけがの防止 TCU27739
- D — 横転によるけがの防止 TCU37873

- E — けが防止 TCU13520
- F — けが防止 TCU36506
- G — ステアリング制御と安定性の維持 TCU35866
- H — 装置の火災の防止 TCU34231

安全ラベル：説明文なし

絵入りの安全標示ラベル



TCT005498—UN—11SEP12

この機械のいくつかの重要な場所には、潜在的な危険を知らせるために安全標示ラベルが貼られています。危険要素は、警告用三角ラベルの絵で示されます。隣接する絵はけがを防ぐための情報を提供します。これらの安全標示ラベル、機械上のラベルの位置、および簡単な説明をこの「安全」セクションに示します。

販売業者から供給される部品については、このオペレータマニュアルに転載されていない追加の安全情報が存在する可能性があります。

挟み込み防止



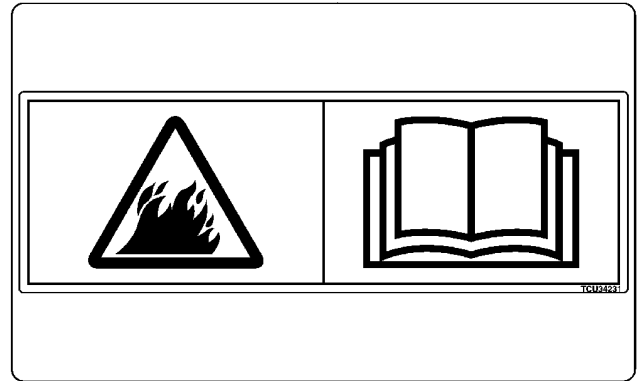
TCAL25049—UN—24MAY12

- 横転保護構造を完全に伸長させてください。
- 機械が傾いたときは、機械から飛び降りないでください
- シートベルトの着用

横転保護構造を下す必要がある場合：

- シートベルトは着用しないでください。
- 十分注意して運転してください。

装置火災の防止



TCT010624—UN—19MAR14

装置の火災を回避してください。

熱くなっている部分や可動部分に草、葉、ごみが詰まると、火災の原因になります。

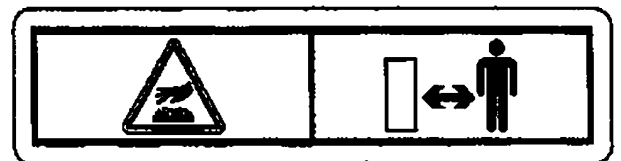
使用前後と使用中に機械を点検してください。

清掃する前にエンジンを止めて、機械の温度を下げてください。

機械全体を点検して清掃し、以下の場所には特に注意してください。

1. マフラーおよび排気システム
2. エンジンおよびエンジンスクリーン
3. モアデッキの上およびシールドの下

高温面



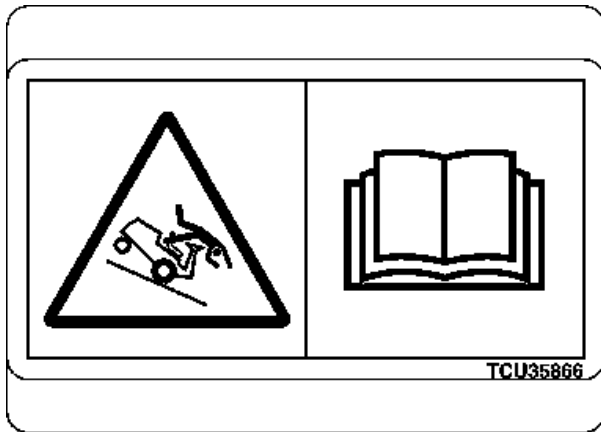
TCAL45198—UN—10APR13

高温面に近づかないでください。

安全ラベル：説明文なし

ステアリング制御と安定性の維持

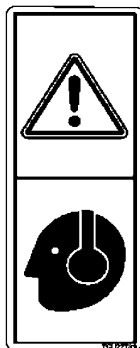
ステアリング制御と安定性を維持してください



TCT008321—UN—14AUG13

- バラストに関する推奨事項については、オペレータマニュアルを参照してください。

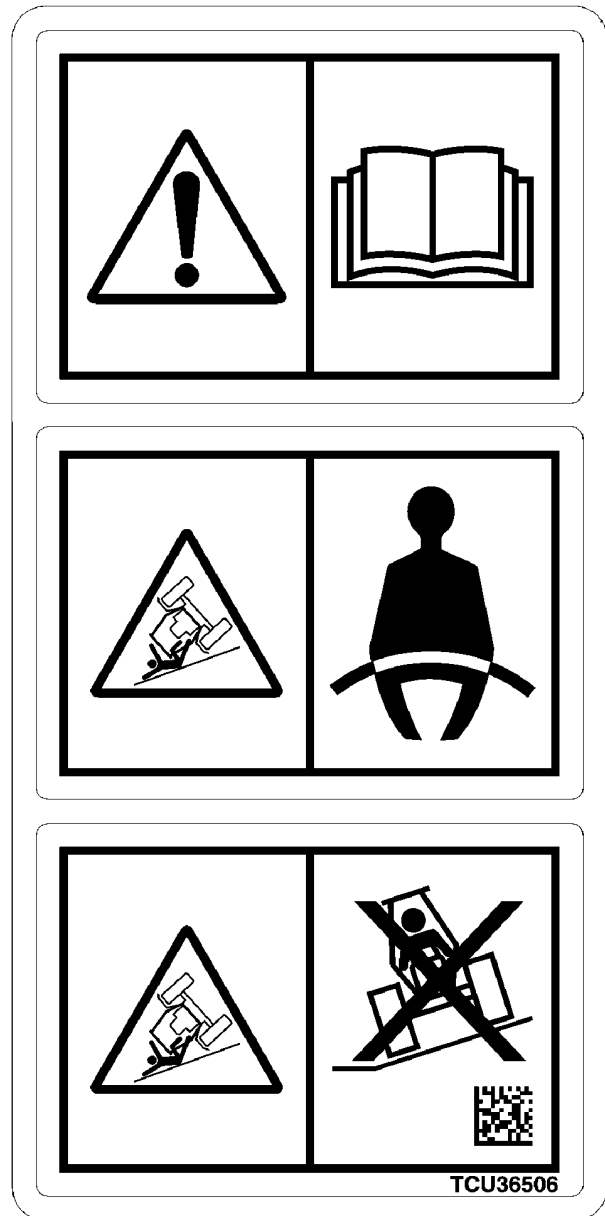
大きな騒音によるけがの防止



TCAL45197—UN—10APR13

- 騒音に長期間さらされると、難聴や聴力障害の原因となることがあります。
- 適切な聴覚保護具を着用してください。

けが防止



TCT011362—UN—29OCT15

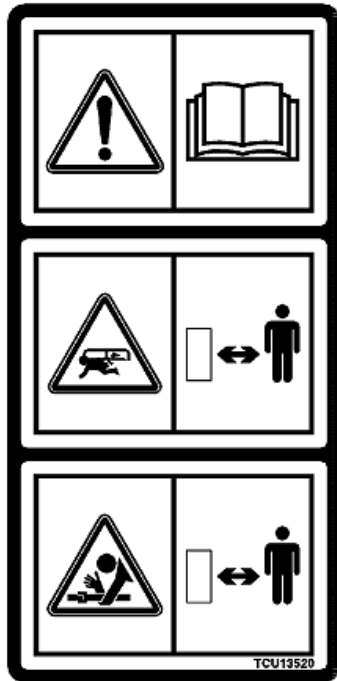
けがを防止してください

- オペレータトレーニングが必要です。
- 横転するおそれのある場所では機械を操作しないでください。
- 絶対に他の人を同乗させないでください。
- 上部との隙間が少ない場所で作業するために禁止されていない限り、ROPS (転倒時保護構造) を上げる必要があります。
- ROPS を下げていない限り、シートベルトを着用してください。
- 機械から離れる前に：
 - 装置を地面まで下げます。
 - エンジンを停止します。

安全ラベル：説明文なし

- パーキングブレーキをかけます。
- キーを抜きます。
- 10 度を超える傾斜面では絶対にこの機械を操作しないでください。

けが防止

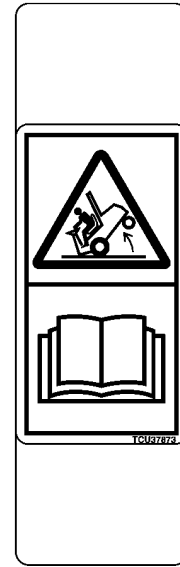


TCT008323—UN—14AUG13

けがを防止してください

- オペレータトレーニングが必要です。
- オペレータマニュアルをお読みください。
- すべてのコントロールについて確認してください
- シールドを所定の位置に取り付けてください。
- すべての安全装置を維持してください。
- 後退する前に、後をよく確認してください。
- 子供や他の人を近づけないでください。
- 動力で駆動される部品から離れてください。

横転によるけがの防止



TCT010623—UN—19MAR14

横転によるけがの防止：

- 装置を取り外しているときは、低速で運転し、急停止を避けて急旋回や傾斜地を避けてください。
- 輸送時は装置を下げた状態に維持してください。

必須のオペレータトレーニング

- オペレータマニュアル、アタッチメントのマニュアル、および他のトレーニング資料をよくお読みください。オペレータや整備士が英語を読めない場合は、所有者がこの資料について説明する責任があります。このマニュアルは他の言語でも用意されています。
- 装置の安全な操作、オペレータコントロール、安全標示ラベルをよく理解してください。
- すべてのオペレータと整備士がトレーニングを受けてください。機械の所有者はユーザーのトレーニングについて責任があります。
- 子供またはトレーニングを受けていない人に絶対に装置の操作や整備をさせないでください。現地の法規制によりオペレータの年齢が限定される場合があります。
- 所有者／ユーザーは自分自身、他の人、所有物に対し事故やけがを予防でき、またそうする責任があります。
- 機械の操作は、障害物のない広々とした場所で、熟練したオペレータの指導の下で行ってください。
- 装置を下げて動かさないで、作業エリアのテスト走行を行ってください。悪路の上を走行する際は、速度を落としてください。

準備

- 地形を評価して、作業を適切かつ安全に実行するために必要なアクセサリとアタッチメントを決定します。メーカーが認可しているアクセサリとアタッチメントのみを使用してください。
- ヘルメット、安全メガネ、聴力保護用具を含む適切な衣服を着用してください。長髪、緩めの衣服、装飾品は可動部品に絡まる可能性があります。
- 機器を走行させる場所を点検し、機械に弾き飛ばされるおそれがある岩や石、玩具、ワイヤなどの物体はすべて取り除いてください。
- ガソリンや他の燃料を扱う際には特別の注意を払ってください。これらは可燃性があり、燃料蒸気は爆発性があります。
 - a. 認定された容器のみを使用してください。
 - b. エンジン運転中は、絶対にガスキャップを外したり燃料を補充しないでください。喫煙しないでください。
 - c. 絶対に屋内で機械への燃料の補充または抜き取りを行わないでください。
- オペレータプレゼンスコントロール、安全スイッチ、シールドが取り付けられ、正しく機能していることを点検してください。正しく機能していない場合は操作しないでください。

安全な操作

- 危険な一酸化炭素ガスが溜りやすい閉鎖された場所では絶対にエンジンを作動させないでください。
- 十分な明るさのある場合のみ、穴や隠れた危険を回避しながら操作してください。
- エンジンの始動前に、すべての駆動装置がニュートラルで、パーキングブレーキがかかっていることを確認してください。必ずオペレータ位置からエンジンを始動してください。装備されている場合はシートベルトを着用してください。
- 傾斜地では速度を落とし、特に注意を払ってください。傾斜地では必ず推奨されている方向に走行してください。本機では、傾斜面を上下に移動することはできませんが、斜面を横切る形では走行しないでください。芝の状態は作業機の安定性に影響することがあります。急斜面の近くでの作業中は注意してください。
- 傾斜地での旋回や方向転換は、減速して慎重に行ってください。
- ブレードが回転しているときは絶対にデッキを上げないでください。
- PTO シールドやその他のガードが所定の位置にしっかり配置されていない場合は、絶対に操作しないでください。すべてのインターロックが取り付けられ、適正に調整され、正しく機能していることを確認してください。
- グラスキャッチャを使用している場合を除き、絶対に排出デフレクタを上昇させて、取り外して、または改造して操作しないでください。排出シュートまたはグラスキャッチャ全体を所定の場所に取り付けていない状態でモアを使用しないでください。
- エンジンガバナーの設定を変更したり、エンジンが過回転しないようにしてください。過度の回転数でエンジンを運転すると、けがの危険性が高くなります。
- グラスキャッチャを空にするまたはシュートの詰まりを除去するなどの理由により運転席から離れる前に、水平な場所に機械を停車し、装置を下げて駆動装置の接続を解除し、パーキングブレーキをかけ、エンジンを止めてください。
- 何かにぶつかった場合や異常な振動が起きた場合は、装置を止めてブレードを点検してください。必要な修理を行ってから作業を再開してください。
- カuttingユニットに手足を近づけないでください。
- 後退前に背後と下側を見て、進路に障害物がないことを確認します。
- 絶対に同乗者を乗せず、ペットや周囲の人を近づけないでください。
- 旋回する場合や、道路や歩道を横断する場合は、速度を落として慎重に操作してください。刈り作業中以外はブレードを停止してください。道路の近くで作業する場合や道路を横断する場合は、周りの交通状況に注意してください。
- モアの排出方向に注意し、人に向けないようにしてください。

- アルコールまたは薬物の影響を受けている間は、機械を操作しないでください。
- トレーラーやトラックへの機械の積み込み、積み下ろしの際は注意してください。
- 見通しの悪い曲がり角、植木の茂み、樹木、その他の視界を遮る物に近づいているときは注意してください。
- 操作する前に機械を点検してください。金具が締まっていることを確認してください。損傷、ひどい摩耗、または損失した部品を修理あるいは交換してください。ガードとシールドの状態が良好で所定の位置に固定されていることを確認してください。運転する前に必要な調整を行ってください。
- 使用前に、必ずブレード、ブレードのボルト、モアアッセンブリが摩耗・損傷していないことを目視点検してください。ブレードとボルトは、摩耗や損傷がある場合には、バランスを保つためセットで交換してください。
- アクセサリやアタッチメントを取り付ける際は、安全ラベルが見えるように取り付けてください。
- 操作中にラジオや音楽用ヘッドフォンを着用しないでください。整備および操作を安全に行うには十分な注意が必要です。
- 機械に誰もいない状態で放置、保管、駐車するときは、確実な機械式ロックを使用していない限り、モアデッキを下げてください。

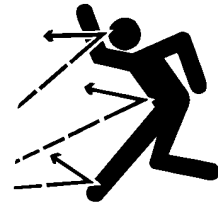
スパークアレスタの使用

カリフォルニア公的資金規約 (California Public Resources Code) セクション 4442.5 には次のように記載されています。

安全衛生規約のセクション 13005 ではなく、セクション 4442 または 4443 に従い、何人も誰に対してもいかなる内燃エンジンの販売、販売提案、リース、またはレンタルを行わないこととします。ただし、販売時点またはリース/レンタル契約の開始時点において、森林、雑木林、草地でエンジンを作動させることがセクション 4442 または 4443 に違反することを述べている書面による通知を購入者または受託者に提供している場合を除きます。また、セクション 4442 に定義されているスパークアレスタがエンジンに装備され、正常に作動する状態に維持されているか、セクション 4443 に従って防火用にエンジンが構成、装備、維持されている場合を除きます。カリフォルニア 公的 資金 規約 4442.5。

他の州または管轄地域にも同様の法律が存在する場合があります。各機械のスパークアレスタは認定取扱店から入手できます。取り付けられたスパークアレスタは、オペレータが正常に作動する状態に維持する必要があります。

芝刈り領域の確認



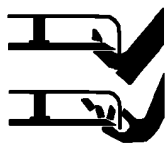
MXAL41932—UN—22MAY13

- 引き倒される可能性がある物を芝刈りエリアから除去します。芝刈りエリアへの人やペットの立入りを禁止します。
- 低く垂れ下がっている枝や同様の障害物でオペレータがけがをしたり、芝刈り作業が中断する可能性があります。芝刈りの前に、低く垂れ下がっている枝など、可能性のある障害物を確認し、これらの障害物を刈り込むか、取り除きます。
- 芝刈りエリアを調査してください。安全な芝刈りパターンを設定してください。駆動力や安定性が疑われる場所では、芝刈りを行わないでください。
- 装備されている場合はモアを下げて作動させずに、領域のテスト走行を行ってください。粗い地面の上を走行する際は、速度を落としてください。
- 刈り作業対象の領域全体を調査し、本機を安全に操作できる勾配と、他のメンテナンス作業で維持する必要がある勾配を確認します。

安全な駐車

1. 機械を平坦な場所に停車します。斜面で停車しないでください。
2. モアのブレードや他のアタッチメントをすべて解除します。
3. 装置を地面まで下げます。
4. パーキングブレーキをかけます。
5. エンジンを停止します。
6. キーを抜きます。
7. オペレータシートを離れる前に、エンジンとすべての可動部が停止するのを待ちます。
8. 燃料シャットオフバルブを閉じます (機械に装備されている場合)。
9. 機械を整備する前に、バッテリーのマイナスケーブルの接続を外すか、スパークプラグワイヤを取り外します (ガソリンエンジンの場合)。

回転中のブレードは危険です。



MXAL41928—UN—18FEB13

- 回転しているブレードにより、腕や脚を切ったり、物が飛ばされる可能性があります。安全上の注意事項に従わない場合、重傷事故や死亡事故が発生する可能性があります。
- エンジン運転中は、モアデッキに手、脚、服を近づけないでください。
- 前進および後退とも、常に細心の注意を払ってください。オペレータが気づく前に、人、特に子供などが芝刈りエリアに急に入ることがあります。
- 後退する前に、モアブレードやアタッチメントを停止し、機械の下側や後ろに特に子供がいないか慎重に確認してください。
- 後退しながら芝刈りを行わないでください。
- 刈り作業をしていないときは、ブレードを停止します。
- グラスキャッチャを空にする場合やシュートの詰まりを直す場合も含めて、何かの理由で運転席を離れる時は、必ず機械を安全に駐車してください。

子供の保護

- 死亡や重傷事故は、誰かに芝刈り機に同乗させてもらった経験から幼い子供が芝刈り機を「楽しい物」としてとらえてしまっている場合に起こります。
- 子供は芝刈り機器や芝刈りの作業に対して関心を持つものです。回転中のブレードの危険性やオペレータが子供の存在に気付かないことを、彼らは理解できていません。
- 以前に機械に乗せてもらったことのある子供は、また乗せてもらいたくて刈り作業区域に突然入り込み、機械の前部や後部で轢かれる可能性があります。
- 子供の悲劇的な事故は、オペレータが子供の存在に気が付かない場合、特に子供が背後から機械に近づいた場合に起こる可能性があります。後退する前、および後退中は、モアのブレードを停止し、特に子供に注意して機械の下方と後方をよく確認してください。
- ブレードを外してある場合でも、絶対に子供を機械または付属装置に同乗させてはいけません。またカートやトレーラに子供を乗せて引っ張ってはいけません。落ちて重傷を負ったり、機械の安全操作を妨げたりすることがあります。
- 本機は決してレクリエーション用 ビークル (RV) として、あるいは子供を楽ませるために使用しないでください。

- 子供、または訓練されていない者に機械を操作させてはいけません。本機や付属装置に子供を乗せないよう、オペレータ全員に指示してください。
- 芝刈り機の操作中、子供は屋内に入れて刈り区域に近づけないようにし、オペレータ以外の責任ある大人の監視下においてください。
- 子供の存在や出現を常に予期して操作を行ってください。子供は、つい今しがた居たところにはじっとしていないものと考えてください。作業区域に子供が入ってきたら機械を止めます。

傾斜面での操作

安全な操作のための傾斜の確認

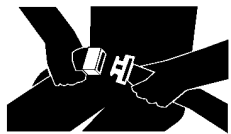
- 傾斜面で作業する場合は、作業手順とルールを確立してください。手順には、刈り作業対象のエリア全域を調査し、どの斜面ならこの機械を安全に操作できるかの判断が含まれていなければなりません。常識と的確な判断をもって調査を行ってください。
- 長さ 1.2 m (4 ft) のまっすぐなランバー材を傾斜面に置き、アングルインジケータやプロトラクターにより傾斜角を測定します。
- 25° を超える傾斜角度では絶対に作業機で刈り作業や操作を行わないでください。
- 推奨される最大傾斜角の 25° を超えると転倒のリスクが増し、重傷や死亡につながるおそれがあります。
- 制御不能や転倒事故のリスクを判断する際は、予想される芝の状態と傾斜面の角度を必ず考慮します。
- 15° 以下の傾斜面では転倒のリスクは低いですが、傾斜角が John Deere が推奨する 25° の最大角度になるとリスクが中程度まで増大します。
- 推奨傾斜角度は基本構成の機械を対象としています。基本構成とは、モアデッキのみを装備し、キャビン、MCS またはその他の装置なしの構成です。キャビン、MCS、その他の装置を追加すると、横転の危険性が高くなり、推奨操作傾斜角度が小さくなります。

傾斜面での安全な操作

- 傾斜地は、重大なけがまたは死亡を招く可能性がある制御不能や転倒事故に関連する重要な要因です。傾斜地で操作する際は、いかなる場合でも特別な注意が必要となります。
- 傾斜面で不安を感じる場合には、刈り作業を行わないでください。
- 傾斜面での刈り作業は、斜面に対して横の方向ではなく上下方向に行います。
- 穴、わだち、隆起、石や岩、その他の隠れた物体などに注意してください。不均等な地形では機械が転倒するおそれがあります。背の高い草により障害物が隠れる可能性があります。
- 傾斜地で停車またはシフトする必要がないように低い対地速度を選択してください。
- タイヤのトラクションが失われていなくても、転倒することがあります。

- 芝が濡れているまたは滑りやすいときに移動する場合は注意してください。タイヤがトラクションを失う可能性があります。ブレーキが適切に機能している場合でも、傾斜地ではタイヤがトラクションを失うまたはスリップすることがあります。
- 傾斜面では、発進、停車、または旋回を避けます。タイヤのトラクションがなくなった場合は、PTO を解除し、斜面をゆっくり真直ぐに降りてください。
- 傾斜面ではすべての動きをゆっくりと徐々に行ってください。急に速度や方向を変えないでください。機械が横転する可能性があります。
- グラスキャッチャやその他の装置を取り付けて機械を操作しているときは特に注意してください。これらは機械の安定性に影響を与える可能性があります。これらの装置は急な斜面では使用しないでください。
- 危険区域付近では刈り作業または機械の操作を行わないでください。機械が横転する原因となります。ホイールが縁に乗り上げたり、縁が崩れた場合は、機械が突然トラクションを失ったり、滑ったり、横転したりすることがあります。危険区域と刈り作業区域の間に、機械の幅以上の緩衝区域を維持します。
- 傾斜地で運転する場合、または機械の前部または後部に取り付ける装置を使用する場合は、安定性を高めるためにホイールウエイトやカウンタウエイトに関するメーカーの推奨事項に従ってください。不要な場合は、ウエイトを取り外してください。
- 装置を取り外している時は、機械を非常にゆっくりと運転し、急停止を避けてください。
- 傾斜面で作業する際は、装置を地面まで下ろした状態に維持します。傾斜面での作業中に装置を上げると、機械が不安定になるおそれがあります。
- 機械を輸送する際は、装置を下ろして安定性を確保します。

シートベルトの適切な着用



TCAL42361—UN—08MAR13

- 転倒時保護構造 (ROPS) を使用して機械を操作するときはシートベルトを着用し、転倒などの事故によるけがを防止してください。
- 折りたたみ式 ROPS を折りたたんだ位置にして機械を操作する場合は、シートベルトを使用しないでください。できるだけ早く折りたたみ式 ROPS を直立位置に戻してください。
- シートベルトの改造、分解、修理は行わないでください。
- シートベルトの取り付け具、バックル、ベルト、引き込み部に損傷の見られる場合は、シートベルト全体を交換してください。

- シートベルトと取り付け金具は少なくとも年に 1 回点検してください。金具の緩みや、ベルトの傷み (切れ、ほつれ、過剰または異常な擦り切れ、変色、摩耗など) の兆候に注意してください。John Deere 認定の交換部品のみを使用してください。
- 厚目の衣服の重ね着はシートベルトの正しい位置決めの障害となり、ベルトの効果が低減する可能性があります。

ROPS (転倒時保護構造) の正しい使用

- 絶対に ROPS を取り付けないで機械を運転しないでください。
- ROPS を取り外さないでください。
- ROPS に損傷がないこと、すべての取り付け金具がしっかりと締め付けられていることを定期的に十分点検し、安全に作動する状態に ROPS を維持してください。ROPS の構造が緩んでいたり、何らかの理由で取り外されていたりする場合には、ROPS のすべての部品が正しく取り付けられていることを確認します。ROPS のすべての金具は、メーカー推奨事項にある適切なトルクで締め付けられている必要があります。
- 損傷している ROPS は交換してください。修理または改造しないでください。ROPS が構造的な損傷を受けた場合、横転事故にあった場合、または溶接、曲げ、穴あけ、または切断により何らかの改造を施された場合、ROPS の保護機能が損なわれます。メーカーの認定を維持するのに交換は必要です。
- シートは ROPS の安全ゾーンの一部です。John Deere 認定のシートのみで交換してください。
- 緊急時にシートベルトをすばやく外すことができることを確認してください。
- 損傷、改造された ROPS は絶対に修理しないでください。構造に関するメーカーの認定を維持するには、交換する必要があります。
- 障害物の下を運転する前に、頭上高 (枝、出入口、電気配線などと機械の隙間) を慎重に確認してこれらの物に接触しないでください。
- ROPS は一体型の有効な安全装置です。機械を運転中は、折りたたみ式 ROPS を上げてロック位置に維持してシートベルトを着用してください。
- 絶対に必要な場合のみ折りたたみ式 ROPS を一時的に下げてください。折りたたんでいるときは、シートベルトを着用しないでください。
- 折りたたみ式 ROPS を下げている場合、転倒保護機能はないことに注意してください。
- 刈り作業の区域を点検し、傾斜、急斜面、溝、盛り土、または水が多い場所がある区域では絶対に折りたたみ式 ROPS を折りたたまないでください。

同乗の禁止

- 機械にはオペレータのみが乗り込むことができます。同乗は許可しないでください。

- 機械またはアタッチメントに同乗すると、異物にぶつかったり、機械から落ちて重傷を負う危険があります。
- また、同乗者はオペレータの視界を妨げて機械の安全な運転が損なわれます。

公道での安全運転

公道での衝突によるケガや、死亡事故が起きないように十分気をつけてください。

- 安全ライトや装置を使用してください。夜間など、見通しの悪い公道を運転する際は、ゆっくり走行してください。
- 公道を走行中は常に、地元に規制に従い、点滅警告灯をや方向指示器を使用してください。必要があれば点滅警告灯を追加してください。

ホイール金具の点検

- ホイール金具がきちんと締めつけられていなければ、重大な事故が生じて重傷者が出る可能性があります。
- 作業開始後 100 時間までは、ホイール金具の締め具合を頻繁に点検してください。
- ホイールの金具が緩んでいる場合は、適切な手順に従って指定のトルクまで締める必要があります。

適切な衣服の着用



TCAL41682—UN—08MAR13

- 作業時には安全ゴーグルまたはサイドシールド付きの安全メガネ、そしてヘルメットを必ず着用してください。
- ぴったりした衣類と作業に適した安全具を着用してください。
- 作業時には必ず作業靴と長ズボンを着用してください。裸足やサンダル履きで装置を操作しないでください。
- 耳栓などの適切な保護具を着用してください。騒音により難聴や聴力障害が起こることがあります。

安全な牽引

- 停車距離は、速度、牽引物の重量に伴い長くなります。ゆっくりと走行し、停止するまでの時間と距離の余裕を確保してください。
- 牽引総重量は、牽引する機械、バラスト、オペレータの重量を超えないでください。アタッチメントまたは牽引車両のオペレータマニュアルに記載されて

いるとおりにカウンターウエイトまたはホイールウエイトを使用してください。

- 牽引荷重が過大な場合、トラクションが失われたり、傾斜地で制御できなくなる可能性があります。傾斜地での運転時は牽引重量を減らしてください。
- 被牽引装置に子供や他の人を絶対に乗せないでください。
- 認可されているヒッチのみを使用してください。牽引用のヒッチを備えた機械でのみ牽引してください。認可されたヒッチポイント以外の場所に被牽引装置を取り付けしないでください。
- 牽引式装置および傾斜地での牽引時の重量制限については、メーカーの推奨事項に従ってください。
- 牽引荷重がある状態で傾斜地を後退できない場合は、牽引荷重に対し傾斜がきつすぎます。牽引負荷を減らすか、運転しないでください。
- 急旋回しないでください。路面条件の悪いところでの方向転換や運転では、さらに注意してください。後退するときは、十分注意してください。
- 下り坂でギアをニュートラルに入れて惰走しないでください。

メンテナンスと保管



TCAL43414—UN—15MAR13

- 危険な一酸化炭素ガスが溜まりやすい閉鎖された場所では絶対に機械を作動させないでください。
- 駆動装置の接続を解除し、インプルメントを降ろし、パーキングブレーキをかけ、エンジンを止め、キーを抜き取るかスパークプラグの接続を外します(ガソリンエンジンの場合)。調整、清掃、または修理の前に、すべての動きが停止するまで待ちます。
- 火災防止のため、カッティングユニット、駆動装置、マフラー、エンジンから草やごみを取り除きます。こぼれているオイルや燃料を拭き取ります。
- 保管する前にエンジンを冷まします。火気の周辺には保管しないでください。
- 保管中や輸送中は燃料を遮断してください。火気周辺に燃料を保管したり、室内で燃料を抜き取ったりしないでください。
- 機械を平坦な場所に駐車します。訓練を受けていない人には絶対に機械の整備を任せないでください。作業を開始する前に、整備の手順を確認してください。
- 必要な場合は、ジャッキスタンドを使用するか、整備用のラッチをロックして部品を支持してください。整備作業で持ち上げる必要のある機械部品はしっかりと支持してください。

- 機械またはアタッチメントを整備する前に、油圧部品やスプリングなど、エネルギーが残っている部品から圧力を慎重に解放してください。
- アタッチメントまたはカッティングユニットを地面または機械的ストッパーまで下ろし、油圧制御レバーを前後に動かして油圧を解放してください。
- 修理を行う前に、バッテリーの接続を外すか、スパークプラグ (ガソリンエンジンの場合) を取り外してください。最初にマイナス端子、次にプラス端子の順に接続を外してください。最初にプラス端子、次にマイナス端子の順に再接続してください。
- タインまたはブレードを点検するときは十分注意してください。タインまたはブレードを整備するときは、タインまたはブレードを覆うか、手袋を着用し、十分注意してください。タインまたはブレードは交換のみ行います。絶対にまっすぐにしたり溶接したりしないでください。
- 可動部品に手、脚、着衣、装飾品、長い髪を近づけないでください。可能な場合は、エンジンを運転して調整を行わないでください。
- 十分に換気され、開放された場所で、火花や炎から離してバッテリーを充電してください。バッテリーに充電器を接続したり、切断したりする前に充電器をコンセントから抜いてください。保護服を着用し、絶縁した工具を使用してください。
- すべての部品を適切な作動状態に保ち、すべての金具を締め付けた状態に保ちます。擦り切れたり損傷しているステッカーはすべて交換してください。
- グラスキャッチャの構成部品と排出用ガードを頻繁に点検し、必要に応じてメーカーの推奨部品と交換してください。グラスキャッチャの部品の摩耗、損傷、劣化により、可動部動が露出したり、物体が飛ばされることがあります。
- 特にタインまたはブレード取り付けボルトなど、すべてのナットやボルトをきつく締め、装置が安全な作業条件であることを確認してください。
- ブレーキの効き具合を頻繁に点検してください。必要に応じて調整や整備を行ってください。
- 複数のブレードがある機械では、1つのタインまたはブレードが回転すると他のタインまたはブレードも回転する可能性があることに注意してください。

高圧流体の回避



TCAL25960—UN—24MAY12

- 油圧ホースおよび油圧ラインは、物理的に破損やねじれがある場合、また長期の使用あるいは苛酷な作業条件下での使用により正常に機能しなくなることがあります。ホースとラインは定期的に点検してください。破損しているホースとラインは交換します。

- 作動油の接続部分は、物理的な破損や振動で緩むことがあります。接続部分を定期的に点検してください。接続部分が緩んでいる場合には締めます。
- 圧力のかかった液体が噴き出すと、皮膚に侵入して大けがをする恐れがあります。油圧パイプや他のパイプを外す前に圧力を解放して、危険を回避してください。また、圧力をかける前にすべての接続をしっかりと締めてください。
- ボール紙で漏れを探してください。手や身体を高圧流体から保護してください。
- 事故が発生した場合は、直ちに医師の診察を受けてください。皮膚にかかった液体は、数時間以内に外科的に除去する必要があります。除去しないと、壊疽を引き起こす場合があります。このような外傷に慣れていない医師は、専門医療機関に問い合わせてください。このような情報は、Deere & Company Medical Department (Moline, Illinois, U.S.A) から入手できます。米国およびカナダで情報を得るには、1-800-822-8262 までお電話ください。

火災防止

- すべてのオペレータにこれらの推奨事項を復習するように伝えてください。質問がある場合は、John Deere 取扱店にお問い合わせください。
- 機械およびこのオペレータマニュアルに掲載されているすべての安全手順に必ず従ってください。点検や清掃を行う前に必ずエンジンを止め、パーキングブレーキをかけ、イグニッションキーを抜いてください。
- 定期メンテナンスに加えて、お使いの John Deere 装置の性能を十分に発揮させ、火災の危険を減らすための最良の方法の1つは、機械に堆積したごみを定期的に取り除くことです。
- 操作後、機械を清掃または保管する前に、機械を広い場所で冷ましてください。木、布、化学薬品など、可燃物の近くや、給湯器やボイラーなどの直火や点火源の近くに機械を駐車しないでください。
- 保管前には、グラスキャッチャのバッグや容器やカーゴボックスを完全に空にして、装置からすべての可燃物を完全に取り外してください。
- ごみは、機械のあらゆる場所 (特に水平な面) に堆積する可能性があります。機械の操作の前後に、エンジンルームとマフラー、およびモアデッキ上の草やごみを完全に取り除きます。乾燥した状態での芝刈りやマルチング作業のときは、追加の清掃が必要な場合があります。
- 使用前と保管前の機械の清掃に加えて、エンジン部分を清潔に保つことは、火災予防に最も役立ちます。定期的な点検および清掃を必要とするその他のエリアには、ホイールリムの背後、ワイヤハーネス、ホース/ラインの取り回し、モア装置などがあります。これらのエリアを清潔に保つには、圧縮空気、リーフブロア、高圧水が役に立ちます。
- これらの点検や清掃の頻度は、運転条件、機械構成、運転速度、特に乾燥、高温、風の強い条件といった天候条件など、複数の要因に応じて変わります。

す。このような条件で運転している場合は、これらのエリアを終日にわたって頻繁に点検し清掃してください。

- 注油が多すぎたり、機械に燃料やオイルが漏れたり流出したりすると、刈り屑が集まる場所となる可能性があります。機械を早めに修理し、燃料やオイルを清浄にすることにより、刈り屑が集まる可能性を抑えます。
- ベアリングの故障や過熱は、火災につながる可能性があります。この危険を減らすため、機械のオペレータマニュアルに記載されている、潤滑の間隔と位置に関する指示に常に従ってください。潤滑間隔や潤滑位置について質問がある場合やベアリングの位置している可能性のある個所から何らかの異音が聞こえる場合は、最寄りの取扱店にお問い合わせください。暖まっているときの機械の洗浄もベアリング寿命を短くしてベアリングの早期故障の可能性を高めます。
- 機械に燃料遮断機能がある場合は、機械の保管や輸送時に必ず燃料を遮断してください。
- 燃料ライン、タンク、キャップ、継手に亀裂や漏れがないか頻繁に点検します。必要に応じて交換します。

安全な輸送

- 機械をトレーラーやトラックに積み降ろしする際は、注意してください。
- トレーラーやトラックに機械を積み込むための全幅のランプを使用してください。
- 適切なストラップ、チェーン、ケーブル、またはロープを使用して機械を結束してください。前後のストラップは機械の外側に、下に向ける必要があります。
- 詳細については、「操作」セクションの「機械の輸送」を参照してください。

タイヤの安全



TCAL25965—UN—24MAY12

タイヤやリム部品の破裂は死傷事故の原因となることがあります。

- 適切な装置と十分な経験がない場合は、タイヤの取り付けを行わないでください。
- 常に正しいタイヤ空気圧を維持してください。推奨タイヤ空気圧を超えてタイヤに空気を入れないでください。決して、ホイールおよびタイヤアセンブリを溶接したり加熱したりしないでください。加熱すると空気圧が上がり、タイヤが爆発します。溶接すると、ホイールが構造的に弱くなったり、変形することがあります。

- タイヤに空気を入れるときは、クリップオン式のチャックと、タイヤアセンブリの前や上ではなく片側に立つことができる程度に十分長い延長ホースを使用してください。
- タイヤに圧不足、切れ、泡、リムの損傷、ラグボルトとナットの不足がないか点検します。

燃料の安全な取り扱い



TCAL25966—UN—24MAY12

けがや器物破損の防止のため、燃料の取扱いは慎重に行ってください。燃料は非常に引火性が高く、燃料蒸気は爆発性があります。

- タバコ、葉巻、パイプ、その他の発火の原因となるものをすべて消してください。
- 認定された燃料容器のみを使用してください。Underwriter's Laboratory (UL) または米国試験材料協会 (ASTM) により認定された非金属のポータブル燃料容器のみを使用してください。ファネルを使用する場合は、プラスチック製であり、金網やフィルタがないことを確認してください。
- エンジン運転中は、絶対に燃料タンクのキャップを取り外したり、燃料を追加したりしないでください。燃料を補給する前にエンジンが冷めるまで待ちます。
- 絶対に屋内で機械に燃料を追加したり、燃料を抜き取らないでください。機械を屋外に移動し、適切な換気を用意してください。
- こぼれた燃料はすぐに拭き取ってください。燃料が衣服にこぼれた場合は、すぐに着替えてください。機械の近くに燃料がこぼれた場合は、エンジンを始動しないで、こぼれたエリアから機械を移動してください。燃料蒸気が消散するまで、着火源を発生させないでください。
- 絶対に直火、火花、または給湯器その他の電気器具内などの点火用ライトがあるところに機械または燃料容器を保管しないでください。
- 静電気による火災や爆発を防止してください。静電気によって、アースが取られていない燃料容器の燃料蒸気に着火することがあります。
- 絶対に、車両内で、またはトラックやトレーラーのプラスチックライナーのベッドの上で容器に燃料を充填しないでください。燃料を補給する前に、必ず車両から離れた地面の上に容器を置いてください。

- 燃料で駆動される装置をトラックやトレーラーから取り外して、地面の上で装置に燃料を補給してください。これが不可能な場合は、燃料ディスペンサノズルからではなく携帯型容器でこれらの装置に燃料を補給してください。
- 燃料の補給が完了するまで、ノズルを燃料タンクや容器のリムに常に接触させてください。ノズルロック開放装置は使用しないでください。
- 絶対に燃料タンクに入れすぎないでください。燃料タンクキャップを元に戻して、しっかりと締め付けます。
- 使用後は、燃料タンクと容器のすべてのキャップはしっかりと元の位置に戻してください。
- ガソリンエンジンの場合、エタノール混合ガソリンは使用しないでください。メタノールは健康と環境に有害です。

廃棄物や薬剤の取り扱い

使用済みのオイル、燃料、クーラント、ブレーキ液、バッテリーなどの廃棄物は環境および人にとって有害です。

- 飲料容器を廃液に使用しないでください。誤飲の恐れがあります。
- 廃棄物のリサイクルや処分の方法については、現地のリサイクルセンターまたは認定取扱店にお問い合わせください。
- 製品安全データシート (MSDS) は、化学製品に関する具体的な情報を提供します。物理的危険や健康上の危険、安全手順、緊急時の対処方法が記載されています。各機械で使用されている薬剤製品の販売業者はその製品の MSDS を提供する責任があります。

清掃エリア

機械全体を点検して清掃し、以下の場所には特に注意してください。

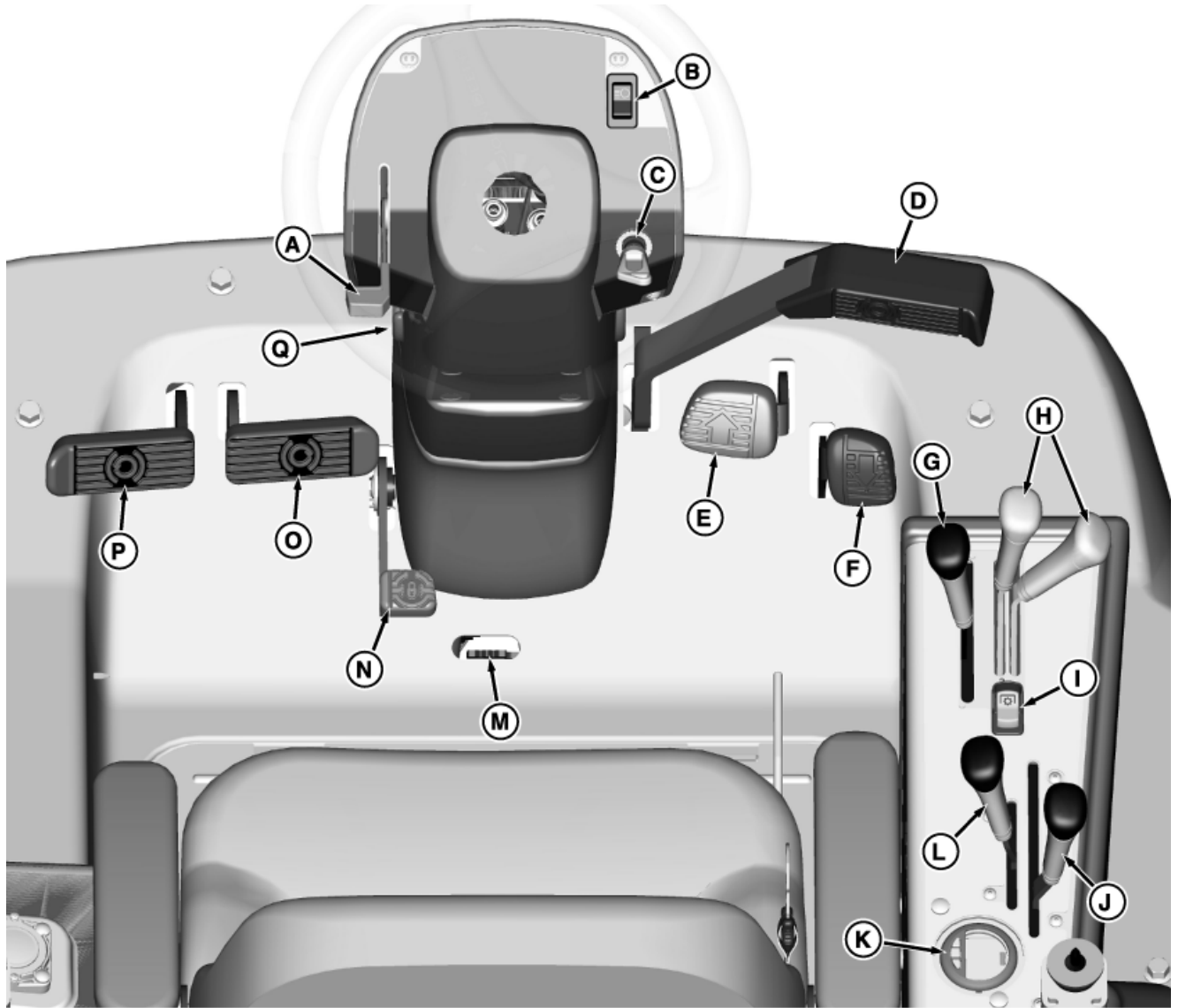


TCT011363—UN—03NOV15

1. マフラーと排気システム (A)。
2. エンジンとエンジンスクリーン (B)。
3. モアデッキの上とシールドの下 (C)。

コントロールの操作

オペレータステーションのコントロール類：
1550、1570、1580



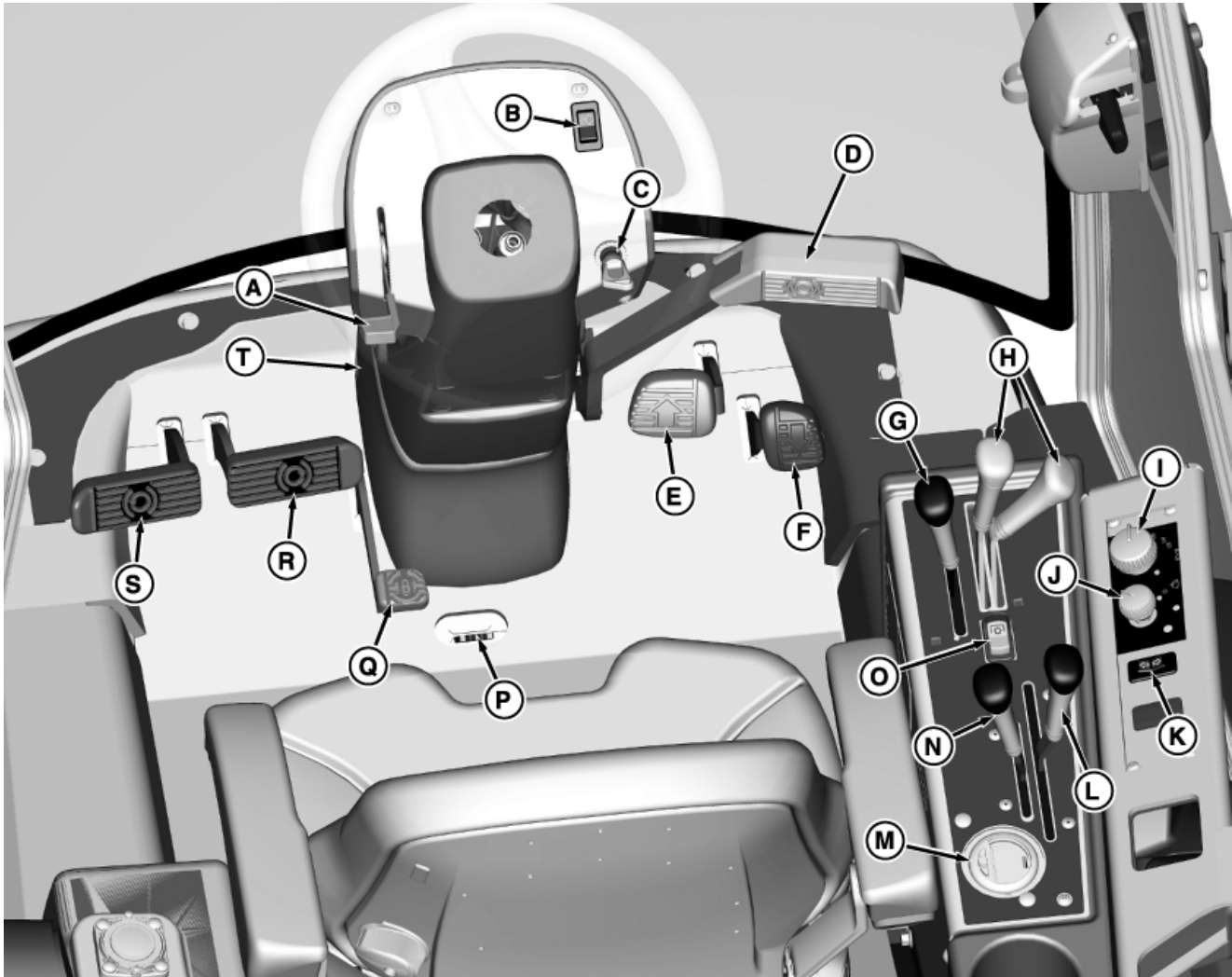
TCT010628—UN—20MAR14

図：4 輪駆動モデル

- | | |
|-----------------------------|------------------------|
| A — スロットルレバー | J — 4WD コントロールレバー |
| B — ワークランプスイッチ | K — オペレータディスプレイ |
| C — キースイッチ | L — 車軸速度レバー |
| D — パーキングブレーキペダル | M — パーキングブレーキロックレバー |
| E — 前進ペダル | N — トラクションアシストペダル |
| F — 後退ペダル | O — 右旋回ブレーキペダル |
| G — 装置リフトレバー | P — 左旋回ブレーキペダル |
| H — 補助油圧装置コントロールレバー (オプション) | Q — ステアリングコラムチルトレバーロック |
| I — PTO スイッチ | |

コントロールの操作

オペレータステーションのコントロール類：
1575/1585 (キャブモデル)



TCT010626—UN—20MAR14

図：1585 モデル

A —スロットルレバー
B —ワークランプスイッチ
C —キースイッチ
D —パーキングブレーキレバー
E —前進ペダル
F —後退ペダル
G —装置リフトレバー
H —補助油圧装置コントロールレバー
I —ライトスイッチ
J —ウインドシールドワイパースイッチ

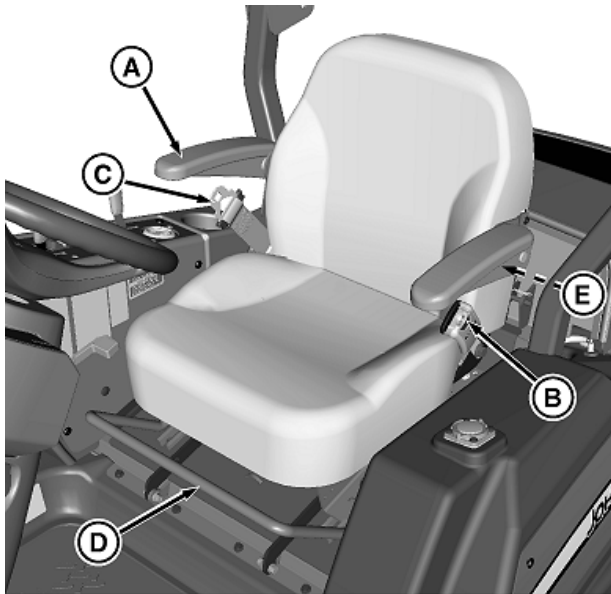
K —ターンシグナルスイッチ
L —4WD コントロールレバー
M —オペレータディスプレイ
N —車軸速度レバー
O —PTO スwitch
P —パーキングブレーキロックレバー
Q —トラクションアシストペダル
R —右旋回ブレーキペダル
S —左旋回ブレーキペダル
T —ステアリングコラムチルトレバーロック

コントロールの操作

シートのコントロール類

重要： けがを防止してください。転倒時保護構造 (ROPS) を直立位置にし、その位置に固定して機械を運転するときは、シートベルトを着用してください。隙間の小さい区域で運転するために ROPS を折りたたむ必要がある場合は、シートベルトを使用しないでください。条件が許す限り早く ROPS を上げてシートベルトを着用してください。

シートのコントロール類：ひじかけ付きデラックスコンフォートシート

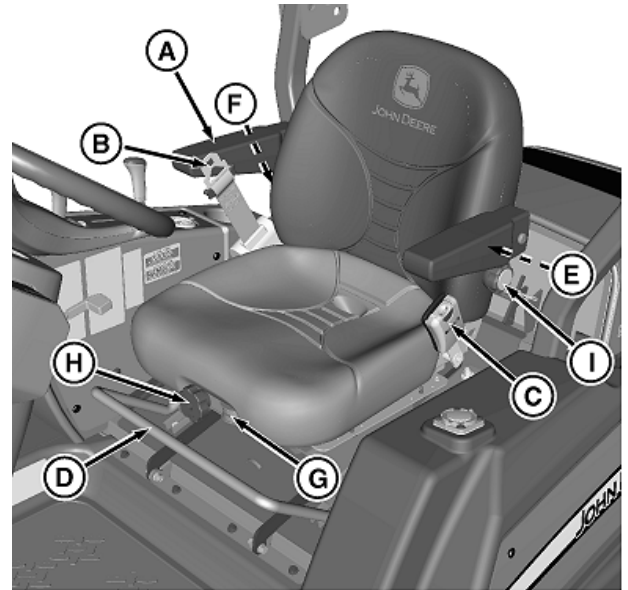


TCT008505—UN—20SEP13

- A — 折りたたみ式ひじかけ
- B — シートベルトラッチ
- C — シートベルトバックル
- D — シート前後調整レバー
- E — ひじかけ高さ調整ノブ

- 快適性を最大にして機械の制御も維持できるように前後位置を調整してください。
- 運転時にステアリングホイールとフットペダルを容易に使用できることを確認してください。
- 各ひじかけの下の方のノブを調整してひじかけを上げ下げできます。

シートのコントロール類：ひじかけ付き調整式サスペンションシート



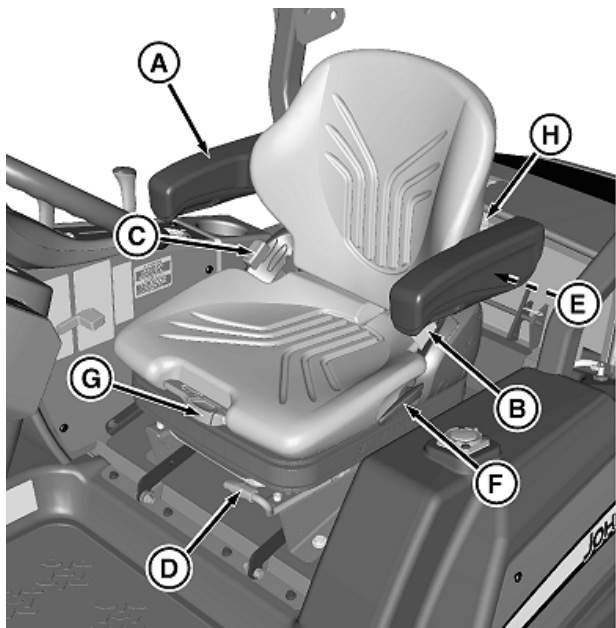
TCT008506—UN—20SEP13

- A — 折りたたみ式ひじかけ
- B — シートベルトラッチ
- C — シートベルトバックル
- D — シート前後調整レバー
- E — ひじかけ高さ調整ノブ
- F — シートバック調整ノブ
- G — 体重インジケータ
- H — シートサスペンション調整クランク
- I — ランバーサポートノブ

- 快適性を最大にして機械の制御も維持できるように前後位置を調整してください。
- 運転時にステアリングホイールとフットペダルを容易に使用できることを確認してください。
- 各ひじかけの下の方のノブを調整してひじかけを上げ下げできます。
- ハンドクランクを使用してサスペンションを調整します。
- 体重インジケータをモニタしてオペレータの体重に設定を維持します。
- シートバック調整ノブを使用してシートレキを必要な角度に調整します。
- 下部シートバックのサポートは、シートバックの右側にあるランバーサポートノブを使用して調整できます。

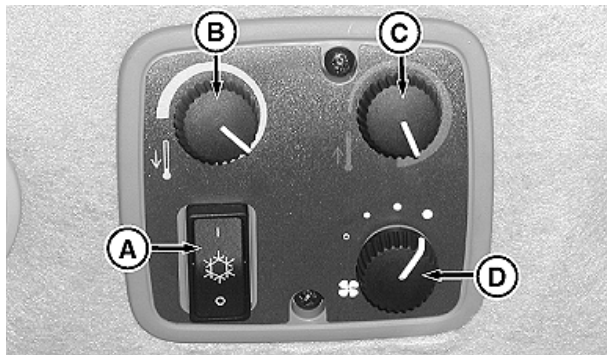
コントロールの操作

シートのコントロール類 : エアライドサスペンションシート



TCT008507—UN—20SEP13

空気温度のコントロール類 (キャビン付きの場合)



TCT008311—UN—13AUG13

- A — エアコン/デフロスタスイッチ
- B — エアコン温度コントロールノブ
- C — ヒーター温度コントロールノブ
- D — ブロー速度制御ノブ

- A — 折りたたみ式ひじかけ
- B — シートベルトラッチ
- C — シートベルトバックル
- D — シート前後調整レバー
- E — ひじかけ高さ調整ノブ
- F — シートバック調整レバー
- G — 空気圧スイッチ
- H — ランバーサポートノブ

- 快適性を最大にして機械の制御も維持できるように前後位置を調整してください。
- 運転時にステアリングホイールとフットペダルを容易に使用できることを確認してください。
- 各ひじかけの下の方のノブを調整してひじかけを上げ下げできます。
- 空気圧スイッチを使用してサスペンションを調整します。
- シートバック調整レバーを使用してシートレキに必要な角度に調整します。
- 下部シートバックのサポートは、シートバックの左側にあるランバーサポートノブを使用して調整できます。

機械の操作

日常運転チェックリスト

毎回使用前

- ☐ エンジンオイルを点検する
- ☐ 作動油を点検します。
- ☐ クーラントを点検します。
- ☐ 漏れを点検します。
- ☐ タイヤを点検し、空気圧をチェックします。
- ☐ 安全インターロックシステム、ライトを点検します。
- ☐ ブレーキシステムを点検します。
- ☐ 空気ろ過システムを点検します。
- ☐ 部品に緩み、欠損、損傷がないか点検します。
- ☐ すべての安全ガードとシールドを点検します。
- ☐ 燃料／ウォーターセパレータを点検します。
- ☐ ベルトを点検します。
- ☐ ペダルとステアリングコントロールを点検します。
- ☐ シートベルトを点検します。
- ☐ ボンネットのシール面を点検して清掃します。

使用後

- ☐ 燃料の点検／補充
- ☐ 機械からごみを取り除きます。
- ☐ 冷却システムからごみを取り除きます。
- ☐ モア／装置の駆動システムからごみを除去します。
- ☐ カuttingユニットおよび装置からごみを除去します。
- ☐ モアデッキの下側からごみを除去します。
- ☐ モアデッキのドライブベルトを点検します。
- ☐ モアブレードを点検します。
- ☐ 洗浄後に機械を潤滑します。

プラスチック面や塗装面の損傷防止

- 最初に水で洗っていない限り、プラスチック部品を拭かないでください。乾いた布を使用すると、傷の原因になります。
- 防虫スプレーは、プラスチックや塗装面を傷める可能性があります。機械の近くで防虫剤を噴霧しないでください。
- 機械に燃料をこぼさないように注意してください。燃料は機械の面を傷める可能性があります。こぼれた燃料はすぐに拭き取ってください。
- 長期にわたって日光にさらされると、ボンネット面が損傷します。

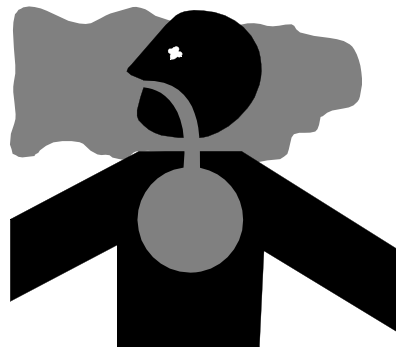
機械への乗降 (キャビン付きの場合)



TCT008319—UN—14AUG13

1. 左右からキャビンに乗り込むには、ハンドルボタン (A) を押してドアを開きます。ドアが閉位置にロックするまでドアを開めます。
2. キャビンから出るには、内側のドアハンドルのハンドルをひねってドアを開けます。

安全システムのテスト



TCAL41599—UN—22JAN13

⚠ 注意： エンジンの排気ガスは一酸化炭素を含んでおり、深刻な疾患や死亡の原因になります。

- エンジンを運転する前に、機械を屋外に移動させてください。
- 適切な換気装置がない密閉された場所でエンジンを運転しないでください。
- エンジンの排気管に延長管を接続して、排気ガスをエリア外に排出してください。
- 屋外の新鮮な空気を作業エリアに取り込み、排気ガスを除去してください。

機械を使用する前に、機械に装備されている安全システムを点検する必要があります。これらの安全システムの点検を実施する前に、機械のオペレータマニュアルをよく読み、機械の運転を完全に習得してください。

機械の操作

機械の通常の運転のための点検手順については、以下に従ってください。

これらの手順中に故障が確認された場合は、機械を運転しないでください。**整備については、認定された取扱店にお問い合わせください。**

これらのテストは、開放されたエリアで行ってください。人を近づけないでください。

PTO スイッチのテスト

- シートに座ってシートがオペレータの体重に合わせて正しく調整されていることを確認します。(シートスイッチが作動するようにシートが少し沈む必要があります)。
- パーキングブレーキをかけます。
- PTO スイッチをオンにします。
- エンジンの始動を試みます。
結果：エンジンは始動できますが、PTO は接続しません。
- PTO スイッチをオンにしたままパーキングブレーキを解除します。
結果：PTO は接続しません。接続した場合、安全インターロック回路に問題があります。
- PTO スイッチを入れ直します。
結果：PTO が接続します。

シートおよびパーキングブレーキスイッチのテスト

- シートに座ってシートがオペレータの体重に合わせて正しく調整されていることを確認します。(シートスイッチが作動するようにシートが少し沈む必要があります)。
- 以下の手順に従って PTO スイッチをオフにします。スイッチの PTO ノブを「OFF」位置まで押し下げます。
- マスターブレーキペダルを踏み込みます。
- エンジンを始動します。
- マスターブレーキペダルを解除します。
- シートから腰を上げますが、機械からは降りないでください。

結果：数秒後にエンジンが停止する必要があります。エンジンが停止しない場合、安全インターロック回路に問題があります。

パーキングブレーキのテスト

機械を 17° の斜面 (30% 勾配) に停車します。エンジンを停止してパーキングブレーキをかけます。

結果：パーキングブレーキは機械を静止状態に保持しなければなりません。(ANSI 規格では 1 時間に 61cm (24 in) 未満の動きは許容されています)。これ以上機械が動く場合は、ブレーキを調整する必要があります。John Deere 取扱店にお問い合わせください。

正しいバラストの使用



TCT007879—UN—11JUL13

- この機械で使用される装置は、装置を上げたときに転倒や制御不能を防止するためにバラストを取り付ける必要がある場合があります。
- 機械や装置のモデルと年式に応じてバラストは異なります。
- バラストに関する情報については、装置のオペレータマニュアルを参照し、John Deere 取扱店にお問い合わせください。

シートの調整 (デラックスサスペンション)

シート位置の調整

- シートに座ります。
- シート調整レバーを引き上げてロック位置から解放します。
- シートを前後にスライドさせて希望の位置に動かします。オペレータの右足のかかとを前進／後退ペダルの前のフロアにしっかりと置くことができる必要があります。
- レバーを放します。

シートスプリング張力の調整

- 体重インジケータを確認しながらシートスプリング調整ノブを回してシートスプリング張力を調整します。

機械の操作

- オペレータの体重と体重インジケータに表示されている値を一致させます。オペレータプレゼンススイッチが作動してエンジンを始動できるように、シートが少し沈む必要があります。

シート高さの調整

- シート高さロックが解除されるまで、シートベースの前部、およびシート高さ調整レバーを引き上げます。
- オペレータシートを必要な高さまで上げ下げします。(4つの位置を利用できます)。
- シート高さロックレバーを解除し、ラッチがかかるまでシートを少し動かし続けます。

シートの調整 (コンフォート調整サスペンション)

シート位置の調整

- シートに座ります。
- シート調整レバーを引き上げてロック位置から解放します。
- シートを前後にスライドさせて希望の位置に動かします。オペレータの右足のかかとを前進/後退ペダルの前のフロアにしっかりと置くことができる必要があります。
- レバーを放します。

シートサスペンションの調整

ゲージに表示されているオペレータの体重に合わせて、必要な位置までノブを回します。

シートバックの調整

- ノブを右 (時計回り) に回して、シートバックを直立位置にします。
- ノブを左 (反時計回り) に回して、シートバックを少し傾けます。

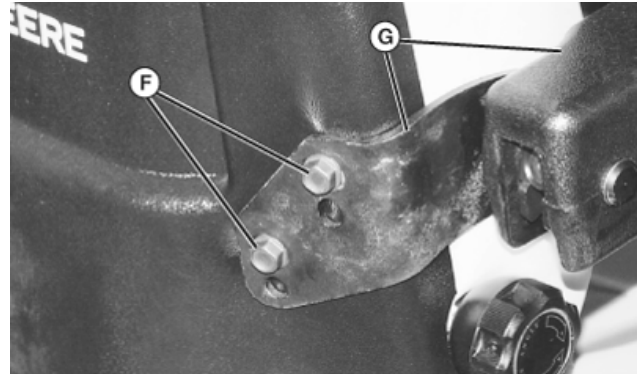
ランバーサポートの調整

- ランバーサポートノブを左 (反時計回り) に回して、ランバーサポートを弱くします。
- ランバーサポートノブを右 (時計回り) に回して、ランバーサポートを強くします。

ひじかけの調整

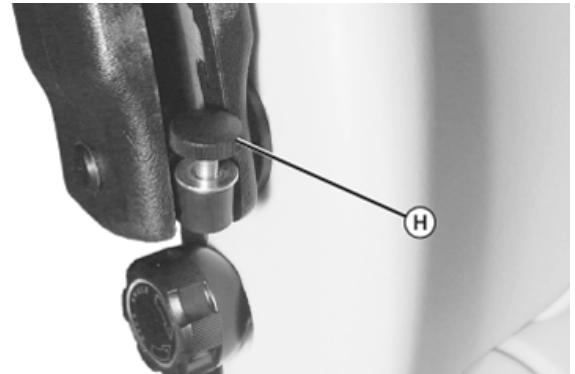
- 両側のひじかけを上下に動かすには、以下の手順に従います。

に従います。



TCAL43313—UN—14MAR13

- ボルト 2 個 (F) を取り外し、ひじかけとブラケット (G) をもう一方のセットの穴に上げます。
 - ボルトを取り付けて締め付けます。
- 両側のアームレストの角度を変更するには、以下の手順に従います。



TCAL43314—UN—14MAR13

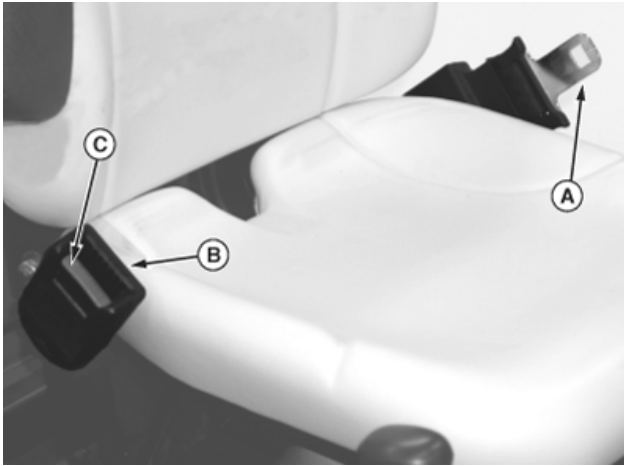
- ひじかけを持ち上げてノブ (H) を露出させます。
- ノブ (H) を回し、ノブの高さを上下に動かしてひじかけの角度を変更します。

シートベルトの使用

⚠ 注意： 折りたたみ式 ROPS (転倒時保護構造) を直立位置にして機械を運転するときは、必ずシートベルトを着用してください。機械が傾いたときは、機械から飛び降りないでください。

隙間の小さいエリアで運転するために ROPS を折りたたむ必要がある場合は、シートベルトを使用しないでください。条件が許す限り早く ROPS を上げてシートベルトを着用してください。

- シートに座ります。



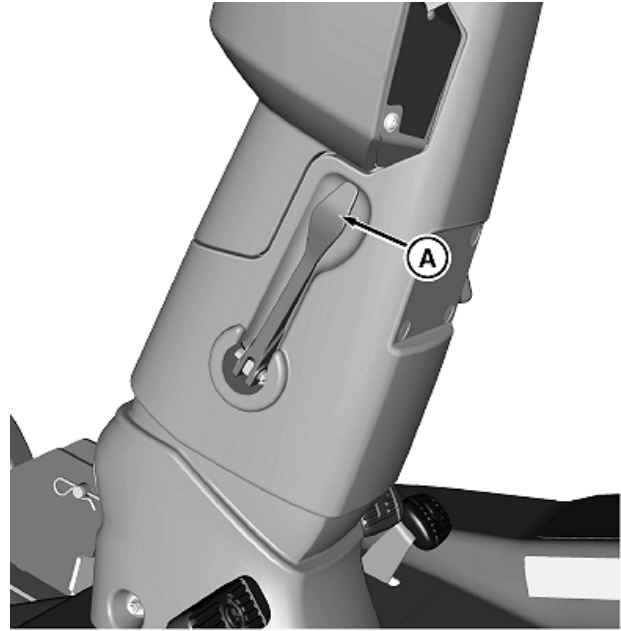
TCAL43315—UN—14MAR13

2. シートベルトのバックル (A) を引き出し、腰の周りに一気にかけます。
3. シートベルトのバックルをロックするまでラッチ (B) に挿入します。
4. シートベルトを解除するには、ラッチからバックルが出るまで赤色のボタン (C) を押します。

ステアリングコラムの調整

⚠ 注意： けがを防止してください。機械の走行中にステアリングホイールを調整しないでください。オペレータが機械を制御できなくなります。

- ステアリングホイールを調整する前に機械を停止してください。
 - 機械を運転する前にステアリングホイールをロックしてください。
1. 機械を停車します。



TCT009086—UN—04NOV13

2. ステアリングコラムチルトレバー (A) を外側に引いてステアリングコラムを解放します。
3. ステアリングコラムを希望の位置まで前後に動かします。
4. レバーを押し戻してステアリングコラムをその位置にロックします。

PTO スイッチの使用

PTO スイッチがオンの場合、スタータはかみ合いますが、スイッチを入れ直すまで PTO は接続しません。PTO スイッチをオフにしてからオンにします。以下のいずれかの条件が存在する場合、PTO は接続解除されます。

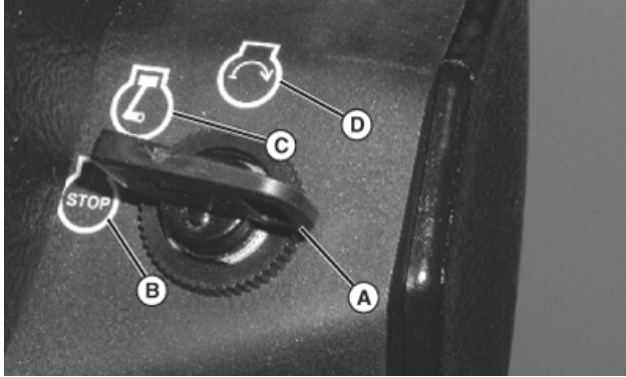
- エンジンクーラント温度が高い。
- エンジンオイル圧が低い。
- 作動油温度が高い。
- ブレーキペダルが踏み込まれている。
- PTO スイッチをオフにするには：スイッチを押して OFF 位置に入れます。
- PTO スイッチをオンにするには：スイッチを押して ON 位置に入れます。

機械の操作

キースイッチの使用 (1550)

注記：スタータモーターは、以下の条件が存在する場合のみかみ合います。

- PTO がオフになっている。
- マスターブレーキペダルが踏み込まれている。



TCAL43316—UN—14MAR13

- イグニッションをオフにするには、キー (A) を STOP 位置 (B) に回します。
- イグニッションをオンにするには、キーを RUN 位置 (C) に回します。ピープ音が鳴り、オペレータディスプレイ上の以下の表示灯が点灯します。
 - エンジン油圧ライト
 - バッテリーディスチャージライト
 - エンジンクーラント温度ライト
 - エンジングロープラグライト
- エンジンを始動するには、キーを START 位置 (D) に回します。エンジンが回転を始めたら、キーを RUN 位置 (C) に戻してください。

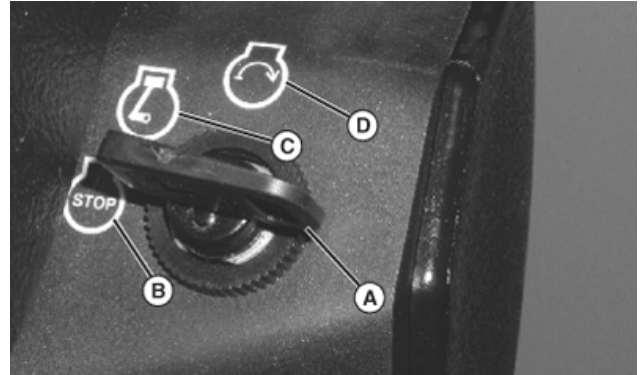
注記：キースイッチが START 位置にあると、オペレータディスプレイ上の以下の表示灯が点灯します。

- エンジン油圧ライト
- エンジンクーラント温度ライト
- 作動油温度ライト

キースイッチの使用 (1570、1575、1580、1585)

注記：スタータモーターは、以下の条件が存在する場合のみかみ合います。

- マスターブレーキペダルが踏み込まれている。
- トラクションペダルがニュートラルにある。



TCAL43316—UN—14MAR13

- イグニッションをオフにするには、キー (A) を STOP 位置 (B) に回します。
- イグニッションをオンにするには、キーを RUN 位置 (C) に回します。ピープ音が鳴り、機械は 2 秒の始動シーケンスを実行します。ディスプレイ画面に JD ロゴが点滅した後、積算時間計画面になります。
- エンジンを始動するには、キーを START 位置 (D) に回します。エンジンが回転を始めたら、キーを RUN 位置 (C) に戻してください。

注記：キースイッチが START 位置にあると、エンジンクランキング中に画面はリセットされる場合があります。

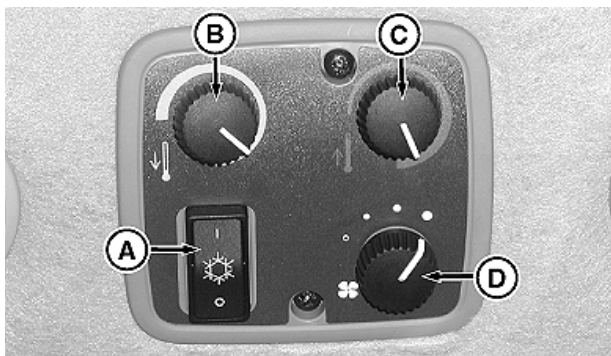
スロットルレバーの使用

- スロットルレバーをスローアイドル位置まで後方に引きます。この位置は、エンジンの始動や狭い場所でのモアの操作に使用します。
- 輸送や刈取り作業用のファストアイドル位置にするには、スロットルレバーを前方にいっぱいまで押します。

機械の操作

キャブのコントロールの使用

温度コントロールの使用



TCT008311—UN—13AUG13

- A — エアコン/デフロスタスイッチ
- B — エアコン温度コントロールノブ
- C — ヒーター温度コントロールノブ
- D — ブロア速度制御ノブ

エアコン/デフロスタシステム

- エアコン/デフロスタスイッチの上半分を押してシステムを ON にします。スイッチの下半分を押してシステムを OFF にします。

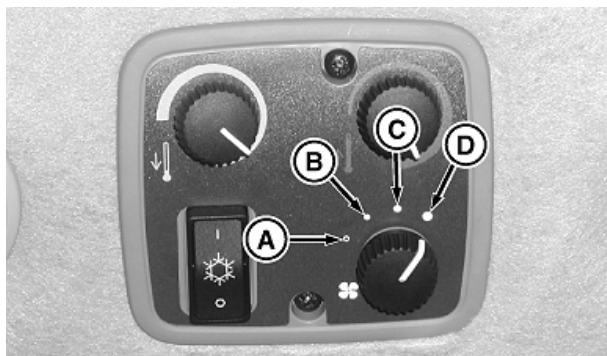
エアコン温度の調整

- 吹き出し口を通して暖かい空気を循環させるには、エアコン温度コントロールノブを時計回りに回します。吹き出し口を通してより温度が低い空気を循環させるには、ノブを反時計回りに回します。ノブの周りの青い帯の幅が大きくなるほど、低めの温度設定になり、幅が小さくなるほど高めの温度設定になります。

ヒーター温度の調整

- 吹き出し口を通して暖かい空気を循環させるには、ヒーター温度コントロールノブを時計回りに回します。吹き出し口を通してより温度が低い空気を循環させるには、ノブを反時計回りに回します。ノブの周りの赤い帯の幅が大きくなるほど、高めの温度設定になり、幅が小さくなるほど低めの設定になります。

ブロワ回転数の調整



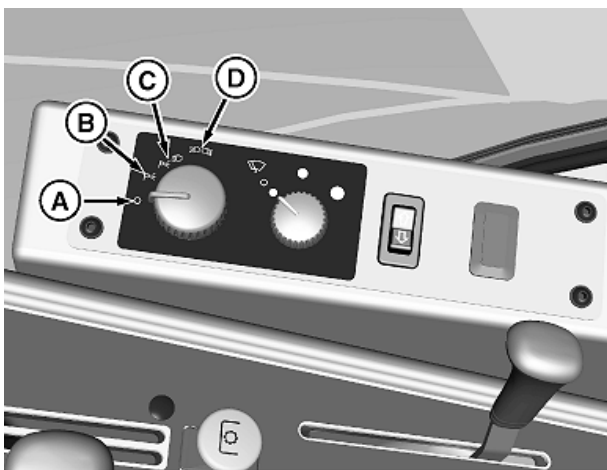
TCT008312—UN—13AUG13

ブロワ速度制御ノブを必要な設定に回します。

- オフ (A)
- 低 (B)
- 中 (C)
- 高 (D)

ライトスイッチの使用

⚠ 注意： けがを防止してください。路上ではライトスイッチを FIELD 位置に合わせたまま運転しないでください。リアワークライトは接近している車両のオペレータの目を眩ませたり混乱させたりするおそれがあります。



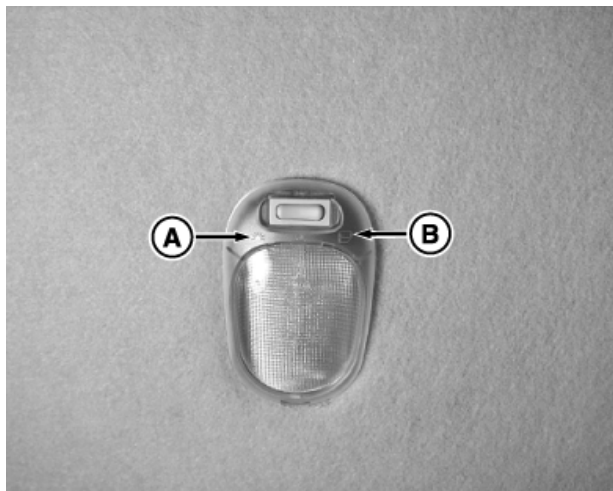
TCT008314—UN—13AUG13

- A — すべて消灯
- B — ハザードフラッシャーライトおよびテールライト点灯
- C — 道路位置：ヘッドライト、テールライト、ハザードフラッシャーライト点灯
- D — 圃場位置：ヘッドライトおよびオプションのワークライト点灯。

ドームライトの使用

重要： 損傷を防止してください。キャビンから出る前に、ドームライトが OFF 位置であることを確認してください。これを怠ると、バッテリーが放電します。

機械の操作



TCT008313—UN—31MAR14

ドームライトには、以下の 2 つの位置があります。

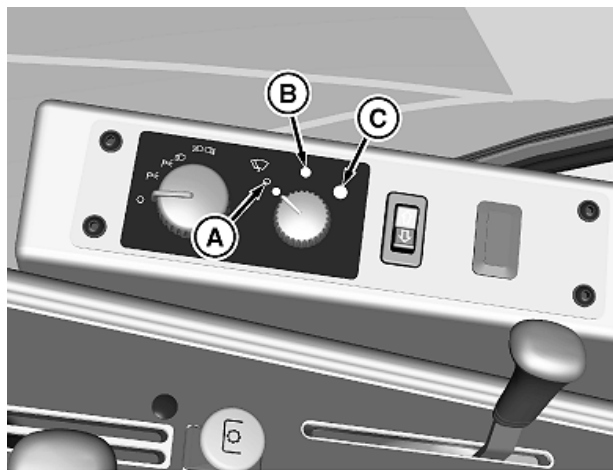
- ON (A) : ドームライトは点灯します。
- OFF (B) : ドームライトは点灯しません。

ターンシグナルスイッチの使用

- ターンシグナルスイッチの左側を押し下げて、左折することを示します。
- ターンシグナルスイッチの右側を押し下げて、右折することを示します。

ウインドシールドワイパーの使用

注記：フロントワイパーのスイッチをオフにすると、フロントワイパーはパーキング位置に戻ります。



TCT008315—UN—13AUG13

フロントワイパースイッチには、以下の 3 つの位置があります。

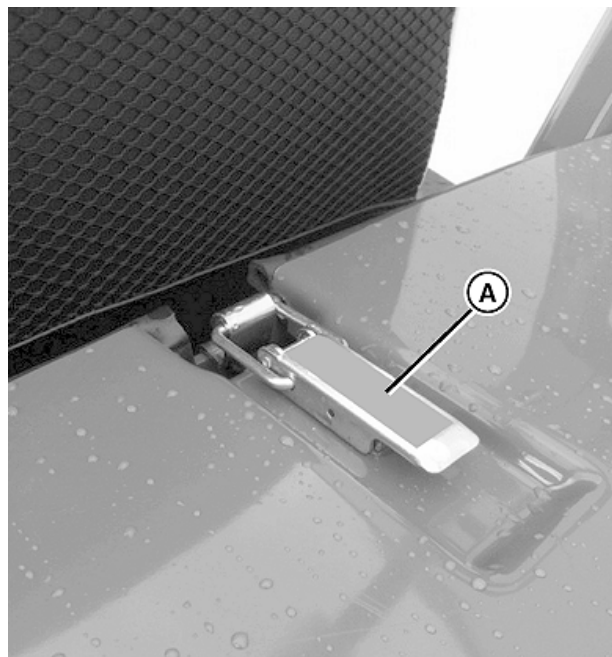
- OFF (A)
- 低速 (B)
- 高速 (C)

エンジンカバーを開く

重要： エンジンカバーを開いた状態で機械を運転しないでください。エンジンの適切な冷却および排気のために、エンジンカバーは閉じる必要があります。

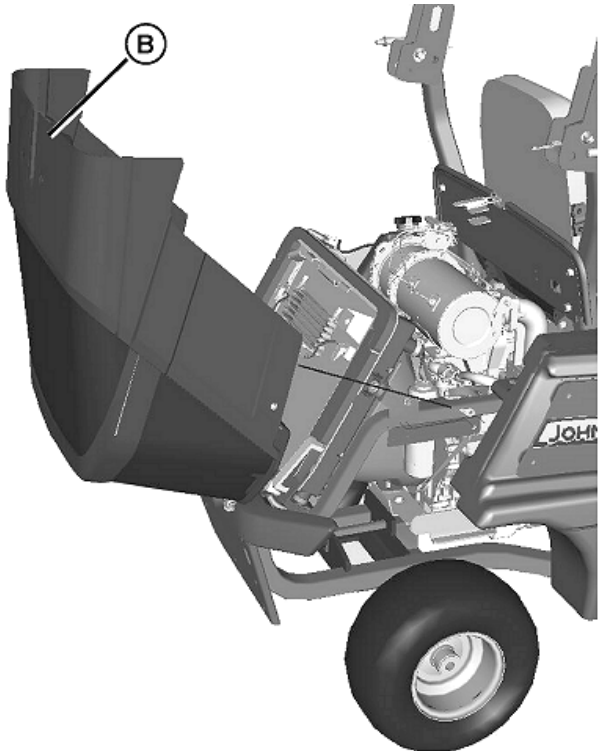
1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください)。

注記：一部のモデルには、ロックラッチが装備されています。最初にこれをロック解除する必要があります。



TCT007880—UN—11JUL13

2. ラッチ機構 (A) を持ち上げてボンネットのラッチを解除します。



TCT007881—UN—11JUL13

3. ボンネット (B) を持ち上げて、開位置にします。
4. エンジンカバーを閉めるには、元の位置に下げてエンジンルームを覆います。
5. ラッチの掛け金をフックにかみ合わせて、回転させて固定します。
6. エンジンカバーラッチをロックするには、キーをスロットに差し込んで時計回りに回します (オプションのロックが装備されている場合)。

4 輪駆動 (4WD) の使用 (1550、1570、1575)

⚠ 注意： 制御不能や芝生の損傷を防止するために、機械を 4 輪駆動で運転しているときは急旋回または高速での旋回はしないでください。必要以上に 4 輪駆動を使用しないでください。

- オンデマンド 4 輪駆動を使用するには、4WD コントロールレバーを後方に引っ張ります。前車輪の滑りが検出されると、後輪が連結され、自動的に連結解除されます。後輪は後退方向 (リバース) には駆動されません。
- フルタイム 4 輪駆動にするには、4WD レバーを前方に押します。前進および後退走行で 4 輪駆動がロックされます。
- 4WD レバーを前方に押しながら (ゆっくりと) 前進走行すると、オンデマンド 4WD が接続しやすくなります。
- 4WD レバーを後方に引きながら (ゆっくりと) 後退走行すると、4WD ロックが解除されやすくなります。

4 輪駆動 (4WD) の使用 (1580、1585)

⚠ 注意： 制御不能や芝生の損傷を防止するために、機械を 4 輪駆動で運転しているときは急旋回または高速での旋回はしないでください。必要以上に 4 輪駆動を使用しないでください。

- オンデマンド (自動) 4 輪駆動を使用するには、4WD コントロールレバーをセンター位置に動かします。前車輪の滑りが検出されると、後輪が連結され、自動的にまたは機械を後退させたときに連結解除されます。
- 4WD を解除するには、4WD レバーを後方へ引きます。
- フルタイム 4WD にするには、4WD コントロールレバーを前方に押します。前進および後退走行で 4 輪駆動がロックされます。
- 4WD レバーを前方に押しながら (ゆっくりと) 前進走行すると、オンデマンド 4WD が接続しやすくなります。
- 4WD レバーを後方に引きながら (ゆっくりと) 後退走行すると、4WD ロックが解除されやすくなります。

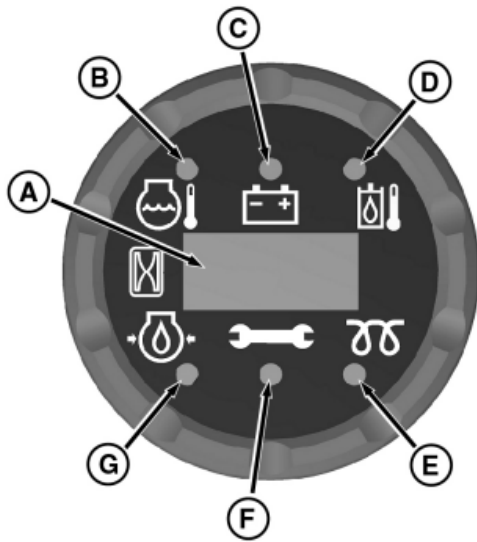
2 速トランスアクスルの使用 (1580、1585)

- トランスアクスルをハイギアレンジにシフトするには、2 速トランスアクスルシフトレバーを最も高い位置まで押し上げます。これは機械の輸送に、または軽作業用途ですばやく移動するために使用されます。
- トランスアクスルをニュートラルにシフトするには、2 速トランスアクスルシフトレバーを中央位置に動かします。この位置は、機械を押して動かしたり、牽引したりするために使用されます。
- トランスアクスルをローギアレンジにシフトするには、2 速トランスアクスルシフトレバーを最も低い位置まで押し下げます。これは、登坂および深い草むらや物の中を通るために使用されます。
- ギアレンジを変えながら機械を無負荷でゆっくりと動かすと、ギアがかみ合いやすくなります。

ディスプレイの使用 (1550)

注記：表示されるコードについては、「トラブルシューティング」セクションの「一般的な DTC のトラブルシューティングガイド」を参照してください。

機械の操作



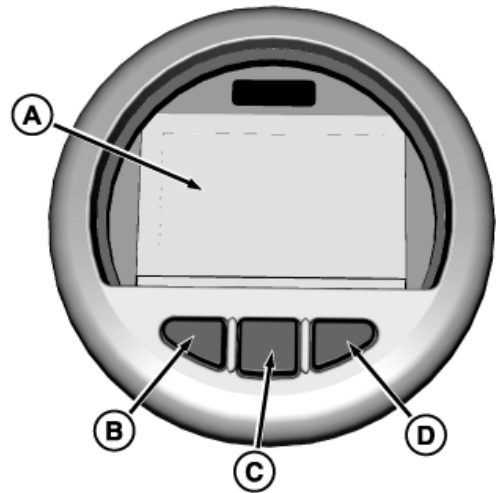
TCT007012—UN—18MAR13

- A—積算時間計**には、エンジンの運転時間数が表示されます。電子積算時間計は、キースイッチが ON 位置のときに読み取ることができます。積算時間計と点検間隔表を使用して、機械やモアデッキで整備手順を実施する必要がある時期を決定してください。
- B—エンジンクーラント温度表示灯**は、エンジンの温度が過剰に上がると点灯します。エンジンを止めて原因を調べてください。
- C—バッテリー放電表示灯**は、オルタネータから適切な電流が得られていない場合に点灯します。エンジンを止めて原因を調べてください。また表示灯は点滅のパターンでも診断コードを表示し、作動および電気系統の不具合を識別するために使用できます。
- D—「作動油温度表示灯」**は、作動油温度が高くなると点灯します。直ちに全油圧機能を停止してください。エンジンを負荷なしでアイドル状態にし、作動油の温度を下げます。オイルはこれによりオイルクーラーを通して流れるため、オイルが冷やされます。オイルレベルを確認し、オイルクーラーのコイルが汚れていないことを確認します。連続作業を行うと温度が上がり、損傷するおそれがあります。
- E—「エンジンエア予備加熱表示灯」**(ディーゼルモデル) は、キースイッチを作動位置に回すと点灯します。約 3～15 秒経過すると、ライトは点灯しなくなります。
- F—** この機械には、**整備表示灯**は適用されません。
- G—エンジン油圧表示灯**は、エンジン油圧が低下すると点灯します。エンジン作動中にこのランプが点灯したら、直ちにエンジンを停止してください。John Deere 取扱店にお問い合わせください。

ディスプレイの使用 (1570、1575、1580、1585)

注記：表示されるコードについては、「トラブルシューティング」セクションの「一般的な DTC のトラブルシューティングガイド」を参照してください。

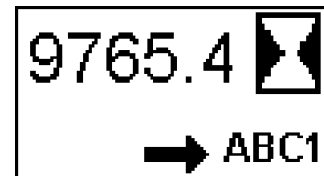
オペレータディスプレイについて詳しくは、機械技術マニュアルを参照してください。



TCT008007—UN—25MAR14

TerrainCut™ のオペレータは、オペレータディスプレイの基本機能に習熟してください。オペレータディスプレイは、シートの右側のコントロールコンソールにあります。このディスプレイは、LCD 画面 (A) とボタン 3 個 (B、C、D) から構成されています。

オペレータディスプレイには 4 つのメイン画面があります。オペレータは、中央のキー (C) を押して 4 つのメイン画面をそれぞれ表示できます。これらの 4 画面にはそれぞれの機能があります。



TCT010640—UN—26MAR14

積算時間計のトップレベルの画面

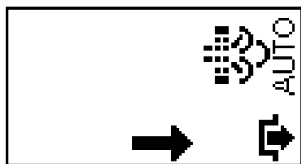
- **積算時間計画面**：機械を使用した時間数が表示されます。右のキー (D) で言語を選択できます。英語を選択するには「ABC1」、スペイン語を選択するには「ABC2」を使用します。



TCT010642—UN—26MAR14

エンジン回転数

- **エンジンタコメータ画面：**エンジン回転数が表示されます。右のキー (D) で言語を選択できます。英語を選択するには「ABC1」、スペイン語を選択するには「ABC2」を使用します。



TCT010643—UN—26MAR14

ディーゼル微粒子フィルタのステータス画面

- **エグゾーストフィルタ (DPF) 画面：**エグゾーストフィルタ (DPF) のステータスが表示されます。右のキー (D) を使用して、DPF 再生機能の自動モードを有効または無効にできます。オペレータは、機械が通常条件で運転されているときは、これが自動モードのままになるようにしてください。既定モードは「AUTO (自動)」であることに注意してください。機械をシャットダウンして再始動すると、常に自動モードに戻ります。



TCT010644—UN—26MAR14

整備メニュー画面

- **整備画面：**この画面には複数の機能が表示され、パスコードで保護されます。パスコードの既定値は 000 です。新しいパスコードをディスプレイに入力すると、機械のバッテリーが放電または交換されても入力は保持されます。

オペレータディスプレイは、機械の重要な機能が故障すると、アイコンや診断トラブルコード (DTC) で示す複数のポップアップ画面によってオペレータに通知する場合もあります。(詳しくは、「トラブルシューティング」セクションの「一般的な DTC のトラブルシューティングガイド」を参照してください)。

例：ラジエタにごみが詰まると、機械がオーバーヒートするおそれがあります。オペレータディスプレイは、これを示すために次のアイコンと DTC の画面を表示します。



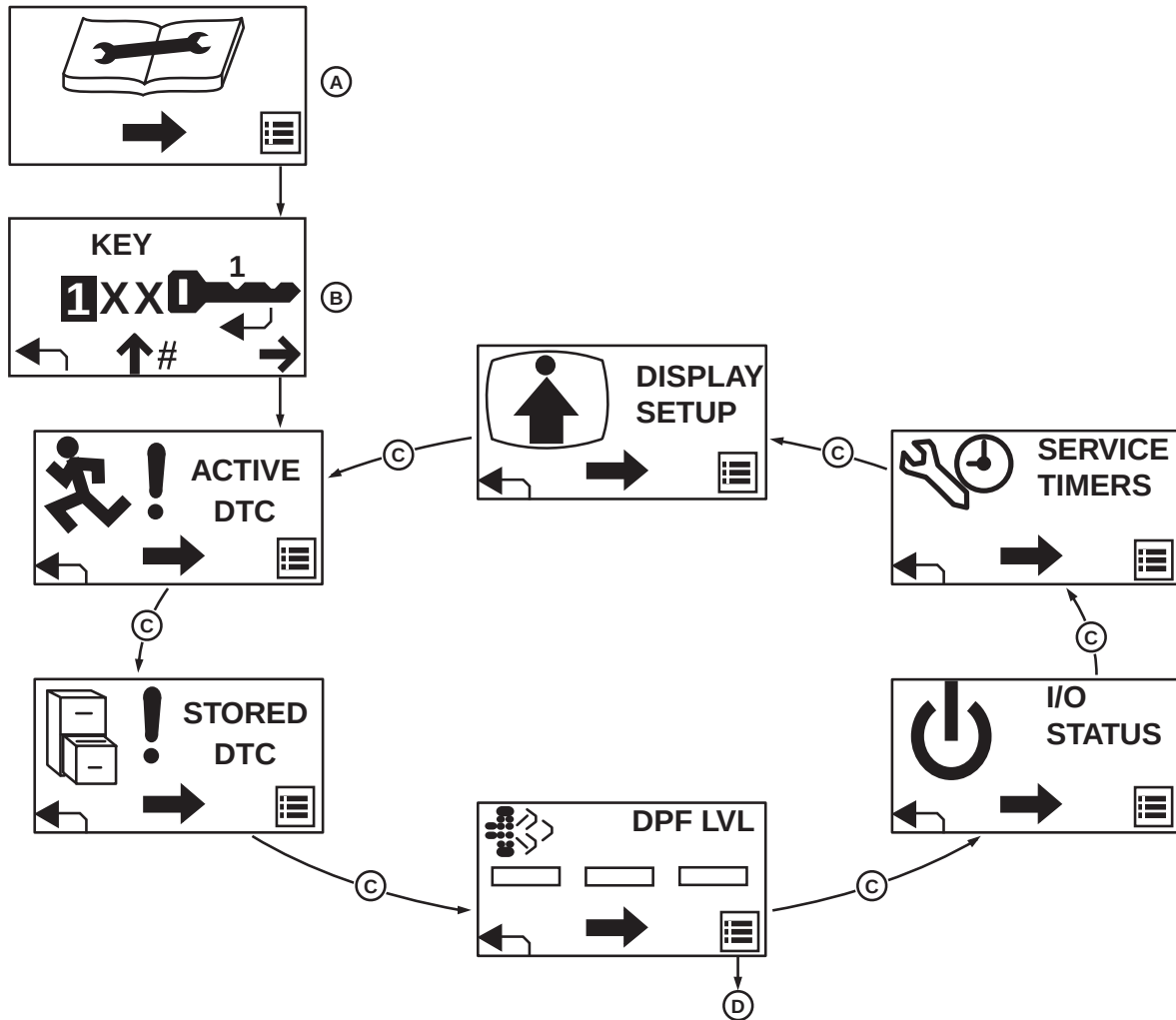
TCT011134—UN—24APR14

DTC の例

この画面は、STOP (停止) アイコンによって機械の停止を示します。右のアイコンは、エンジンクーラント温度が高いことを示します。画面右下の数字コードは DTC であり、トラブルシューティングガイドで参照できます。ガイドには、DTC 110.0 を解決するためにオペレータが行う措置が示されます。

機械の操作

整備メニューディスプレイの使用



TCT012438—UN—23MAR15

A — 整備モード画面
B — パスコード入力画面

整備モード画面 (A) から右ボタンを押すと、パスコード入力画面 (B) が表示されます。パスコードを入力し (設定するパスコード参照)、右ボタンを押すと、整備メニュー画面が表示されます。

- アクティブな DTC
- 保存されている DTC
- DPF レベル
- 入出力ステータス
- 整備タイマー
- ディスプレイのセットアップ

画面は中央ボタンを押すことによって切り替わります (C)。各画面の左の戻り矢印ボタンにより、整備モード画面 (A) に戻ります。

C — 中央ボタンによる切り替え
D — 右ボタンによる DPF メニュー

いずれの整備サブレベル画面で右ボタンを押すと、その整備機能用のメニューが表示されます。

パスコード

機械のセキュリティを強化し、特定機能へのアクセスを制限するため、2 レベルのパスワード保護があります。

テキスト有効化/無効化パスコードもあります。このコードは「702」で、変更できません。

- オーナーレベル
- オペレーターレベル

オーナーレベル

機械の操作

オーナーパスコードでは次の作業を実行できます。

- オーナーパスコードの変更
- オペレータパスコードの有効化／無効化
- オペレータパスコード不明状態でのオペレータパスコードのリセット
- 機械始動パスコード機能の有効化／無効化
- オーナーパスコードの変更
- 整備画面のアクセス
- すべてのサブ整備画面のアクセス
- オペレータパスコードが有効化どうかに関係なく、機械始動パスコードの入力
- 機械の始動と操作

オーナーパスコードで次の画面にアクセスできます。

- PDU セットアップ
- 整備メニュー
- 機械始動パスコードの有効化／無効化

既定のオーナーパスコードは「000」です。

パスコードをなくした場合は、手動でリセットする必要があります。

オペレータレベル

オペレータレベルのパスコードでは次の設定が可能です。

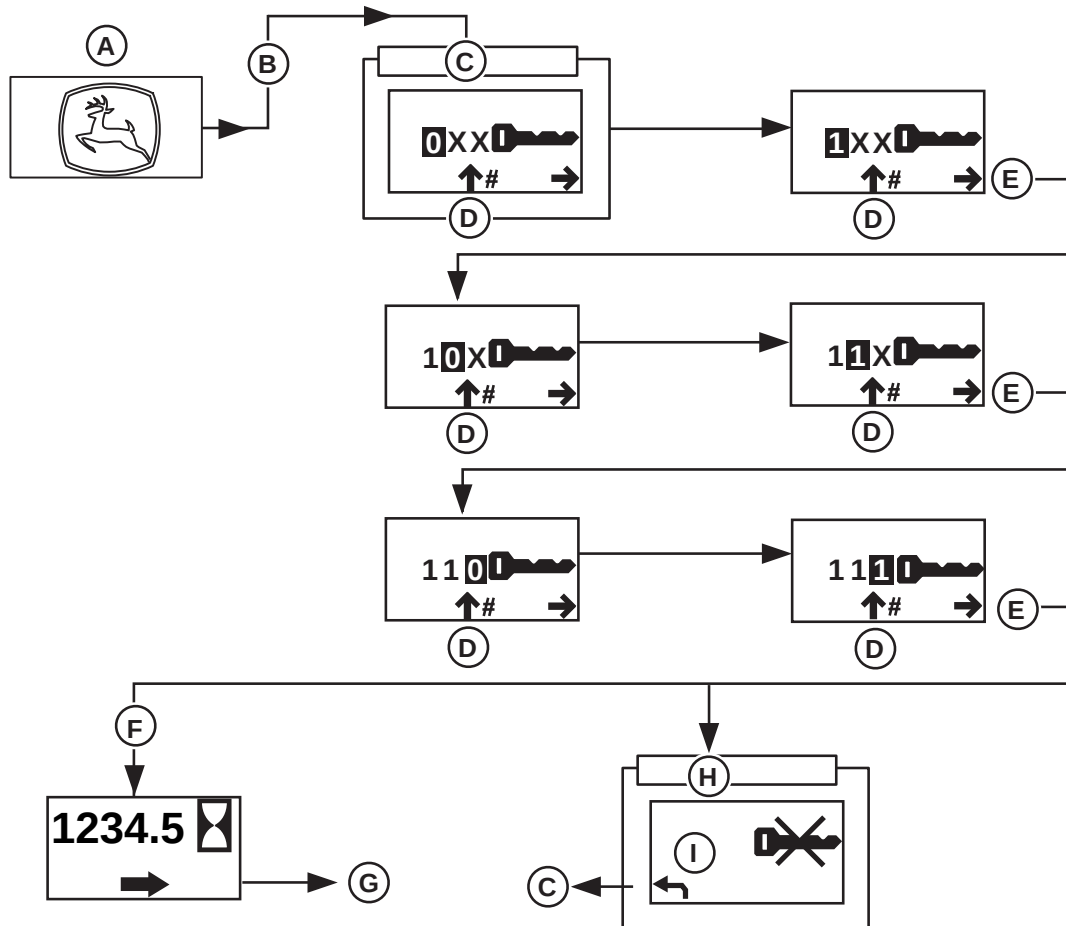
- 機械のみの始動と操作。オペレータは内部設定を変更できません。
- クルーズコントロール速度の設定

注記：オペレータパスコードは既定で無効になっています。

オペレータパスコードはオーナーレベルで設定できます。

オーナーパスコードのリセット：

機械の操作



TCT012108—UN—23JAN15

- A —キーオン時のスプラッシュ画面
- B —2 秒の遅延
- C —パスコード入力画面
- D —数字増分キー (中央を押す)
- E —次画面 (右を押す)

- F —有効なパスコード
- G —メイン操作画面
- H —無効なパスコード画面
- I —戻る (左を押す)

始動時にディスプレイがオンになり、John Deere ロゴが 2 秒間表示されます。この 2 秒間に特定のボタンシーケンスを使用すると、パスコードを工場初期設定 (000) にリセットできます。

1. キースイッチを RUN 位置に回します。
2. (2 秒以内に) 中央と右のボタンを 3 秒間押し続けます。
3. ボタンを放します。間違ったキーの組み合わせを押すか、手順がタイムアウトになった場合、画面はメイン操作画面に戻ります。
4. ディスプレイを確認します。手順が成功した場合、工場初期設定パスコード「000」が設定されます。ディスプレイに「Reset Password to Factory Default (パスワードが工場初期設定にリセットされました)」と表示されます。

注記： この手順によってオペレータパスコードは自動的に無効になります (設定されていた場合)。

機械ステータスのポップアップ通知 (1570、1575、1580、1585)

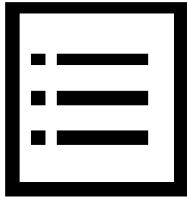
一般的な DTC 情報

注記： 通知と診断トラブルコード (DTC) は、関連する SPN (Suspect Parameter Number) と FMI (Failure Mode Indicator) によって、SPN.FMI 形式で表示されます。

一般的な DTC には、DTC のソースをユーザーに示すアイコンがあります。アイコンのない DTC の場合、SPN、FMI、および SA (Source Address) 情報が表示されます。この情報は問題の診断の際に使用します。

機械の操作

DTC の「Details (詳細)」ボタン



TCT010994—UN—04APR14

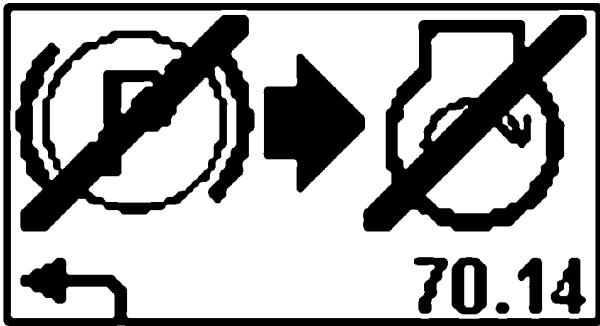
「Details (詳細)」アイコン

DTC が発生すると、ポップアップ画面が表示されます。一部の DTC では、ボタン D に「Details (詳細)」アイコンが表示されます。このボタンを押すと、その故障に関する詳細が表示されます。一部の DPF 関連の故障では、テキストによる説明も表示されます。

始動インターロックの診断

これらの DTC は、スタータがかみ合わない状態をオペレータに警告します。これらの画面は、キーが始動位置にあり、インターロックによる停止発生時にのみ表示されます。状態が解消されると、画面は自動的に消えます。

DTC 70.14 : パーキングブレーキ解除

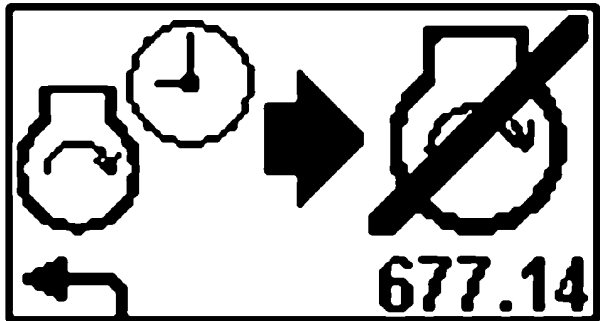


TCT008517—UN—01OCT13

DTC 70.14

エンジンをクランクするには、パーキングブレーキがかかっている必要があります。

DTC 677.14 : クランク時間超過

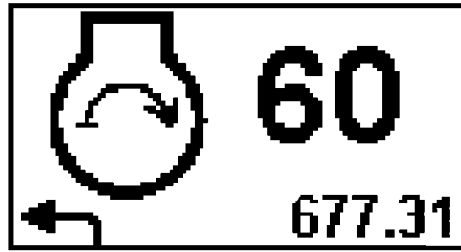


TCT008520—UN—01OCT13

DTC 677.14

過度のエンジンクランキングでは、再度クランクする前にクールダウンする必要があります。

DTC677.31 : クランク時間超過



TCT010646—UN—26MAR14

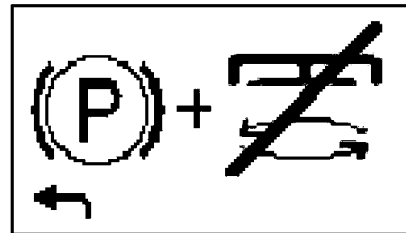
DTC677.31

オペレータは、再度エンジンをクランクする前に 60 秒間待機する必要があります。

PTO インターロックの診断

これらの DTC は、PTO が接続できない状態をオペレータに警告します。

DTC 3941.31 : パーキングブレーキ ON、刈り作業不可

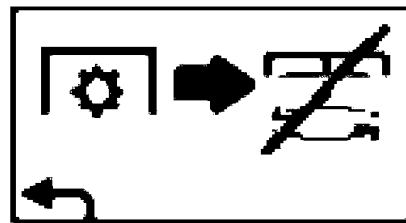


TCT010744—UN—26MAR14

DTC 3941.31

PTO は、パーキングブレーキを解除するまで接続できません。パーキングブレーキを解除し、PTO スイッチを入れ直して接続してください。

DTC 3941.14 : PTO スイッチ ON、しかし刈り作業不可



TCT010745—UN—26MAR14

DTC 3941.14

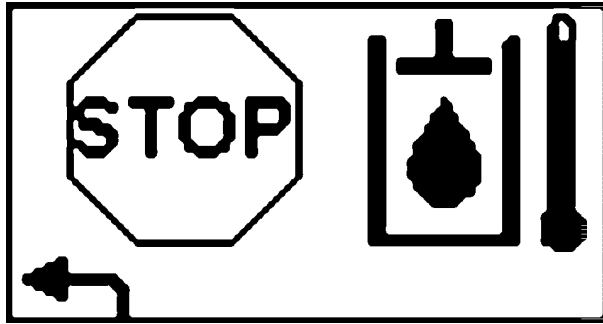
PTO スイッチは ON 位置ですが、PTO は接続されていません。これはインターロックが壊れている場合に表示されます。スイッチを入れ直してください。それでも接続しない場合、詳しくは「トラブルシューティング」セクションの「一般的な DTC のトラブルシューティングガイド」を参照してください。

機械の診断

これらの DTC は、直ちに注意を必要とする機械の状態をオペレータに警告します。

DTC 1638.0 : 作動油温度が高い

機械の操作



TCT008521—UN—01OCT13

DTC 1638.0

機械を停止し、シャットダウンしてください。資格を備えた John Deere 整備士に連絡してください。

DTC 100.1 : エンジン油圧が低い



TCT008522—UN—01OCT13

DTC 100.1

機械を停止し、シャットダウンしてください。オイルレベルを点検し、正しいオイルの種類がクランクケースに入っていることを確認してください。(「エンジンの整備」セクションを参照してください)。

DTC 110.0 : エンジンクーラント温度が高い

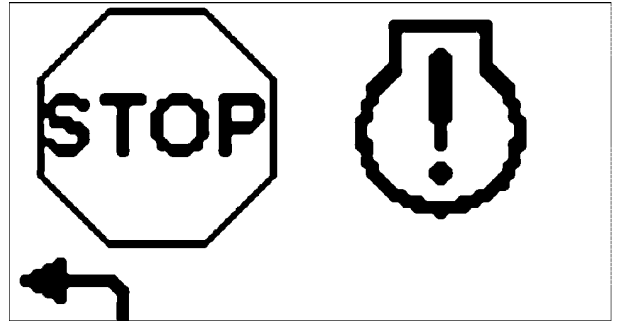


TCT008523—UN—01OCT13

DTC 110.0

機械を停止し、シャットダウンしてください。クーラントレベルを点検し、ラジエータフィンのごみを清掃してください。(「エンジンの整備」セクションを参照してください)。

一般的なエンジンの故障 : ストップランプステータス

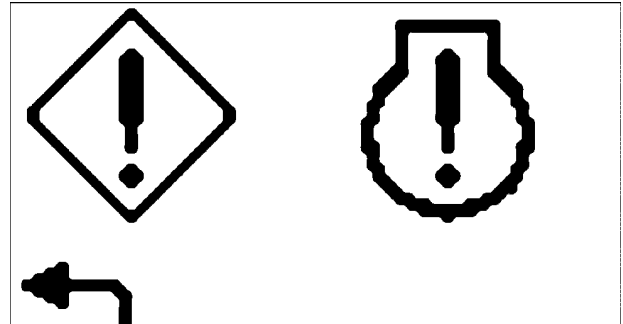


TCT009064—UN—01OCT13

一般的なエンジンの故障 : ストップランプステータス

機械を停止し、シャットダウンしてください。(詳しくは、「トラブルシューティング」セクションの「一般的な DTC のトラブルシューティングガイド」を参照してください)。

一般的なエンジンの故障 : 警告ランプステータス

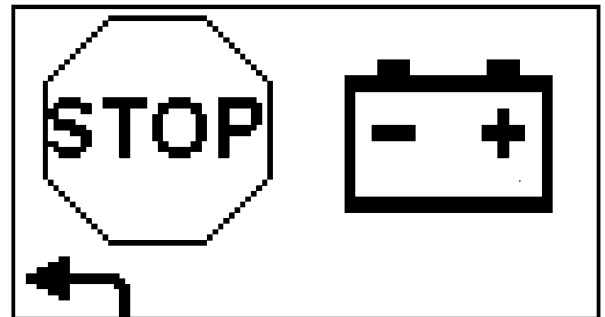


TCT009065—UN—01OCT13

一般的なエンジンの故障 : 警告ランプステータス

機械を停止し、シャットダウンしてください。資格を備えた John Deere 整備士に連絡してください。

DTC 168.0 / DTC 168.1 : バッテリー電圧の故障



TCT009066—UN—01OCT13

DTC 168.0 / DTC 168.1

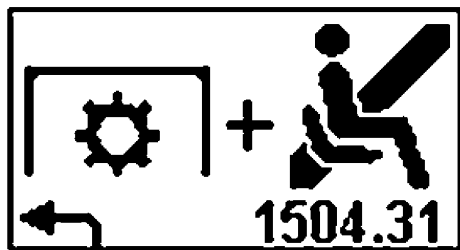
機械を停止し、シャットダウンしてください。資格を備えた John Deere 整備士に連絡してください。

DTC 168.0 : バッテリー電圧 (VBAT)、重大な高電圧 (通常の動作範囲を超過 (>18V))

DTC 168.1 : バッテリー電圧 (VBAT)、重大な低電圧 (通常の動作範囲未満 (<8V))

DTC1504.31 : PTO ON 状態でシートに座っていない

機械の操作



TCT010647—UN—26MAR14

DTC 1504.31

この DTC は、PTO が接続された状態でオペレータがシートを離れる则表示されます。PTO スイッチを入れ直してすべてのインターロックを解消してから、PTO を再接続する必要があります。

一般的な機械の故障：情報

注記：故障に応じて、DTC コードが右下隅に表示されます。

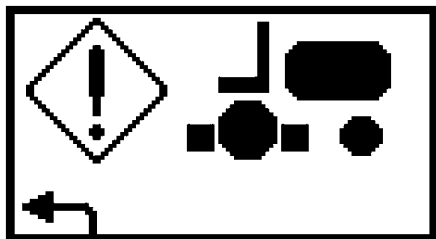


TCT010746—UN—26MAR14

一般的な機械の故障：情報

機械を停止し、シャットダウンしてください。資格を備えた John Deere 整備士に連絡してください。

一般的な機械の故障：警告ランプステータス

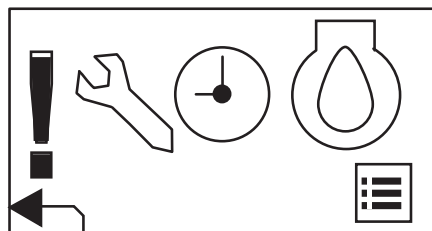


TCT010747—UN—26MAR14

一般的な機械の故障：警告ランプステータス

機械を停止し、シャットダウンしてください。資格を備えた John Deere 整備士に連絡してください。

整備タイマーアラート：エンジンオイル

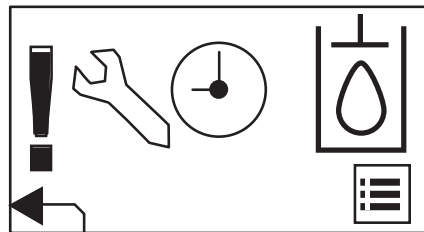


TCT012072—UN—25NOV14

整備タイマーアラート：エンジンオイル

機械の工場初期設定タイマーはエンジンオイルに対して 50 時間に設定されています。

整備タイマーアラート：作動油



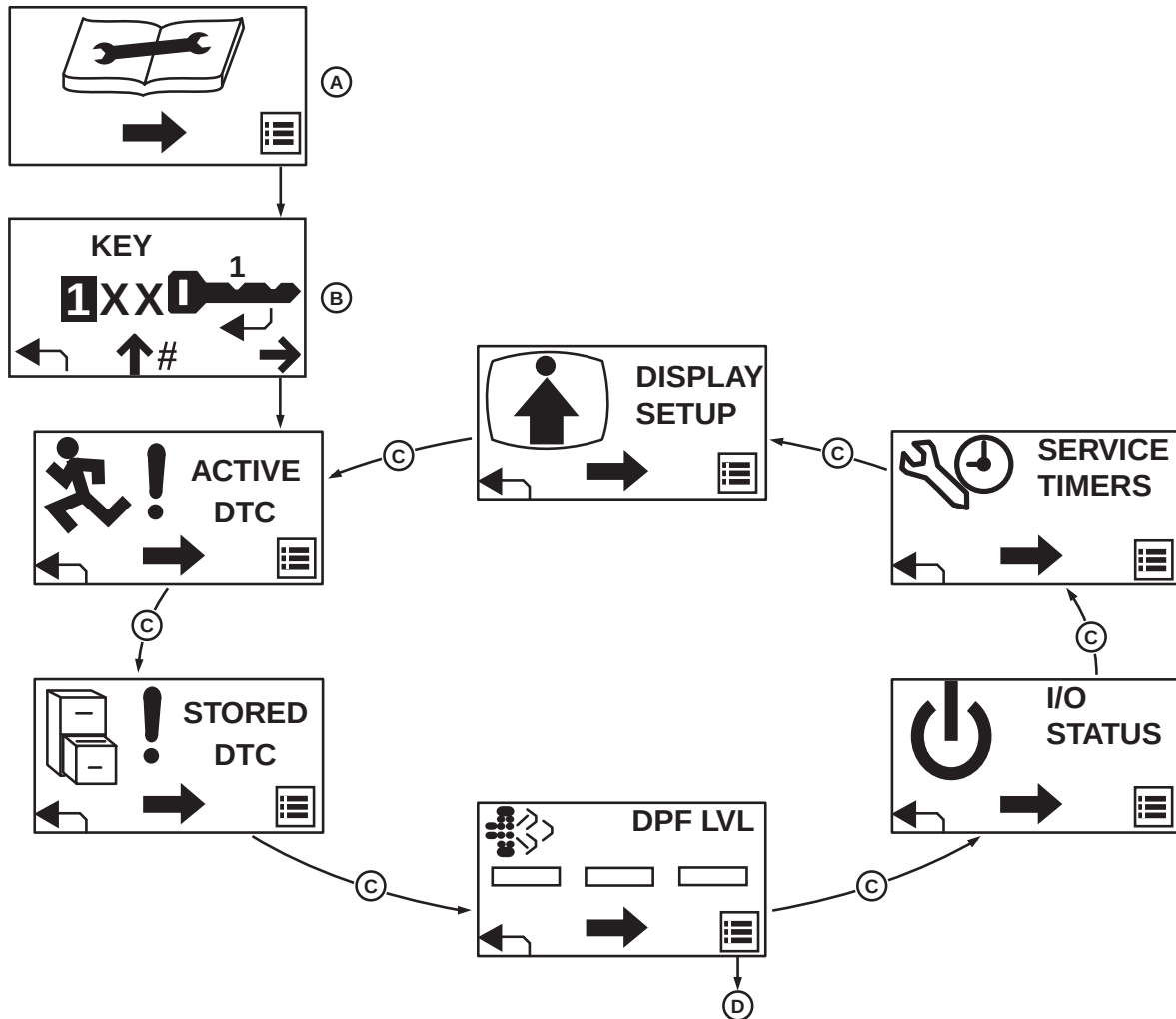
TCT012073—UN—25NOV14

整備タイマーアラート：作動油

機械の工場初期設定タイマーは作動油に対して 50 時間に設定されています。

整備タイマーの使用

注記：タイマー設定中に取り消したい場合は、左ボタンを押すと、前のメニューに戻ることができます。変更は保存されません。



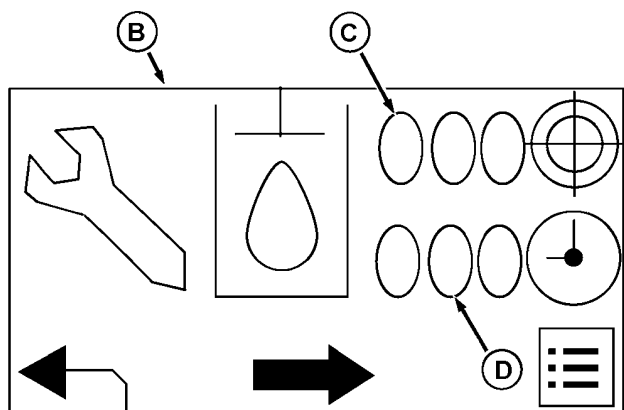
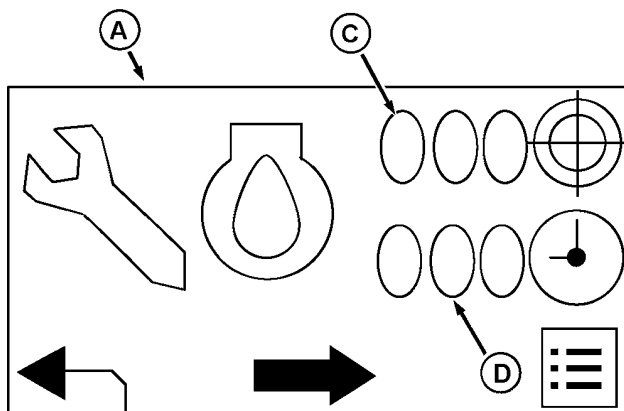
TCT012438—UN—23MAR15

A — 整備モード画面
B — パスコード入力画面

C — 中央ボタンによる切り替え
D — 右ボタンによる DPF メニュー

1. 整備タイマー画面が表示されるまで、整備メニュー画面を切り替えます。(「整備メニューディスプレイの使用」を参照してください)。
2. 右ボタンを押して整備タイマーを調整します。

機械の操作



TCT011358—UN—26OCT15

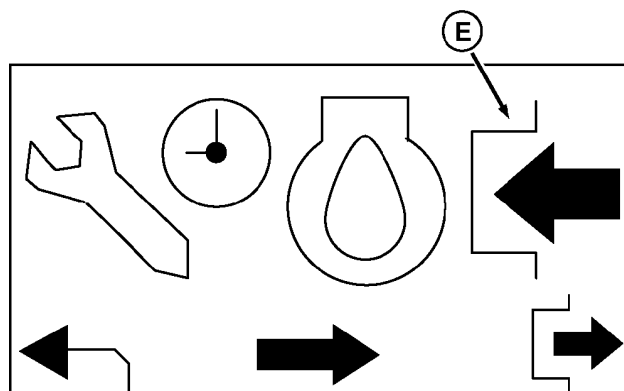
- A — エンジンオイル整備タイマー
- B — 作動油整備タイマー
- C — 点検間隔
- D — タイマー

3. 中央ボタンを押して、エンジンオイル (A) または作動油 (B) 整備タイマーを切り替えます。左ボタンを押すと、前のメニューに戻ります。
4. 右ボタンを押して整備タイマー間隔またはタイマー値を調整します。点検間隔は上部ディスプレイ (C)、タイマーは下部ディスプレイ (D) です。間隔ディスプレイに数値を設定すると、整備警告 (「!」マーク) が作動します。変更するディスプレイに移動します。

整備タイマーの調整

1. 右ボタンを押し続けてタイマーをリセットします。ボタンを押している間、円形のインジケーターが塗りつぶされます。完全に塗りつぶされると、タイマーは 000 にリセットされます。整備を実行した後、タイマーをリセットしてください。たとえば、エンジンオイルを交換した場合、エンジンオイル整備タイマー用のタイマーを 000 にリセットしてください。
2. 中央ボタンを押して次の画面に進みます。(整備警告の有効化/無効化)。

整備警告の有効化/無効化

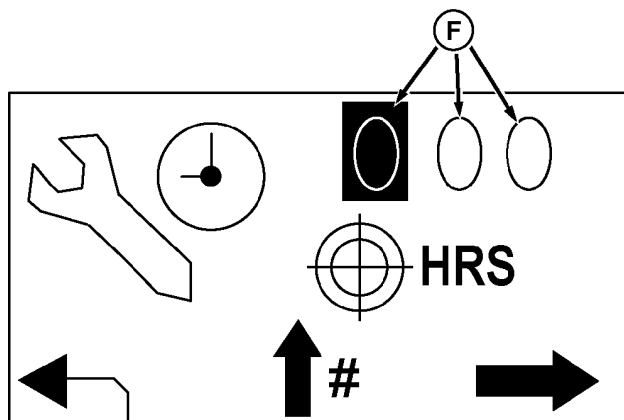


TCT011359—UN—26OCT15

1. 中央ボタンを押して整備警告画面に進みます。
2. 右ボタンを押して警告を有効または無効にします。矢印 (E) が内側を指している場合 (図参照)、整備警告は有効です。矢印が外側を指している場合、整備警告は無効です。

点検間隔の調整

1. 中央ボタンを押して次の画面に移動します。この画面が表示されると、整備警告でオペレータに警告する間隔を調整できます。



TCT011360—UN—26OCT15

2. 中央ボタンを押して各数字 (F) を調整します。数字は 0 で始まり、1 つずつ増えます。予定の数字を通り過ぎた場合、9 まで進めると 0 に戻ることができます。各位置に正しい値が表示されたら、右ボタンを押します。これで点検間隔タイマーが設定されます。

ディーゼル微粒子フィルタ (DPF) 再生の概要 (1570、1575、1580、1585)

お使いの機械には、エンジンのエグゾーストを清浄にし、フィルタする排出ガス規制準拠エンジンが装備されています。

機械の操作

再生

再生とは、エグゾーストの温度を上昇させて、DPF の壁面に堆積した粒子状物質またはすすを酸化させるプロセスのことを指します。再生には 5 つの種類があります。受動的再生、拡張受動的再生、能動的再生、駐車再生、および DPF 再生です。

受動的再生

受動的再生は、排気ガスの温度が十分に上がってすすの酸化が発生する運転条件になると、DPF 内で自然に発生します。受動的再生中はエンジンの ECU は何も動作を行いません。排気ガスの温度を上昇させるための燃料の注入やエアスロットルの閉鎖は行われません。受動的再生中にオペレータインターフェースに表示される表示灯はありません。

拡張受動的再生

DPF のすすレベルがあらかじめ決められたレベルに達し、かつ十分な受動的再生が得られるまで排気ガス温度が上昇する車両の運転条件になっていない場合は、エンジンの ECU は拡張受動的再生を作動させます。拡張受動的再生中は、エンジンの ECU がエアスロットルを閉じ、インジェクションのタイミングを変更することにより、排気ガス温度を上昇させて受動的再生を促進させます。拡張受動的再生中はエンジンは通常の動作を行うことができ、燃料は注入されません。拡張受動的再生中にオペレータインターフェースに表示される表示灯はありません。

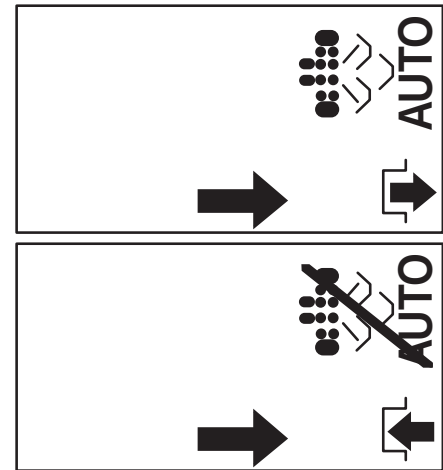
能動的再生

DPF のすすレベルがあらかじめ決められたレベルに達するか、すすが拡張受動的再生により管理できない速度で堆積している場合は、能動的再生が開始されます。能動的再生中は、ECU がシリンダ内の燃料注入を開始し、燃料注入のタイミングを変更してエアスロットルを閉じることにより、排気ガス温度を上昇させて DPF 内のすすの酸化と除去を促進します。能動的再生中の排気ガス温度は、拡張受動的再生中の温度よりも高くなります。この再生中はエンジンは通常の動作を行うことができます。

能動的再生の禁止

重要：損傷を防止してください。通常の機械の運転では、システムは自動再生モードに設定されており、オペレータがすべきことはほとんどありません。

お使いの車両を能動的再生により発生する高温状態に適していない状況で使用しなければならない場合は、システムを一時的に無効化することができます。



TCT012431—UN—19MAR15

自動再生機能を一時的に無効にするには、トップメニューの能動的再生ステータス画面でボタン 3 を押します。自動再生記号の上に取り消し線が表示され、自動再生が無効になっていることを示します。エグゾーストフィルタへのすすの堆積を防止するため、できるだけ早く自動再生モードに戻ってください。「ディーゼル微粒子フィルタディスプレイのアクセス」を参照してください。

注記：キースイッチを OFF に切り替えると常に自動再生は有効になります。



TCT012084—UN—26NOV14

能動的再生が禁止されている間に、エグゾーストフィルタ内のすすのクリーニングが必要であるとシステムが判断すると、「AUTO Disabled Regen Rqd (無効化された再生の自動化が必要)」DTC 003695.14 が PDU に表示されます。自動の能動的再生を有効にするには、PDU 画面を能動的再生の有効化/無効化画面に切り替えます。「ディーゼル微粒子フィルタディスプレイのアクセス」を参照してください。

必要な場合を除き、能動的再生を無効にしないでください。能動的再生を頻繁に無効化すると、システムが駐車再生を作動させます。これはエンジンの性能が低下して機械の機能が制限されていることを意味しており、駐車再生が実行されるまで通常の動作に復帰できません。

駐車再生

すすレベルがあらかじめ決められたレベルに達した場合は、ECU は駐車再生を実行します。駐車再生が必要となった場合、ECU がエンジンのディレーティングを

機械の操作

行い、駐車再生を実行します。駐車再生中は、ECU がエンジン回転数を 2000 rpm に上げ、シリンダ内の燃料注入を開始し、燃料注入のタイミングを変更してエアスロットルを閉じることにより、排気ガス温度を上昇させて DPF 内のすすの酸化と除去を促進します。駐車再生が終了するまで車両を駐車したままにしておく必要があります。

回復再生

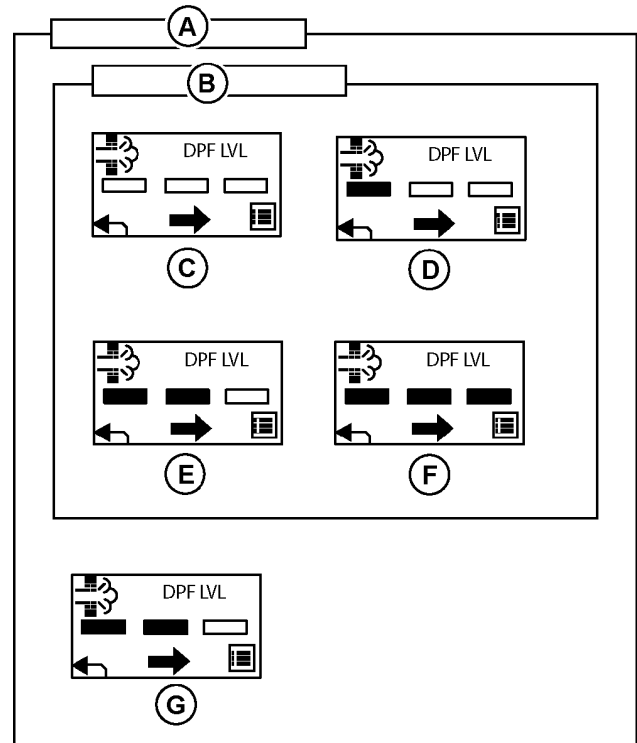
DPF 内のすすが重大なレベルに達した場合は、回復再生によりすすレベルを減らす必要があります。再生を行わずに車両を運転したり、必要時に駐車再生を実行しないと、回復再生が必要となる可能性があります。回復再生中は、車両を駐車する必要があります。ECU がエアスロットルを閉じ、インジェクションのタイミングを変更することにより、排気ガス温度を上昇させて受動的再生を促進させます。回復中は燃料は注入されません。十分な時間が経過してすすレベルが低くなると、駐車再生を実行して回復再生を完了します。回復再生が終了するまで車両を駐車したままにしておく必要があります。

ディーゼル微粒子フィルタの負荷レベルと値

整備メニューから、DPF レベル画面が表示されるまで画面を切り替えます。（「整備メニューディスプレイの使用」を参照してください）。

DPF レベル画面の右ボタンを押すと、DPF 負荷レベル画面とメニューが表示されます。

DPF 負荷レベル画面には、ディーゼル微粒子フィルタステータスの状態が示されます。このステータスには 4 つの状態がありますが、進捗バーは実際のすす量の値とそのまま関連付けられません。メモ帳ボタンを選択すると、実際のすす量の値が表示されます。



TCT011365—UN—05NOV15

- A — DPF 負荷レベル画面
- B — DPF 棒グラフの状態
- C — 再生不要
- D — DPF 状態：低
- E — DPF 状態：中
- F — DPF 状態：高
- G — DTC アクティブ

具体的な DPF 負荷の値は、右側のボタンを押すことで表示できます。

ディーゼル微粒子フィルタ (DPF) 再生機能 (1570、1575、1580、1585)

ステータス検出

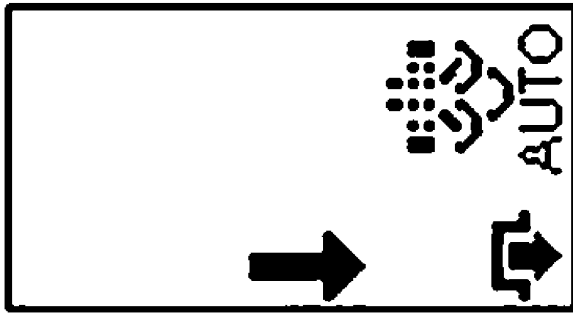
画面のアイコンは、ディーゼル微粒子フィルタの状態、および機械が駐車しているかどうかによって決まります。

再生不要

注記： ボタン C と D は、DPF セクションのすべての DPF ステータス画面で同じ機能を持ちます。

- ボタン C：メイン画面に進む
- ボタン D：自動再生の有効化／無効化

機械の操作



TCT008495—UN—30SEP13

自動再生が有効

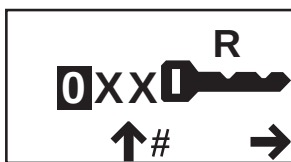
- DPF 自動アイコン：自動再生が有効な場合 (上の図)。無効になると、アイコンに取り消し線が表示されます。

駐車再生が可能

注記： ボタン B は、セクションのすべての DPF ステータス画面で同じ機能を持ちます。

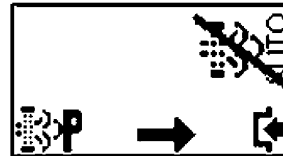
- 駐車再生クリーニングを開始する前に、以下を実行してください。
 - a. 車両を舗装された場所に駐車します。
 - b. 車両がニュートラルであることを確認します。
 - c. パーキングブレーキをかけます (ON)。
 - d. カuttingユニットを解除します (PTO スイッチ OFF)。
 - e. スロットルレバーをローアイドル位置に動かします。

注記： エンジンがローアイドルでない場合、駐車再生は開始されません。



TCT012578—UN—27MAR15

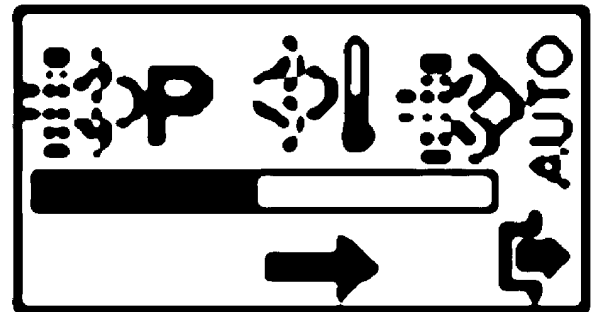
- 再生パスコードの入力：
 - パスコード入力画面はオーナー/オペレータパスコードと同じ形式ですが、「1」または「2」ではなく「R」アイコンが付いています。
 - 必要なコードは「463」としてハードコードされています。



TCT008496—UN—30SEP13

駐車再生 (左) 自動再生が無効 (右) 自動再生が有効

- 上に表示されたボタン B (「P」付きのフィルタ) アイコンの点滅時は、ユーザーはボタンを 2 秒間押し続けて、駐車再生操作を開始できます。
注記： 少し遅れてエンジン回転数が上がり、駐車再生が開始されます。



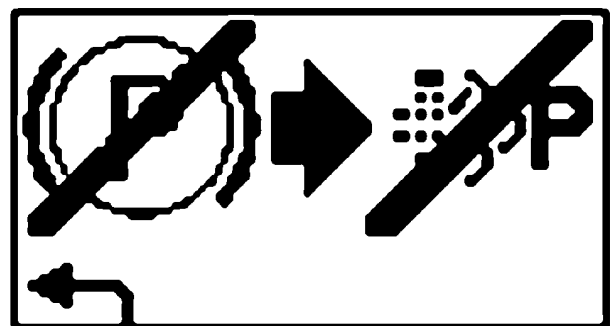
TCT009082—UN—04NOV13

上の図は、駐車再生中の DPF のトップレベルの画面です。進捗バーは、駐車再生プロセスの完了割合を表します。

駐車再生インターロック通知ポップアップ

「Parked Regeneration (駐車再生)」ボタンが点滅していない (再生が必要だが、インターロックに適合しない) ときにユーザーがボタンを押すと、上記の機械ステータス通知のいずれかが表示されます。

パーキングブレーキ OFF



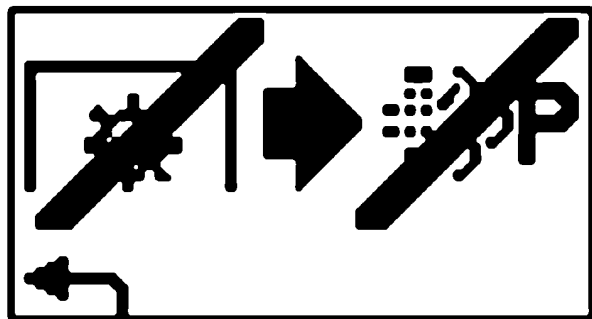
TCT008515—UN—30SEP13

パーキングブレーキ OFF、駐車再生インターロック

駐車再生を開始するには、パーキングブレーキを設定する必要があります。

PTO 接続

機械の操作

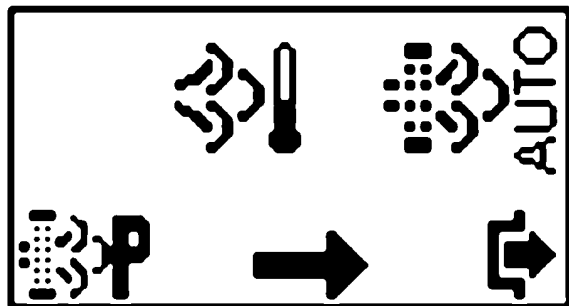


TCT008516—UN—30SEP13

PTO 接続、駐車再生インターロック

駐車再生を開始するには、PTO を解除する必要があります。

警告表示灯



TCT008497—UN—30SEP13

排気ガス温度が上昇

再生中に排ガス温度が通常より高いと、上のアイコン (雲状で中央左に温度計) が表示されます。

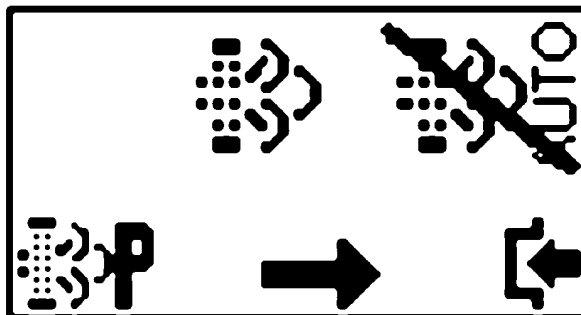
クリーニングが必要



TCT008498—UN—12APR14

DTC 3695.14

「自動」再生ボタンが無効で、フィルタのクリーニングが必要なときは、上のポップアップ画面が表示されます。これは「自動」再生ボタンを「有効」に設定することで修正できます。



TCT008499—UN—30SEP13

クリーニングが必要：自動再生が無効

上のアイコン (中央左のフィルタ) は、能動的クリーニングが必要だが、自動再生機能が無効であることを示します。ユーザーはボタン D (「有効化」アイコン) によって自動再生を有効にする必要があります。

クリーニングが必要、エンジン出力制限

DPF のすすが高レベルに達してクリーニングが必要になると、以下の DTC が表示されます。エンジン出力は、クリーニングが実行されるまで制限されます。

駐車クリーニングが必要 (アンバーの警告灯)



TCT010645—UN—12APR14

DTC 3719.16

フィルタの微粒子レベルが高すぎるときは、上のポップアップ画面が表示されます。駐車クリーニングが必要です。「駐車再生が可能」セクションを参照してください。

灰のクリーニングが必要 (アンバーの警告灯)



TCT008503—UN—12APR14

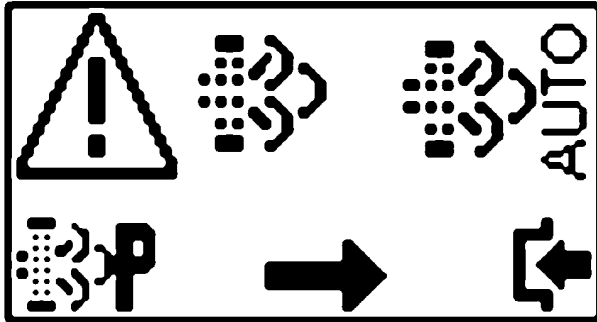
DTC 3720.16

フィルタの微粒子レベルが高すぎるときは、上のポップアップ画面が表示されます。駐車クリーニングが必

機械の操作

要です。追加整備が必要な場合があります。「駐車再生が可能」セクションを参照してください。

DTC 3719.16 または 3720.16 アクティブな場合のDPF ステータス画面



TCT008501—UN—30SEP13

駐車クリーニングが必要 (アンバーの警告灯)

左側に表示される上のアイコンは、警告灯 DTC が存在することを示します。駐車クリーニングが必要です。

クリーニングが必要、エンジンおよび PTO 出力制限

DPF が最大すすレベルに達して直ちに整備が必要になると、次の DTC が表示されます。エンジン出力は極端に制限され、PTO 出力は無効になります。

整備再生が必要 (赤のストップランプ)

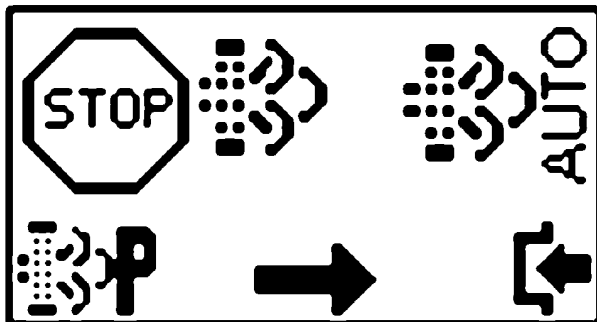


TCT008502—UN—12APR14

DTC 3719.00、3720.00

フィルタの微粒子レベルが高すぎるときは、上のポップアップ画面が表示されます。資格を備えた John Deere 整備士による強制的な再生が必要です。

DTC 3719.00 または 3720.00 アクティブな場合のDPF ステータス画面



TCT008504—UN—30SEP13

駐車クリーニングが必要 (赤のストップランプ)

左側に表示される上のアイコンは、ストップランプ DTC が存在することを示します。駐車クリーニングが必要です。DPF の追加整備が必要な場合があります。

ハイドロスタティックペダルの使用

前進ペダルの使用

1. 前進ペダルをわずかに踏み込み、前進を開始します。さらにペダルを踏み込み、速く走行します。
2. ペダルを放してニュートラルに戻し、モアを停止します。

後退ペダルの使用

注意： 回転しているブレードは危険です。子供や近くにいる人がひかれたり、回転しているブレードによりけがをする可能性があります。

後退する前に、機械の周囲を慎重に確認してください。

1. 後退ペダルをわずかに踏み込んで、後退走行を開始します。さらにペダルを踏み込み、速く走行します。
2. ペダルを放してニュートラルに戻し、機械を停止します。

ブレーキの使用

マスターブレーキペダルの使用

注記：マスターブレーキが作動すると、PTO の接続は解除されます。

傾斜地で機械を静止状態に保持するまたは緊急停止するには、マスターブレーキペダルを踏み込みます。マスターブレーキペダルを踏み込むと、PTO の接続は解除されます。PTO を再開するには、ブレーキを放してから PTO スイッチを入れ直す必要があります。

パーキングブレーキの使用

1. パーキングブレーキロックレバー (B) を引き上げ、マスターブレーキペダル (A) を完全に踏み込んでからパーキングブレーキをロックします。ペダルはロックされた下がった位置に留まっている必要があります。
2. マスターブレーキペダルを踏み込み、パーキングブレーキロックレバーを押下げて、パーキングブレーキのロックを解除します。マスターブレーキペダルを解除します。

旋回ブレーキの使用

旋回ブレーキは、機械の幅内で方向をすばやく変えるために使用されます。芝生を損傷させることが許されない区域では、旋回ブレーキによるタイヤのロックを

機械の操作

避けてください。トラクションアシストが作動している場合、旋回ブレーキによって機械は旋回しません。

1. 右旋回ブレーキペダルを踏み込んで、左前輪に駆動力をかけながら右前輪の速度を遅くするか停止させます。機械は右に旋回します。旋回ブレーキペダルを解除して直進走行を再開します。
2. 左旋回ブレーキペダルを踏み込んで左に旋回します。

トラクションアシストペダルの使用

トラクションアシストロックは、斜面や滑りやすい面でトラクションを向上するために使用します。フロント車軸がロックして前輪と一緒に回転します。

重要：トラクションアシスト機能を不適切に使用すると、トランスアクスルが損傷する可能性があります。次の点に注意してください。

- トラクションアシストを ON または OFF にする前に、減速し、駆動輪が同じ回転数で回転するようにしてください。
- 乾燥したアスファルトまたはコンクリート面を走行時は、トラクションアシストを OFF にしてください。
- 対地駆動力を改善するために必要な場合のみ、トラクションアシストを使用してください。

トラクションアシストをロックするには、以下の手順に従います。

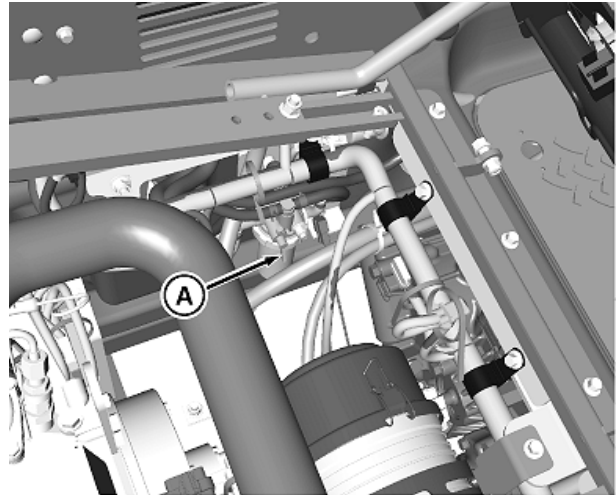
左足でトラクションアシストロックペダルを踏み込み続けます。

トラクションアシストのロックを解除するには、以下の手順に従います。

1. ペダルから足を離します。
2. ホイールの回転が同じでない限り、トラクションアシストはロックされたままです。トランスミッションにかかっている負荷が均一化され、減少すると、トラクションアシストのロックは自動的に解除されます。

燃料遮断弁の使用 (1550)

注記：機械を保管するとき、またはトレーラーに載せて輸送するときは、燃料遮断弁を閉めてください。



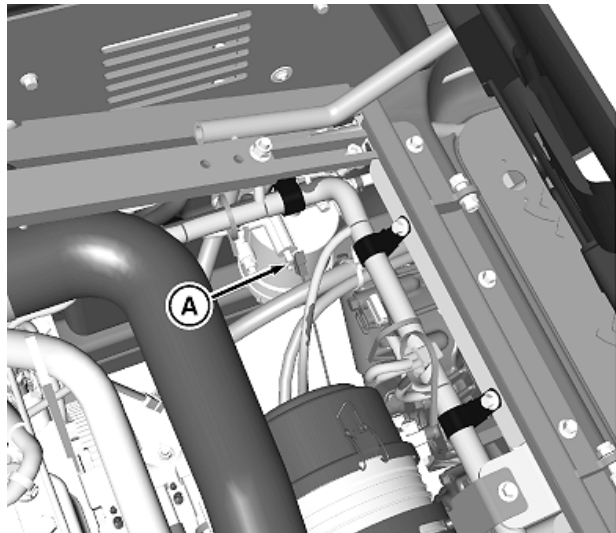
TCT008008—UN—29JUL13

エンジンカバーを開きます。エンジンの左側にある燃料シャットオフバルブ (A) を確認します。

- 燃料シャットオフバルブを開くには、以下の手順に従います。
 - ハンドルを回してポインタを下に向けます。
- 燃料シャットオフバルブを閉じるには、以下の手順に従います。
 - ハンドルを回してポインタを後方に向けます。

燃料遮断弁の使用 (1570、1575、1580、1585)

注記：機械を保管するとき、またはトレーラーに載せて輸送するときは、燃料遮断弁を閉めてください。



TCT008009—UN—29JUL13

エンジンカバーを開きます。エンジンの左側にある燃料シャットオフバルブ (A) を確認します。

- 燃料遮断弁を開くには：

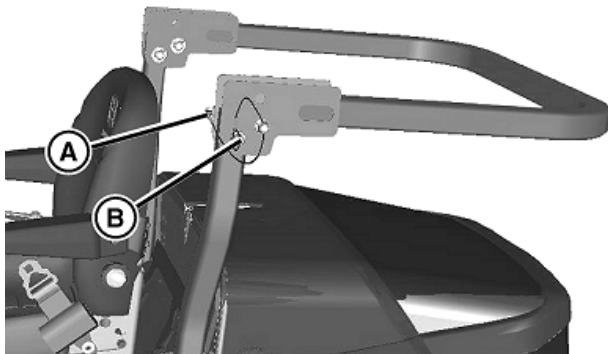
機械の操作

- ハンドルを回してポインタを下に向けます (図参照)。
- 燃料遮断弁を閉じるには：
 - ハンドルを回してポインタを後方に向けます。

ROPS を上げる／下げる

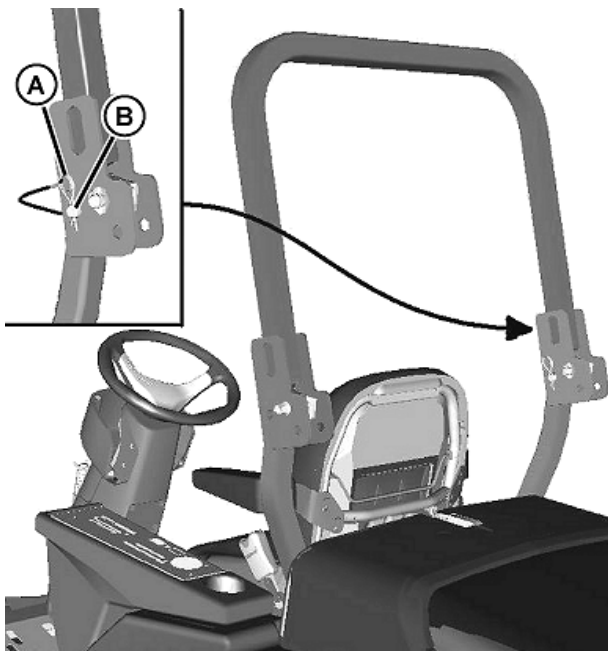
ROPS を上げる

1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。)



TCT007882—UN—11JUL13

2. ROPS の左右にあるドリルピン (B) からスプリングピン (A) を取り外します。
3. ROPS の左右にあるドリルピンを取り外します。



TCT007883—UN—01NOV13

4. ROPS を直立位置まで押しします。

5. ROPS の左右の穴にドリルピン (B) を取り付けて、スプリングピン (A) でその位置に固定します。

ROPS を下げる

⚠ 注意： 折りたたみ式 ROPS (転倒時保護構造) を直立位置にして機械を運転するときは、必ずシートベルトを着用してください。機械が傾いたときは、機械から飛び降りないでください。

隙間の小さいエリアで運転するために ROPS を折りたたむ必要がある場合は、シートベルトを使用しないでください。条件が許す限り早く ROPS を上げてシートベルトを着用してください。

1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください)。
2. ROPS の左右にあるドリルピン (B) からスプリングピン (A) を取り外します。
3. ROPS の左右にあるドリルピンを取り外します。
4. ROPS を後方に引っ張って下げます。
5. ROPS の穴にドリルピンとスプリングピンを取り付けて、その位置に固定します。

装置の上昇と下降

⚠ 注意： 機械が不安定になるので、斜面でまたは高速で走行中は装置を上げないでください。装置を上げた状態で急ブレーキをかけないでください。

装置を上げた後も PTO は作動し続けます。装置を上げる前に PTO をオフにしてください。

リフトレバーを前方に押すと、エンジン停止中にオペレータがシートに座っていないなくても装置は下がります。シートに座っていないときは、絶対にコントロールを操作しないでください。下げる前に装置の下エリアに何も無いことを確認してください。

PTO をオフにします。装置を上げてても PTO は停止しません。上昇位置でも装置は作動し続けます。

装置を上げるには、以下の手順に従います。

- リフトレバーを後方に引きます。レバーを放すまで、または移動範囲の上端に達するまで (いずれかの条件が最初に発生するまで)、装置は上がります。

装置を下げるには、以下の手順に従います。

- リフトレバーを前方へ押します。レバーを放すまで、または装置が地面に達するまで (いずれかの条件が最初に発生するまで)、装置は下がります。

装置をフロートさせるには、以下の手順に従います。

- フロート位置にラッチが掛かるまでリフトレバーを前に押します。装置は、地面の凹凸に従って必要に応じて上昇および下降します。

機械の操作

補助油圧装置コントロールレバーの使用

1. 油圧コントロールレバーを前後に数回動かして、油圧システムの圧力を解放します。
2. ダストキャップをカプラーから取り外します。
3. 装置のオペレータマニュアルの指示に従って装置の油圧ホースを接続し、装置を操作します。

油圧コントロールレバー機能は装置によって決まります：

- レバーを後方に引いて、オスカプラーラインに圧力をかけ、装置の機能を実行します。
- レバーを中央の位置に引くか押すかして、両方のカプラーラインの圧力を中和します。
- レバーを前方に押して、メスカプラーラインに圧力をかけ、装置の機能を実行します。

エンジンの始動

⚠ 注意：エンジンの排気ガスは一酸化炭素を含んでおり、深刻な病気や死亡事故の原因になります。

- エンジンを運転する前に、機械を屋外に移動させてください。
- 適切な換気装置がない密閉された場所でエンジンを運転しないでください。
- エンジンの排気管に延長管を接続して、排気ガスをエリア外に排出してください。
- 屋外の新鮮な空気を作業区域に取り込み、排気ガスを除去してください。

注記：PTO をオフにしてマスターブレーキペダルを踏み込まない限り、エンジンは始動しません。

1. 燃料シャットオフバルブを開きます。
2. オペレータシートに座ります。(シートスイッチが作動するようにシートが少し沈む必要があります)。
3. シートベルトを着用します (ROPS が折りたたまれた位置にない場合)。
4. パーキングブレーキをロックしていない場合は、マスターブレーキペダルを踏み込みます。
5. PTO ノブをオフ位置に押し下げます。
6. スロットルレバーをスローアイドル位置に引き戻します。
7. キーを「ON」位置に回します。
8. 1550 のみ：エンジン予熱表示灯が消灯するまで待ちます。

重要：スタータを過熱させないでください。1 回に 10 秒以上スタータを作動させないでください。エンジンが始動しない場合は、2 分間待ってから再度試みてください。

9. キーを START 位置に 10 秒未満の間、もう一度回します。エンジンが始動したら、キーを放して RUN 位置に戻します。
 - スタータがかみ合うが、エンジンが始動しない場合は、2 分間待ってから 10 秒未満再始動を試みます。

重要：エンジンを長時間アイドルで運転しないでください。過剰なアイドリングは、エンジンのオーバーヒートやカーボン付着、および性能低下の原因となることがあります。

10. エンジンを半分の回転数の位置で 2 分間運転して暖機してから機械を運転してください。

エンジンの停止

1. PTO スイッチを OFF 位置に押し下げます。
2. スロットルレバーをスローアイドル位置に戻します。エンジンをスローアイドルで数秒運転します。
3. パーキングブレーキをかけます。
4. 装置を地面まで下げます。
5. キースイッチを「STOP」位置まで回します。
6. キーを抜きます。

エンジンが停止した機械を動かす

⚠ 注意：バイパスバルブを開くと、機械は制約なしに動く状態になります。

- 機械が傾斜地で止まった場合は、制御を失って坂を下ることを防止するため、バイパスバルブを開かないでください。

重要：機械を正しく移動または牽引しないとトランスミッションが損傷するおそれがあります。

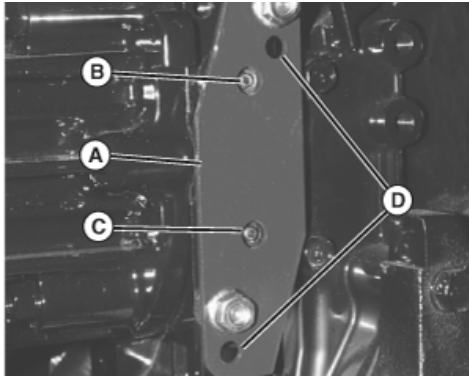
- 機械の移動は手作業でのみ行ってください。
- 機械を動かすために別の車両を使用しないでください。
- 機械を牽引しないでください。

キースイッチをOFF (オフ) 位置に回します。

1550, 1570, 1575

1. 4WD レバーを「FORWARD (前進)」位置に入れます。

機械の操作



TCAL43326—UN—14MAR13

2. サービスハッチを開き、トランスアクスルハウジングの右側にある赤のプレート (A) を確認します。
3. パーキングブレーキをかけます。
 - 機械を前進方向に押して短い距離を動かすには、小形の工具で上部のリリーフバルブ (B) を解放します。
 - 機械を後退方向に押して短い距離を動かすには、小形の工具で下部のリリーフバルブ (C) を解放します。
 - 機械を押して前進または後退方向に長い距離を動かすには、M8 フランジヘッドナット 2 個を取り外して、プレートを下側の 1 組みのドリル穴 (D) に取り付けます。ナットを取り付けます。
4. パーキングブレーキのロックを解除します。
5. 機械をゆっくりと手押しするかウインチを使用して動かし、必要に応じてブレーキを使用します。
6. 別の車両を使用して押したり、高速でモアを牽引したりしないでください。
7. 赤のプレートを下側の 1 組みの穴に動かした場合は、元の位置に戻してください。

1580, 1585

1. 4WD レバーを「2WD」位置に入れます。
2. 2 速トランスアクスルのシフトレバーを中央のニュートラル位置に動かします。
3. パーキングブレーキのロックを解除します。
4. 機械をゆっくりと手押しするかウインチを使用して動かし、必要に応じてブレーキを使用します。

トレーラーによる機械の輸送

⚠ 注意： トレーラーやトラックへの機械の積み込み、積み下ろしの際は十分注意してください。

- トレーラーを水平な地面に駐車します。
- 側壁のあるトレーラーの使用をお勧めします。
- 急斜面や崖にホイールを近づけないでください。
- ゆっくりとまっすぐに後退してください。
- 燃料シャットオフバルブを閉じます (機械に装備されている場合)。

重要： トレーラーやトラックの荷台に載せて高速で機械を輸送すると、ボンネットやエンジンカバーが開き、機械が固定されていない場合は落下する可能性があります。

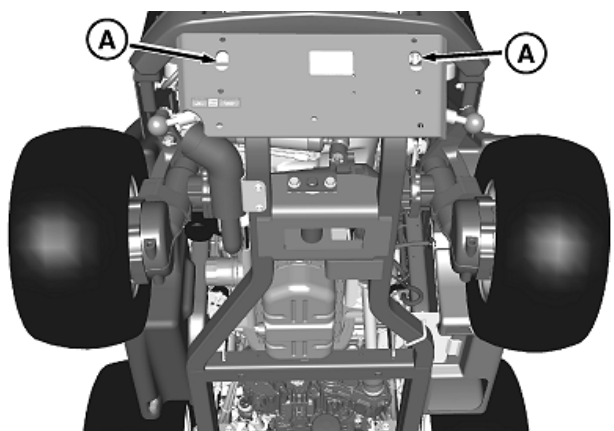
- トレーラーの後側からボンネットやエンジンカバーが開くように機械を配置して、風にあおられてボンネットやエンジンカバーが開かないようにしてください。
- 既存の機械のロックやラッチを使用してボンネットやエンジンカバーを固定してください。
- ロックやラッチがない場合は、結束ストラップを使用して、ボンネットやエンジンカバーを固定してください。

必要なライトや法律で定められた標識がトレーラーにすべて装備されていることを確認してください。

1. PTO を停止します。
2. 装置を上げた状態でヘビーデューティトレーラーの上まで運転します。
3. 装置をトレーラーのプラットフォームに下ろします。
4. エンジンを停止し、キーを抜き、パーキングブレーキをロックします。
5. 燃料シャットオフバルブを閉めます (ディーゼルモデルのみ)。
6. ヘビーデューティストラップ、チェーン、またはケーブルを使用して機械をトレーラーに固定します。

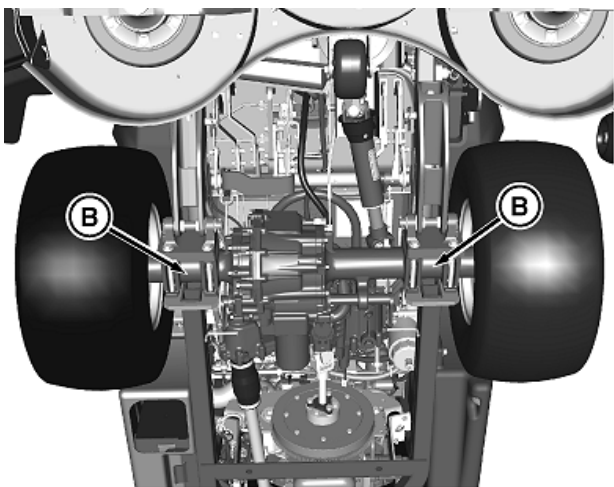
注記： 前部および後部のストラップは、機械の下および外側に向ける必要があります。

機械の操作



TCT008010—UN—11DEC13

7. 以下の手順に従って後部のストラップを締め付けます。
 - ウェイトキットを取り付けていない場合：後部のストラップをリアパネルの縦のスロット (A) に締め付けます。
 - ウェイトキットを取り付けている場合 (非表示)：後部のストラップをウェイトキットのブラケットに締め付けます。

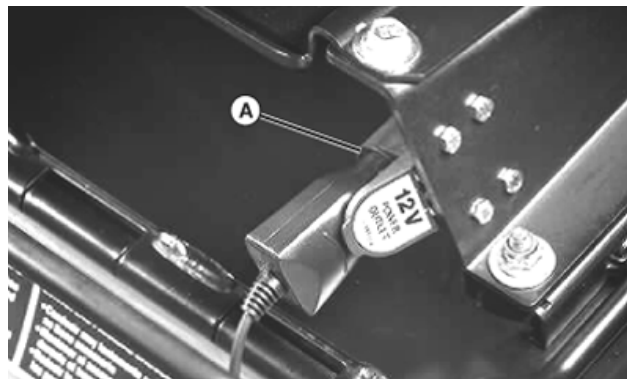


TCT008011—UN—11DEC13

8. 前部のストラップをフロントトランスアクスル (B) の周りに締め付けます。
9. エンジンカバーが閉まっていてラッチが掛かっていることを確認します。トレーラーに載せているときの頭上高の問題を防止するために ROPS を折りたたみます。

電源コンセントの使用

⚠ 注意： 機械を運転中は個人用のエレクトロニクス機器やヘッドフォンを使用しないでください。電気コードがオペレーターステーションや機械の側面に垂れ下がらないようにしてください。



TCAL43327—UN—14MAR13

電源コンセントは、アクセサリを作動させる直流 12 V (VDC) を供給します。これは 10 A のヒューズ付きでイグニッションスイッチの位置に関係なく電源を供給します。このコンセントは耐候性のスプリング式カバー付きです。機械を保管する前に必ず装置をコンセントから外してカバーを閉めてください。

整備関連文書

この機械の部品カタログや技術マニュアルのコピーをお求めの場合は、次の連絡先にご連絡ください。

- **米国/カナダ**： 1-800-522-7448.
- **その他の地域**： John Deere 取扱店。

部品

John Deere 取扱店から入手可能な John Deere の高品質部品および潤滑剤をお勧めします。

品番は変更されることがあります。注文時は下記の品番を使用してください。品番が変更された場合、取扱店では最新の品番を使用します。

部品を注文される場合、John Deere 取扱店はお客様の機械やアタッチメントのシリアル番号や製品識別番号を必要とします。これらの番号は、このマニュアルの「製品識別」セクションに記録した番号です。

整備部品のオンライン注文

インターネット経由の部品の注文と情報については、<http://JDParts.deere.com> にアクセスしてください。

点検間隔

機械の整備

重要： 極端な条件での運転により、整備間隔の短縮が必要になる場合があります。

- 極端な熱、ほこり、またはその他の過酷な条件で運転しているときは、エンジン部品の汚損や詰まりが発生することがあります。
- 機械を低速または低エンジン回転数で継続的に、または短期間頻繁に運転した場合、エンジンオイルが劣化する可能性があります。
- 高圧洗浄を行うと、機械の部品が損傷するおそれがあります。

次のタイムテーブルを参照して機械の定期メンテナンスを行ってください。

車両を安全に駐車します。「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。

慣らし運転

最初の 10 時間運転後

- ホイール金具を点検して締め付けます。

使用開始 50 時間後

注記： 機械の工場初期設定タイマーはエンジンオイルと作動油に対して 50 時間に設定されています。50 時間の間隔が満了したら、タイマーを通常間隔の 250 時間 (エンジンオイルの場合) または 500 時間 (作動油の場合) にリセットする必要があります。(「整備タイマーの使用」を参照してください)。

- エンジンオイルとフィルタを交換します。
- トランスアクスルオイルとフィルタを交換します。
- 整備タイマー間隔をリセットします。

50 時間ごとまたは毎年

- キャブのエアフィルタを清掃します (キャブ付きの装置)。
- デッキの部品を潤滑します。
- カuttingユニットまたはモアのリフト部品を潤滑します。
- ドライブシャフトを潤滑します。
- バッテリ端子を清掃し、バッテリー液レベルを点検します (該当する場合)。
- リア車軸の部品を潤滑します。
- ステアリングシリンダを潤滑します。
- モアデッキのベルトを点検します。
- 4WD モデル：リア車軸のオイルレベルを点検します。
- ホイール金具を点検して締め付けます。

100 時間ごと

- リア車軸ピボットを潤滑します。
- ハイドロスタティックリンケージを潤滑します。
- 旋回ブレーキペダルを潤滑します。

250 時間ごと

- エンジンオイルとフィルタを交換します。
- トランスアクスルオイルとフィルタを交換します。

500 時間ごと

- ROPS の金具のトルクを点検します。
- 燃料フィルタを交換します。
- 4WD モデル：リア車軸オイルを交換します。
- リア車軸のトーイン調整を点検します。
- リア車軸のピボットピンに摩耗や損傷がないか点検します。

1000 時間ごと

- バルブクリアランスを点検します。

1500 時間ごと

- クーラントの凍結温度と透明度を点検します。
- フューエルインジェクタを点検します。

2,000 時間または 2 年ごと

- エンジンクーラントとサーモスタットを交換します。

バイオディーゼル燃料に変更後の整備間隔

重要： B6 から B20 の混合燃料のうち、EN14214 (欧州規格) または ASTM D-7467 (米国規格) に適合したバイオディーゼル燃料のみを使用してください。

バイオディーゼル燃料は、燃料販売業者が製造した日から 3 か月以内に使用する必要があります。

注記： バイオディーゼル混合燃料を使用する際は、*John Deere Biodiesel Fuel Conditioner* の使用を推奨します。

B6～B20 の混合燃料を使用するよう転換した作業機については、以下の間隔で整備を行います。

毎日

- ウォーターセパレータを点検し、必要に応じて排水します。

点検間隔

- エンジンオイルを点検します。オイルレベルが上が
る場合は、ただちにエンジンオイルを交換してくだ
さい。

エンジンオイルとフィルタの交換間隔

- オペレータマニュアルに記載されている通常の
ディーゼル燃料使用時の整備間隔の 50% で交換しま
す。

燃料フィルタの交換間隔

- オペレータマニュアルに記載されている通常の
ディーゼル燃料使用時の整備間隔の 50% で交換しま
す。

1000 時間ごと

- フューエルインジェクタを清浄、点検、および調整
します。

潤滑関連の整備

グリース

重要： 部品の故障や早期摩耗を回避するために、推奨される John Deere グリースを使用してください。

推奨 John Deere グリースは、平均気温 -29～135°C (-20～275°F) の範囲で有効です。

この温度範囲外で運転する場合は、特殊用途グリースについて整備取扱店にお問い合わせください。

次のグリースをお勧めします。

高速用途

以下の高速用途には、John Deere Multi-Purpose SD Polyurea Grease または John Deere Multi-Purpose HD Lithium Complex Grease を使用してください。

- エンジンドライブシャフト (1 箇所)
- PTO シャフト (3 箇所)。

その他の用途

他のすべての用途には、John Deere Multi-Purpose HD Lithium Complex Grease または John Deere Moly High Temperature EP Grease を使用してください。

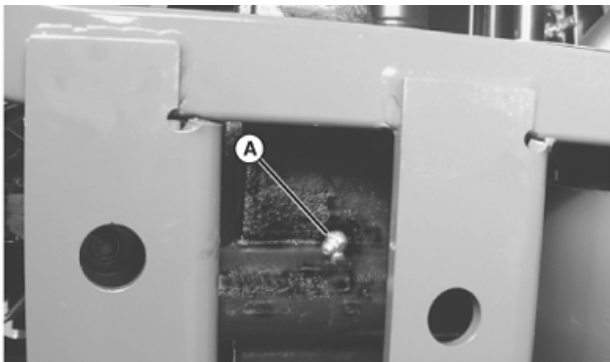
推奨グリースを使用していない場合は、NLGI Grade 2 の一般的な汎用グリースを使用していることを確認してください。モアスピンドルやリア車軸などの高速用途には、John Deere Moly High Temperature EP Grease を使用しないでください。

極端な湿潤条件で運転する場合は、特殊用途向けのグリースの使用が必要になることがあります。John Deere 取扱店にお問い合わせください。

汚損を防止するために潤滑の前後にすべてのグリースフィッティングを拭いてください。

リア車軸ピボットピンの潤滑

1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください)。

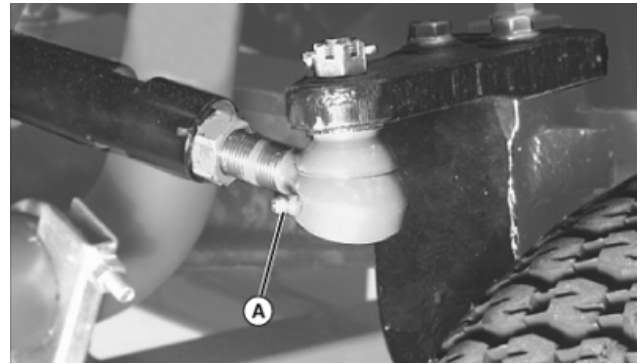


TCAL43328—UN—14MAR13

2. 機械後部下のリア車軸底部のフレームメンバー間にあるリア車軸ピボットピンのグリースフィッティング (A) を確認します。
3. 車軸キャスティングの前後からグリースがにじみ出てくるのを目視で確認できるまで、グリースフィッティングを John Deere Multi-Purpose HD Lithium Complex Grease または John Deere Moly High Temperature EP Grease で潤滑します。

リアタイロッドの潤滑

1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください)。



TCAL43329—UN—14MAR13

2. 左右のリアタイロッド (A) を John Deere Multi-Purpose HD Lithium Complex Grease または John Deere Moly High Temperature EP Grease で潤滑します。

油圧ステアリングシリンダの潤滑

1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください)。



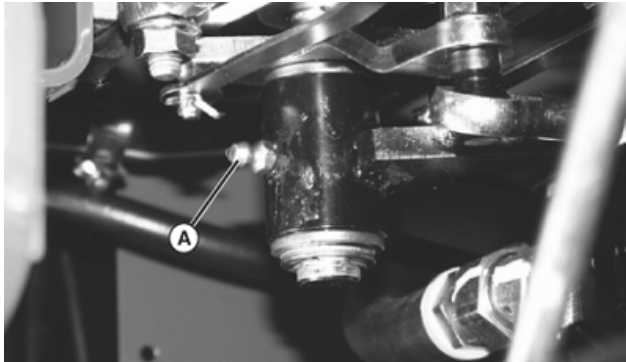
TCAL43330—UN—14MAR13

2. 機械後部の油圧ステアリングシリンダ端 (A) を John Deere Multi-Purpose HD Lithium Complex Grease または John Deere Moly High Temperature EP Grease で潤滑します。

潤滑関連の整備

ハイドロスタティックリンケージの潤滑

1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください)。

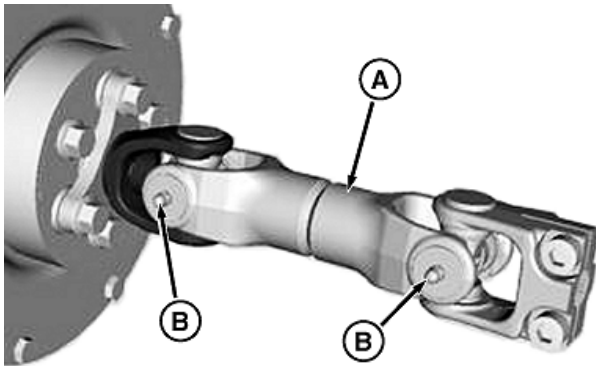


TCAL43331—UN—14MAR13

2. オペレータプラットフォームのサービスハッチの下(右フロントタイヤの後部)にあるハイドロスタティックリンケージのグリースフィッティング (A)を確認します。
3. リンケージを John Deere Multi-Purpose HD Lithium Complex Grease または John Deere Moly High Temperature EP Grease で潤滑します。

エンジンドライブシャフトの潤滑

1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください)。

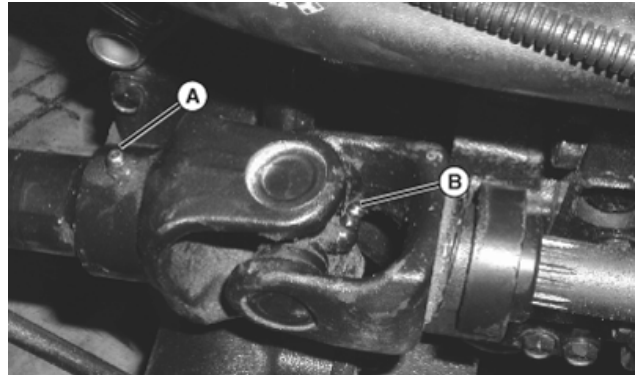


TCT010615—UN—06MAR14

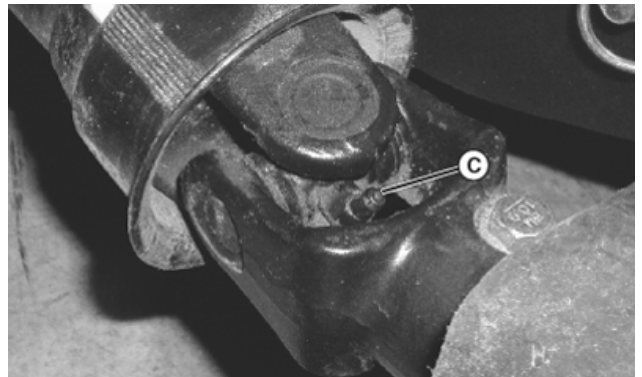
2. エンジンドライブシャフト (A) のフロントユニバーサルジョイントを John Deere Multi-Purpose SD Polyurea Grease または John Deere Multi-Purpose HD Lithium Complex Grease で潤滑します。
3. 各ユニバーサルジョイントの内側にある 4 つのベアリングキャップすべてからグリースがにじみ出るのを目視で確認できるまで、グリースを 2 つのグリースフィッティング (B) に注入します。

PTO シャフトの潤滑

1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください)。



TCAL43333—UN—14MAR13



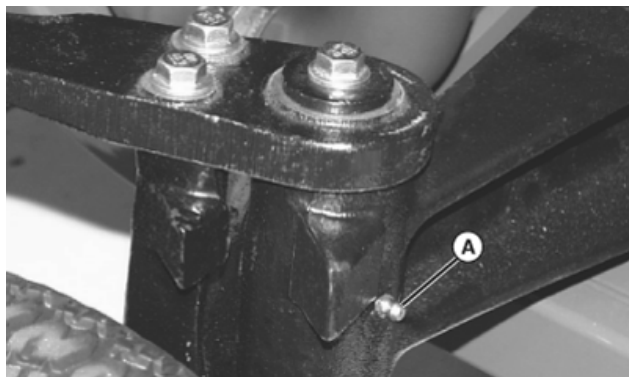
TCAL43334—UN—14MAR13

2. グリースフィッティング (A～C) を John Deere Multi-Purpose SD Polyurea Grease または John Deere Multi-Purpose HD Lithium Complex Grease で潤滑します。
3. 各ユニバーサルジョイントの内側にある 4 つのベアリングキャップすべてからグリースがにじみ出るのを目視で確認できるまで、グリースをグリースフィッティング (B、C) に注入します。

ステアリングスピンドルの潤滑 (2WD のみ)

1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください)。

潤滑関連の整備

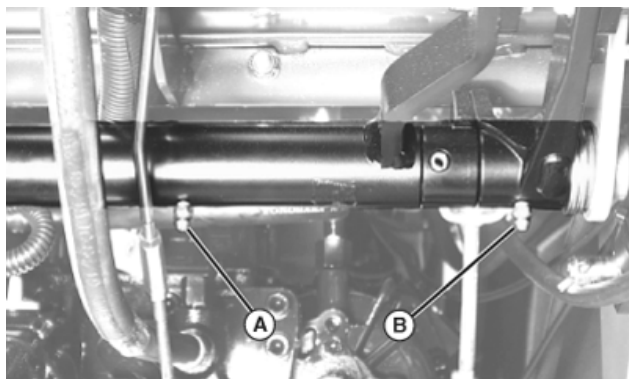


TCAL43335—UN—14MAR13

2. リア車軸ステアリングスピンドルの前側にあるステアリングスピンドルのグリースフィッティング (A) の位置を確認します (2 輪駆動モデルのみ)。
3. リンケージを John Deere Multi-Purpose HD Lithium Complex Grease または John Deere Moly High Temperature EP Grease で潤滑します。
4. 機械の反対側にあるステアリングスピンドルのグリースフィッティングでも手順を繰り返します。

ブレーキペダルリンケージの潤滑

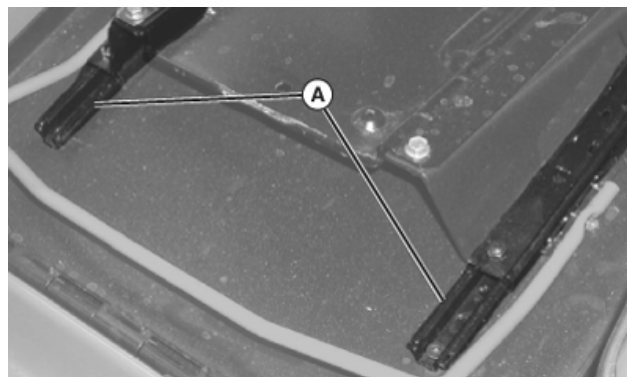
1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。)



TCAL43336—UN—14MAR13

2. オペレータプラットフォームの左前側の下にあるブレーキペダルリンケージのグリースフィッティング (A、B) の位置を確認します。
3. リンケージを John Deere Multi-Purpose HD Lithium Complex Grease または John Deere Moly High Temperature EP Grease で潤滑します。

オペレータシートスライドの潤滑

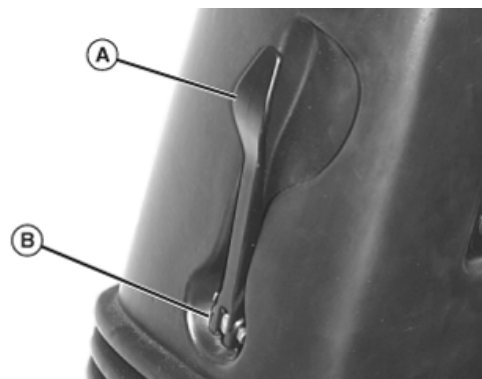


TCAL43337—UN—14MAR13

1. オペレータシートスライド (A) を John Deere Super Lube などの乾燥性のテフロン潤滑剤を使用して潤滑します。
2. シートを前後に動かしながらシートスライドに潤滑剤をスプレーします。

ステアリングコラムのチルトロックの潤滑

1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください)。



TCAL43338—UN—14MAR13

2. レバー (A) を外側に引いてステアリングコラムを解放します。
3. John Deere Super Lube™ などの乾燥性の潤滑剤を使用してカム機構 (B) を潤滑します。

エンジンの整備

エンジン保証メンテナンスに関する告知

お客様が費用を支払って行われるこのエンジンの排出ガス浄化装置およびシステムのメンテナンス、修理、交換は、ノンロードエンジン修理施設または個人により実施できます。保証修理は、認定 John Deere 取扱店が実施する必要があります。

排出ガス制御システム認定ラベル

注記：権限のない作業員による排出ガス制御／構成部品の改造には、厳しい罰金や違約金が科せられる場合があります。排出ガス制御／構成部品は、EPA または CARB 認定サービスセンターのみが調整できます。排出ガス制御／構成部品に関しては、John Deere 取扱店にお問い合わせください。

エミッションラベルは、ラベルの貼られたエンジンが米国 EPA (Environmental Protection Agency) または CARB (California Air Resources Board) で認定されていることを示します。

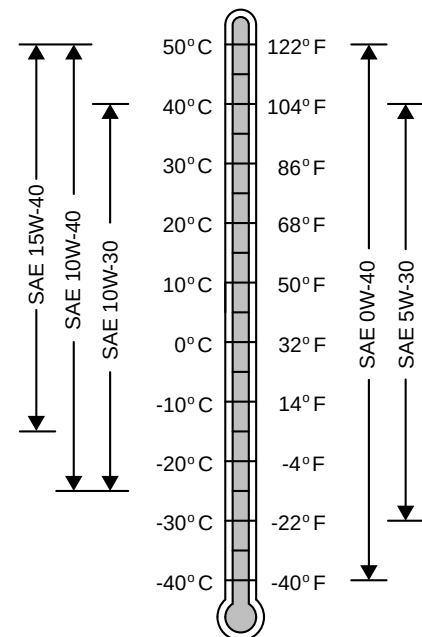
排出ガス保証は、John Deere によって販売され、EPA または CARB によって認定され、米国とカナダにおいてオフロード移動装置内で使用されるエンジンにのみ適用されます。

排ガス防止

注意：エンジンの排気ガスは一酸化炭素を含んでおり、深刻な病気や死亡事故の原因になります。

- エンジンを運転する前に、機械を屋外に移動させてください。
- 適切な換気装置がない密閉された場所でエンジンを運転しないでください。
- エンジンの排気管に延長管を接続して、排気ガスをエリア外に排出してください。
- 屋外の新鮮な空気を作業エリアに取り込み、排気ガスを除去してください。

エンジンオイル



TS1691—UN—18JUL07

気温範囲でのオイル粘度

次のオイル交換までの期間に予期される気温範囲に基づいたオイル粘度を使用してください。

以下の John Deere オイルをお勧めします。

- John DeerePlus-50™ II
- John DeereTorq-Gard™ Supreme

上記のJohn Deereオイルを入手できない場合は、以下の仕様を満たしている他のオイルを使用できます。

- APIサービス分類：CJ-4
- ACEA 規格 E6 または E9
- JASO 規格 DH-2

ディーゼル燃料の品質と燃料硫黄含有量は、エンジンを運転する地域のすべての排出ガス規制に準拠する必要があります。

™Plus-50 は Deere & Company の商標です。
™Torq-Gard は Deere & Company の商標です。

エンジンの整備

シートプラットフォームを上げる／下げる

シートプラットフォームを上げる

1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。)

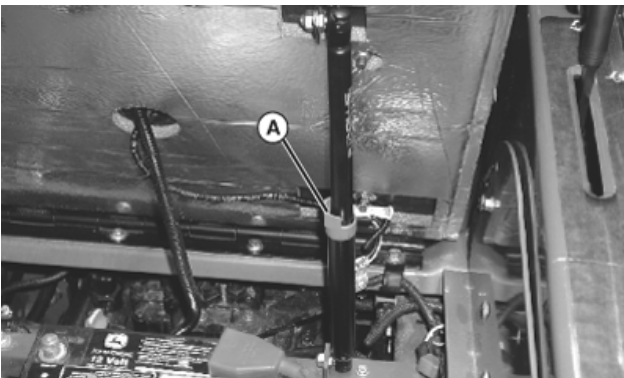
⚠ 注意： 指や手が挟まれたりつぶれたりするおそれがあります。挟まれるおそれのある部位に留意し、手を近づけないでください。



TCAL43342—UN—14MAR13

2. オペレータシートの背もたれを前方に引っ張りながらリリースレバー (A) を前方に引きます。
 - ガスストラットが伸長して開放位置にラッチが掛かるまでシートプラットフォームが上昇します。

シートプラットフォームを下げる



TCAL43343—UN—14MAR13

1. ガスストラットのロックレバー (A) を押し込みます。
2. シートプラットフォームが下がりラッチがかかるまで、シートの背もたれを後方に引きます。

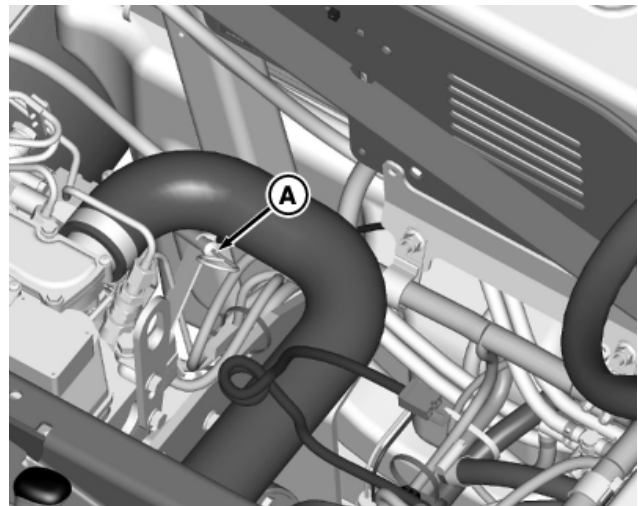
エンジンオイルレベルの点検 (1550)

重要： 損傷を防止してください。ごみや他の汚染物質がオイルディップスティックチューブから入らないようにしてください。ディップスティックを取り外す前にディップスティックの周りを清掃してください。

定期的なオイルレベルの点検を怠ると、オイルレベルが低い場合に重大なエンジンの問題が発生することがあります。

- 運転の前にオイルレベルを点検してください。
- エンジン冷間時、運転されていないときにオイルレベルを点検してください。
- フルマークと追加マークの間にレベルを維持してください。
- オイルを追加する前に、エンジンを停止してください。
- 1 日に 4 時間以上エンジンを運転する場合は、オイルレベルを 1 日に 2 回点検してください。

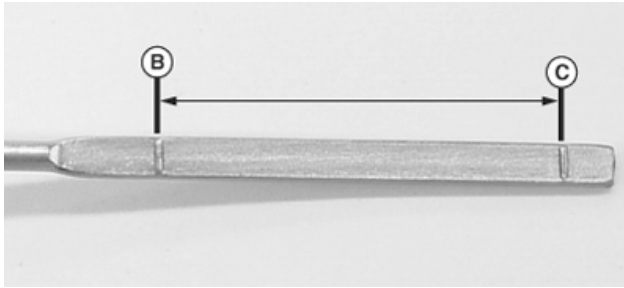
1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。)
2. オペレータシートプラットフォームを前に傾けます。



TCT010630—UN—21MAR14

3. シート下のエンジンの左側にあるディップスティック (A) を取り外します。ディップスティックをきれいな布で拭きます。

エンジンの整備



TCAL43345—UN—14MAR13

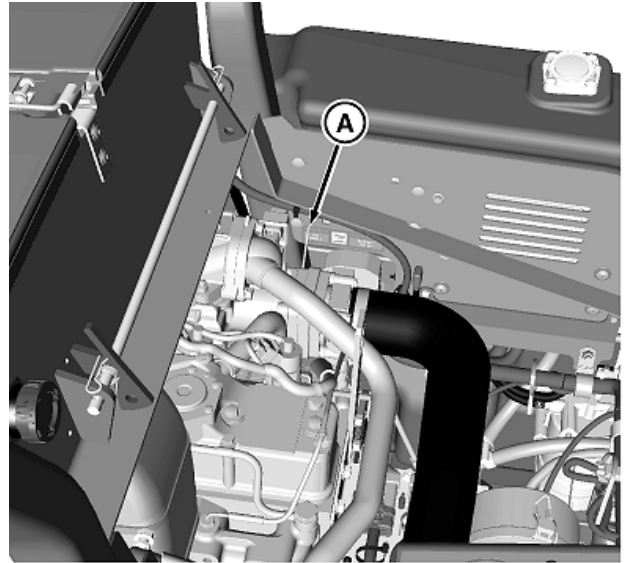
4. ディップスティックを取り付けて、もう一度取り外します。オイルレベルを点検します。オイルレベルは、ディップスティックのレベル (B) と (C) の範囲内にある必要があります。
 - オイルが少ない場合は、ディップスティックのレベル (B) 以下までオイルを追加します。
 - オイルレベルがディップスティックのレベル (B) を超えている場合は、適切なレベルになるまでオイルを抜きます。
5. ディップスティックを取り付けます。
6. オペレータシートプラットフォームを下げます。

エンジンオイルレベルの点検 (1570、1575、1580、1585)

重要： 損傷を防止してください。ごみや他の汚染物質がオイルディップスティックチューブから入らないようにしてください。ディップスティックを取り外す前にディップスティックの周りを清掃してください。

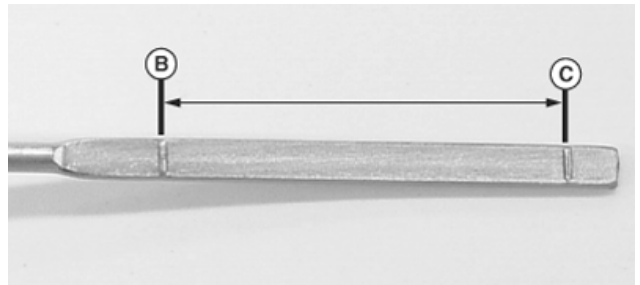
定期的なオイルレベルの点検を怠ると、オイルレベルが低い場合に重大なエンジンの問題が発生することがあります。

- 運転の前にオイルレベルを点検してください。
 - エンジン冷間時、運転されていないときにオイルレベルを点検してください。
 - フルマークと追加マークの間にレベルを維持してください。
 - オイルを追加する前に、エンジンを停止してください。
 - 1 日に 4 時間以上エンジンを運転する場合は、オイルレベルを 1 日に 2 回点検してください。
1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。)
 2. オペレータシートプラットフォームを前に傾けます。



TCT008509—UN—20SEP13

3. シート下のエンジンの左側にあるディップスティック (A) を取り外します。ディップスティックをきれいな布で拭きます。



TCAL43345—UN—14MAR13

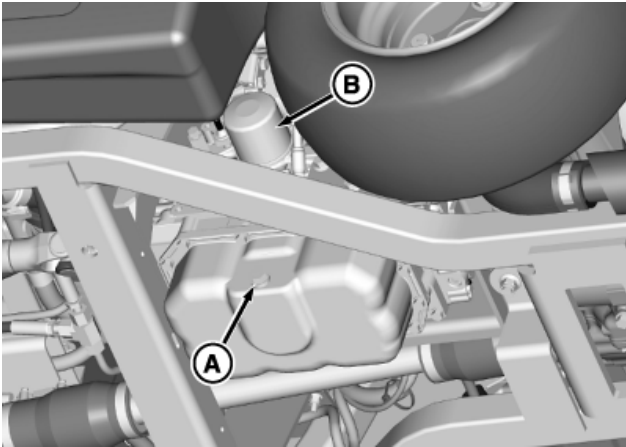
4. ディップスティックを取り付けて、もう一度取り外します。オイルレベルを点検します。オイルレベルは、ディップスティックのレベル (B) と (C) の範囲内にある必要があります。
 - オイルが少ない場合は、ディップスティックのレベル (B) 以下までオイルを追加します。
 - オイルレベルがディップスティックのレベル (B) を超えている場合は、適切なレベルになるまでオイルを抜きます。
5. ディップスティックを取り付けます。
6. オペレータシートプラットフォームを下げます。

エンジンオイルとフィルタの交換 (1550)

1. エンジンを運転してオイルを暖めます。
2. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。)
3. エンジンカバーとシートプラットフォームを開きます。

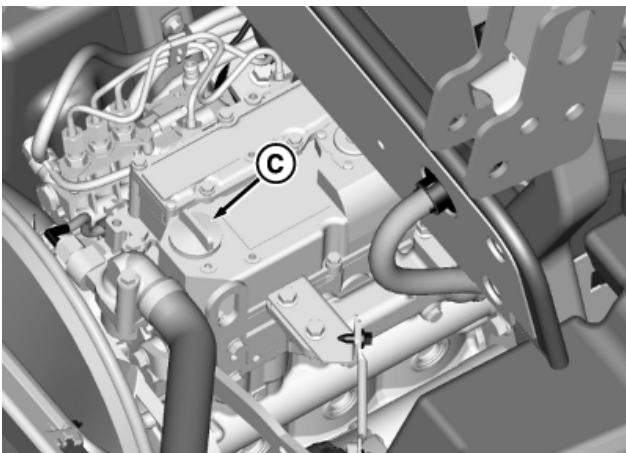
エンジンの整備

4. オイルを抜き取る位置の下にドレンパンを置きます。



TCT010631—UN—21MAR14

5. エンジンの下側にあるドレンプラグ (A) を取り外します。
6. エンジンの左下側にあるオイルフィルタ (B) を取り外します。フィルタを反時計回りに回して取り外します。
7. エンジンのフィルタ取り付け面を清潔なウエスで清掃します。
8. 新品のフィルタのガスケットに新品のエンジンオイルを薄く塗ります。
9. 新品のフィルタを取り付けます。
- フィルタが取り付け面に接触するまで、フィルタを時計回りに回します。ガスケットが接触したら、さらに 1/2～3/4 回転締め付けます。
10. オイルドレンプラグを取り付けます。締め付けすぎないでください。



TCT010632—UN—21MAR14

11. エンジン上部のオイルフィルキャップ (C) を取り外します。

12. 以下の手順に従ってオイルをエンジンに充填します。

エンジンオイル 仕様

1550 — 容量..... 3.1 L (3.3 qt)

13. オイルフィルキャップを取り付けます。
14. エンジンを始動します。
- エンジンをスローアイドルで約 2 分間運転します。
 - オイル漏れがないかエンジンの下側の部分を点検します。
15. エンジンを停止します。
16. 約 2 分後、エンジンオイルレベルを点検します。

重要： 損傷を防止してください。ごみや他の汚染物質がオイルディップスティックチューブから入らないようにしてください。ディップスティックを取り外す前にディップスティックの周りを清掃してください。

定期的なオイルレベルの点検を怠ると、オイルレベルが低い場合に重大なエンジンの問題が発生することがあります。

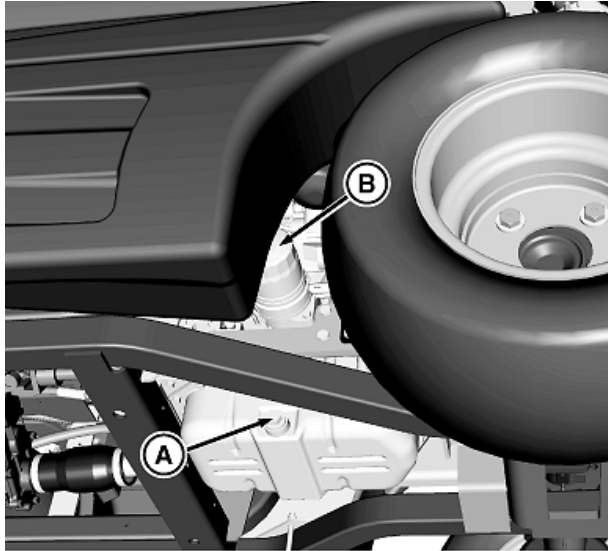
- 運転の前にオイルレベルを点検してください。
 - エンジン冷間時、運転されていないときにオイルレベルを点検してください。
 - フルマークと追加マークの間にレベルを維持してください。
 - オイルを追加する前に、エンジンを停止してください。
 - 1 日に 4 時間以上エンジンを運転する場合は、オイルレベルを 1 日に 2 回点検してください。
17. ディップスティックを取り外します。清潔な布で拭きます。
18. ディップスティックを取り付けます。
19. オイルレベルを点検します。
- オイルレベルが低い場合、オイルをディップスティックのフルマークまで注入します。
 - オイルがディップスティックのフルマークよりも上にある場合は、適切なレベルまで抜き取ります。
20. ディップスティックを取り付けます。
21. エンジンカバーを閉めてシートプラットフォームを下げます。

エンジンオイルとフィルタの交換 (1570、1575、1580、1585)

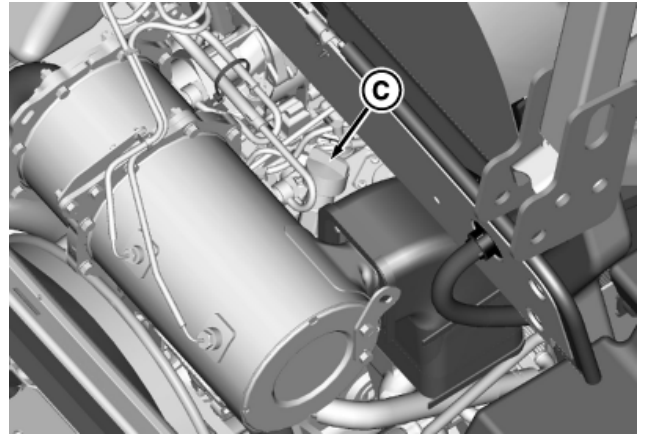
1. エンジンを運転してオイルを暖めます。
2. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。)

エンジンの整備

3. エンジンカバーとシートプラットフォームを開きます。
4. オイルを抜き取る位置の下にドレンパンを置きます。



5. エンジンの下側にあるドレンプラグ (A) を取り外します。
6. エンジンの左下側にあるオイルフィルタ (B) を取り外します。フィルタを反時計回りに回して取り外します。
7. エンジンのフィルタ取り付け面を清潔なウエスで清掃します。
8. 新品のフィルタのガスケットに新品のエンジンオイルを薄く塗ります。
9. 新品のフィルタを取り付けます。
 - フィルタが取り付け面に接触するまで、フィルタを時計回りに回します。ガスケットが接触したら、さらに 1/2～3/4 回転締め付けます。
10. オイルドレンプラグを取り付けます。締め付けすぎないでください。



11. エンジン上部のオイルフィルキャップ (C) を取り外します。
12. 以下の手順に従ってオイルをエンジンに充填します。

エンジンオイル 仕様

1570, 1575 — 容量	4.1 L (4.3 qt)
1580, 1585 — 容量	4.8 L (5.1 qt)

13. オイルフィルキャップを取り付けます。
14. エンジンを始動します。
 - エンジンをスローアイドルで約 2 分間運転します。
 - オイル漏れがないかエンジンの下側の部分を点検します。
15. エンジンを停止します。
16. 約 2 分後、エンジンオイルレベルを点検します。

重要： 損傷を防止してください。ごみや他の汚染物質がオイルディップスティックチューブから入らないようにしてください。ディップスティックを取り外す前にディップスティックの周りを清掃してください。

定期的なオイルレベルの点検を怠ると、オイルレベルが低い場合に重大なエンジンの問題が発生することがあります。

- 運転の前にオイルレベルを点検してください。
 - エンジン冷間時、運転されていないときにオイルレベルを点検してください。
 - フルマークと追加マークの間にレベルを維持してください。
 - オイルを追加する前に、エンジンを停止してください。
 - 1 日に 4 時間以上エンジンを運転する場合は、オイルレベルを 1 日に 2 回点検してください。
17. ディップスティックを取り外します。清潔な布で拭きます。
 18. ディップスティックを取り付けます。

エンジンの整備

19. オイルレベルを点検します。
 - オイルレベルが低い場合、オイルをディップスティックのフルマークまで注入します。
 - オイルがディップスティックのフルマークよりも上にある場合は、適切なレベルまで抜き取ります。
20. ディップスティックを取り付けます。
21. エンジンカバーを閉めてシートプラットフォームを下げます。

吸気スクリーンの清掃

⚠ 注意： 圧縮空気を使用すると、遠くまでごみが飛ぶ可能性があります。

- 作業エリアに人を近づけないでください。
- 清掃のために圧縮空気を使用するときは、ゴーグルを着用してください。
- 圧縮空気の圧力を 210 kPa (30 psi) まで下げてください。

重要： 吸気スクリーンが詰まっていると、過熱でエンジンが損傷することがあります。吸気スクリーンおよび冷却フィンを含むエンジンの他の外面を常に清潔に保ち、吸気が適切に行われるようにします。

1. 機械を安全に駐車します。（「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。）
2. エンジンカバーを開きます。



TCT007884—UN—11JUL13

3. ブラシ、圧縮空気、または水でスクリーン (A) を清掃します。
4. エンジンカバーを閉めます。

オイルクーラーとラジエータの清掃

⚠ 注意： 圧縮空気を使用すると、遠くまでごみが飛ぶ可能性があります。

- 作業エリアに人を近づけないでください。
- 清掃のために圧縮空気を使用するときは、ゴーグルを着用してください。
- 圧縮空気の圧力を 210 kPa (30 psi) まで下げてください。

重要： エンジンのオーバーヒートを防止し、適切な量の空気が取り入れられるように、オイルクーラーのコイルやラジエータの冷却フィンが清潔である必要があります。

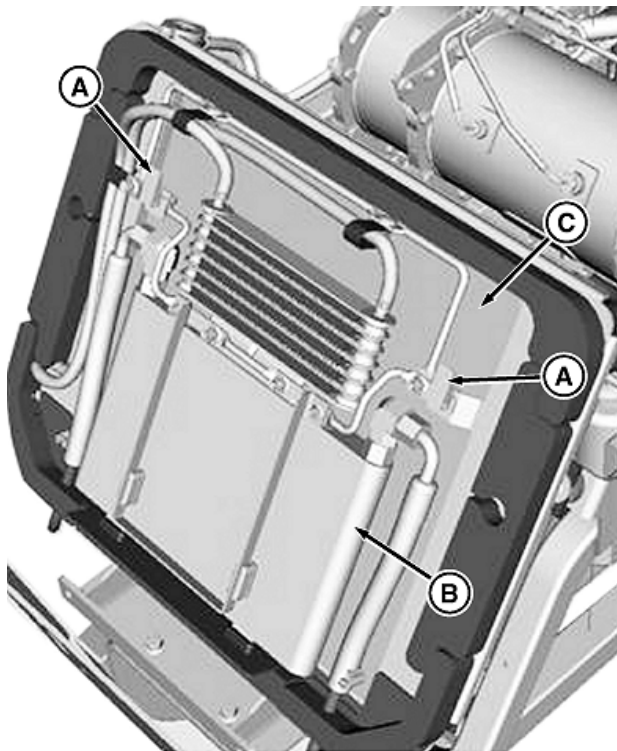
1. 機械を安全に駐車します。（「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。）
2. エンジンを冷まします。
3. エンジンカバーを開きます。

重要： オイルクーラーおよびラジエータを清掃するときは、清掃中に圧縮空気や動力式の洗浄ノズルをフィンから 15 cm (6 in) 以上離してください。ラジエータには前側 (ファン側) だけからスプレーしてください。

4. 以下の手順に従って、ラジエータからオイルクーラーを旋回させて離します。

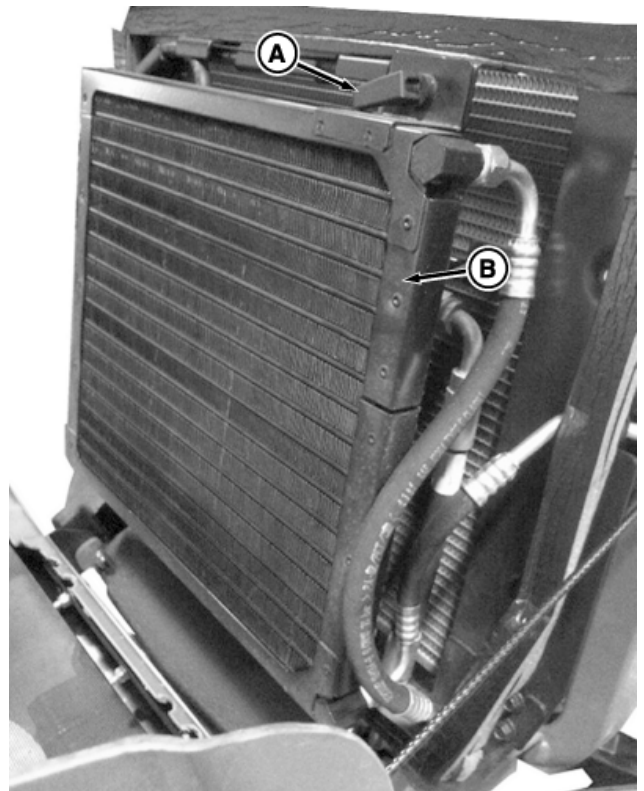
エンジンの整備

AC 非装備の機械



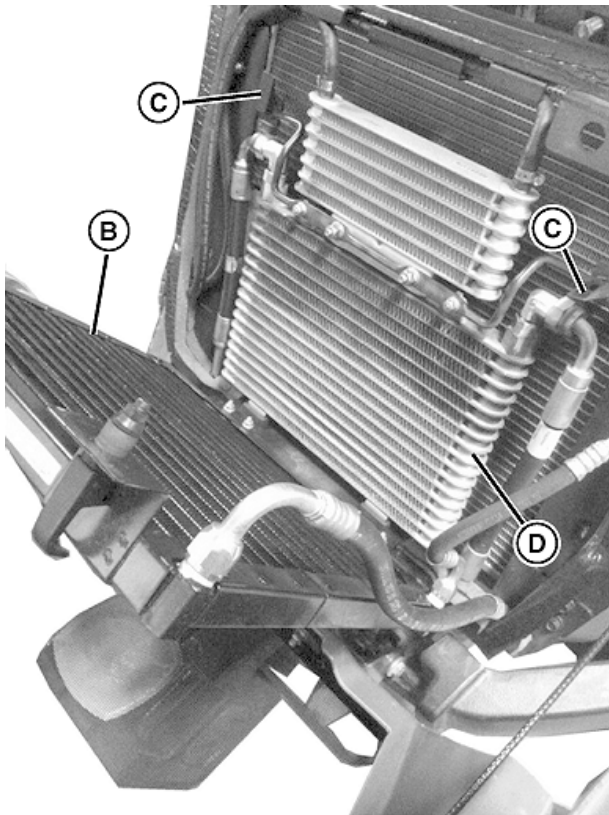
- 2つのハンドル (A) を前方に回転させてオイルクーラー (B) をラジエータフレームから外します。
- エンジンオイルクーラー (B) を少し開けてラジエータ冷却フィン (C) にアクセスします。

AC 装備の機械



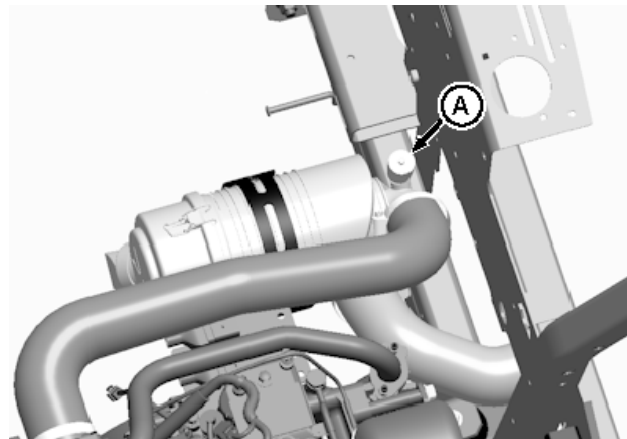
- ハンドル (A) を上にかつ機械の前方に回してエアコンコンデンサ (B) のラッチを外します。

エンジンの整備

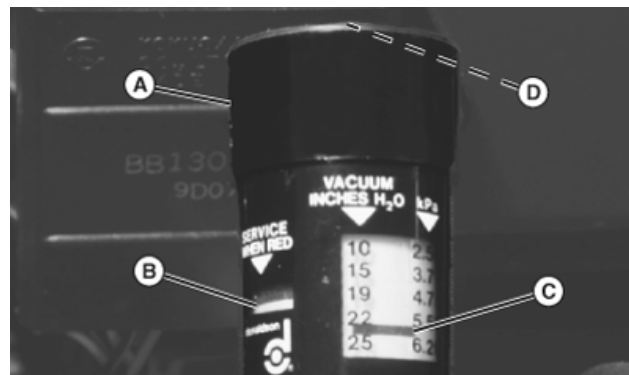


TCT007886—UN—13AUG13

注記：インジケータは、プラスチック製のインジケータハウジングが破損すると正しく機能しなくなります。



TCT011364—UN—03NOV15



TCAL43352—UN—14MAR13

- 図のようにエアコンコンデンサ (B) を前方に旋回させます。
 - 2 つのハンドル (C) を前方に回転させてオイルクーラー (D) を前方に旋回させます。
5. 圧縮空気または水を前側から後側にスプレーして、泥やごみをラジエータとオイルクーラーから除去します。
 6. オイルクーラーコイルとラジエータフィンが損傷していないか点検します。
- 注記： オイルクーラーを旋回させて元の位置に戻す前に、すべてのホースを取り回してブラケットに取り付けてください。
7. オイルクーラーをラジエータに向けて旋回させ、2 つのハンドルで固定します。
 8. AC 装備の機械：エアコンコンデンサをフレームに戻して、リリースラッチハンドルで固定します。
 9. エンジンカバーを閉めます。

エアフィルタ目詰まりインジケータの点検

1. 機械を安全に駐車します。（「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。）
2. シートプラットフォームを上げるか、バッテリーカバーを取り外します。

3. フィルタ目詰まりインジケータ (A) を点検します。
 - インジケータウィンドウ (B) が黄色の場合は、エアクリーナの整備は不要です。
 - インジケータの窓が赤の場合は、エアクリーナエレメントを交換する必要があります。
 - インジケータの真空度目盛 (C) で、エアクリーナエレメントの詰まり具合を確認することができます。
4. ハウジング上部のゴムのボタン (D) を押し、インジケータをリセットします。
5. シートプラットフォームを下げるか、バッテリーカバーを取り付けます。

エンジンの整備

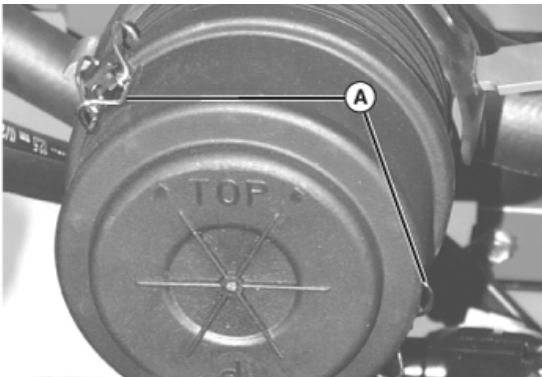
エアクリーナエレメントの整備

重要： 極端に暑い、ほこりが多い、またはその他の過酷な条件で機械を運転しているときは、フィルタ目詰まりインジケータを毎日点検してください。

- エアクリーナエレメントを取り付けていない場合は、絶対にエンジンを運転しないでください。
- ペーパーエレメントは洗淨しないでください。
- ペーパーエレメントを物に当てて清掃しないでください。
- エレメントの清掃に圧縮空気を使用しないでください。

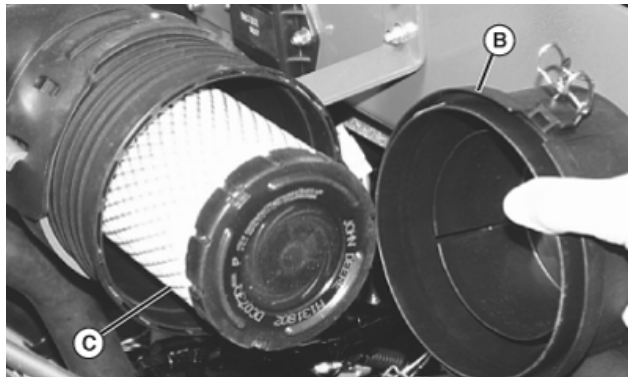
1 次エアクリーナエレメント

1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。)
2. エンジンを冷まします。
3. シートプラットフォームを上げます。



TCAL43353—UN—14MAR13

4. スプリングラッチ (A) を外して、エアクリーナハウジングからラッチを外します。



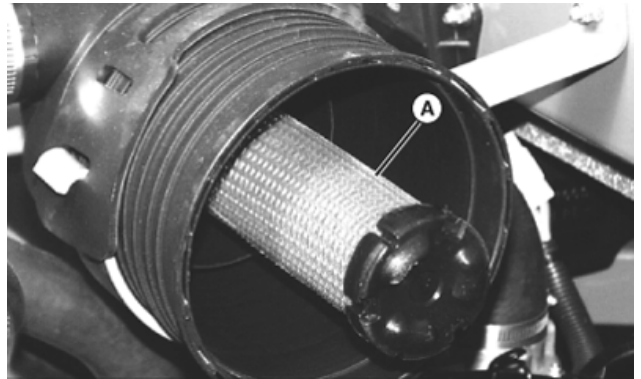
TCAL43354—UN—14MAR13

5. エアクリーナカバー (B) を取り外します。
6. 1 次エレメント (C) を取り外して廃棄します。

7. 新品の 1 次エレメントを取り付けます。
8. 「TOP」マークを上に向けてエアクリーナカバーを取り付けます。
9. フィルタ目詰まりインジケータをリセットします。
10. エンジンを始動し、ハイアイドルで 1 分間運転します。
11. エンジンを停止します。以下の手順に従って、フィルタ目詰まりインジケータを点検します。
 - インジケータの窓が黄色のままの場合、エアクリーナは作動の準備が整っています。
 - インジケータの窓が赤になっている場合、2 次エアフィルタエレメントを交換します。

2 次エアフィルタエレメント

1. エアクリーナカバーを取り外します。
2. 1 次エアクリーナエレメントを取り外します。



TCAL43355—UN—14MAR13

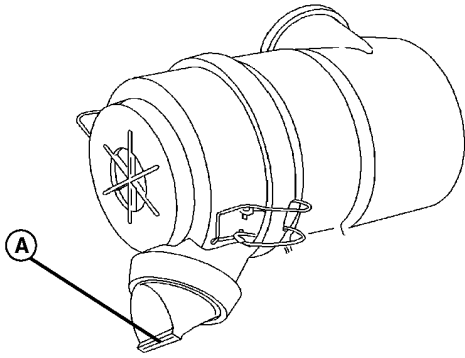
3. 2 次エレメント (A) を取り外して廃棄します。
4. 新品の 2 次エレメントを取り付けます。
5. 1 次エアクリーナエレメントを取り付けます。
6. 「TOP」マークを上に向けてエアクリーナカバーを取り付けます。
7. シートプラットフォームを下げます。

ダストアンローディングバルブの清掃

重要： エアクリーナエレメントとゴム製のダストアンローディングバルブを取り付けていない状態で、エンジンを運転しないでください。

1. 車両を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。)
2. エンジンを冷まします。
3. エンジンルームにアクセスします。

エンジンの整備

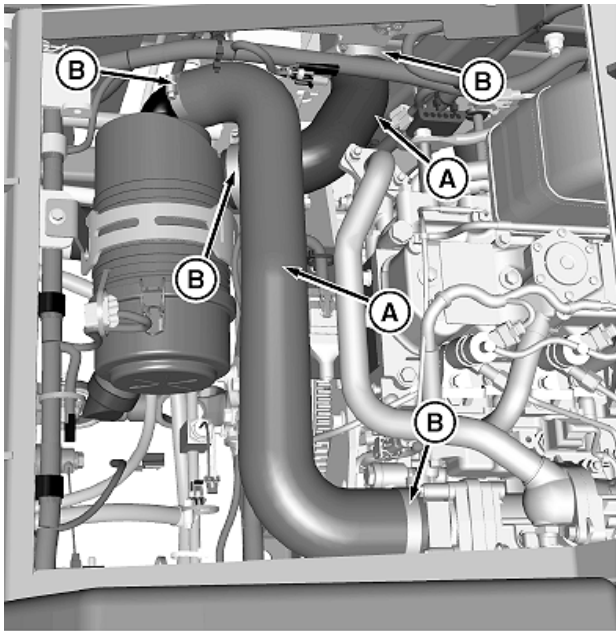


TCAL43356—UN—14MAR13

4. ダストアンローディングバルブ (A) を絞って清掃します。損傷がある場合は、取り外して交換します。

エアインテークホースとクランプの点検

1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。)
2. エンジンを冷まします。
3. エンジンカバーを開きます。



TCT009083—UN—04NOV13

4. エアインテークホース (A) に亀裂や破損がないか点検します。必要に応じて交換します。
5. ホースクランプ (B) を締め付けます。

ラジエータホースとクランプの点検

1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。)

2. エンジンを冷まします。
3. エンジンカバーを開きます。
4. ラジエータホースとオーバーフローホースに亀裂や損傷がないか点検します。必要に応じて交換します。
5. 必要に応じて、ラジエータホースクランプとオーバーフローホースクランプを締め付けます。
6. エンジンカバーを閉めます。

ディーゼルエンジンクーラント

推奨クーラント：

以下の予混合タイプのエンジンクーラントをお勧めします。

- John Deere Cool-Gard™ II
- John Deere Cool-Gard™ II PG

すべての Cool-Gard™ II 予混合タイプの製品がすべての国で販売されているわけではありません。

毒性のないクーラントの処方が必要な場合は、COOL-GARD™ II PG を使用してください。

その他の推奨クーラント

次のエンジンクーラントも推奨されています。

- John Deere COOL-GARD™ II Concentrate (上質水との 40～60% の混合)

重要： 損傷を防止してください。クーラント濃縮液と水を混合するときは、40% 未満または 60% を超える濃度のクーラントを使用しないでください。40% 未満は腐食防止用の添加剤としては不十分です。60% を超えると、クーラント凍結や冷却システムの問題が発生することがあります。

その他のクーラント

その他、次のいずれかの基準に適合するエチレングリコール系またはプロプレングリコール系のクーラントを使用できます。

- ASTM D6210 要件に適合する予混合タイプのクーラント
- ASTM D6210 要件に適合する濃縮タイプのクーラント (上質水との 40～60% 濃度の混合液)
- ASTM D3306 要件に適合する予混合タイプのクーラント
- ASTM D3306 要件に適合する濃縮タイプのクーラント (上質水との 40～60% 濃度の混合液)

これらの基準のいずれかに適合するクーラントを入手できない場合は、少なくとも次の化学的または物理的特性を備えた濃縮タイプまたは予混合タイプのクーラントを使用します。

™Cool-Gard は Deere & Company の商標です。

エンジンの整備

- 亜硝酸塩を使わない添加剤パッケージで調合されている
- 冷却システムの金属 (鋳鉄、アルミ合金、真鍮などの銅合金) を腐食から保護する。

水質

冷却システムの性能にとって水質は重要です。エチレングリコール系のエンジンクーラント濃縮タイプと混合する場合は、蒸留水、純水、または脱塩水をお勧めします。

クーラントの交換間隔

指定間隔で冷却システムをフラッシングして新しいクーラントを補充します。この間隔は使用するクーラントによって異なります。

Cool-Gard™ II または Cool-Gard™ II PG を使用する場合、交換間隔は 6 年または 6000 運転時間です。

Cool-Gard™ II または Cool-Gard™ II PG 以外のクーラントを使用する場合、交換間隔は 2 年または 2000 運転時間に短縮されます。

重要： 損傷を防止してください。冷却システムシーリング添加剤、またはシーリング添加剤を含む不凍液を使用しないでください。

重要： 損傷を防止してください。エチレングリコール系とプロピレングリコール系のクーラントを混合しないでください。

重要： 損傷を防止してください。亜硝酸塩を含むクーラントを使用しないでください。

⚠ 注意： ラジエータは高温になり、やけどを負う可能性があります。ラジエータキャップを取り外すと、蓄積されている圧力によってクーラントが噴出する可能性があります。次の注意事項に従ってください。

- エンジンを停止し、放置して冷まします。
- エンジンやラジエータに素手で触ることができない限り、キャップを取り外さないでください。
- 最初の停止位置までキャップを徐々に緩め、すべての圧力を解放します。次に、キャップを取り外します。

クーラントレベルの点検

重要： 正しくないクーラント混合液を使用すると、ラジエータが損傷することがあります。

- 水のみでエンジンを運転しないでください。
- クーラントと水の混合液は50%を超えないでください。
- アルミニウム製のエンジンブロックやラジエータには、承認されたエチレングリコール系不凍液が必要です。

1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。)
2. エンジンを冷まします。エンジンカバーを開きます。

冷却システムの安全な整備



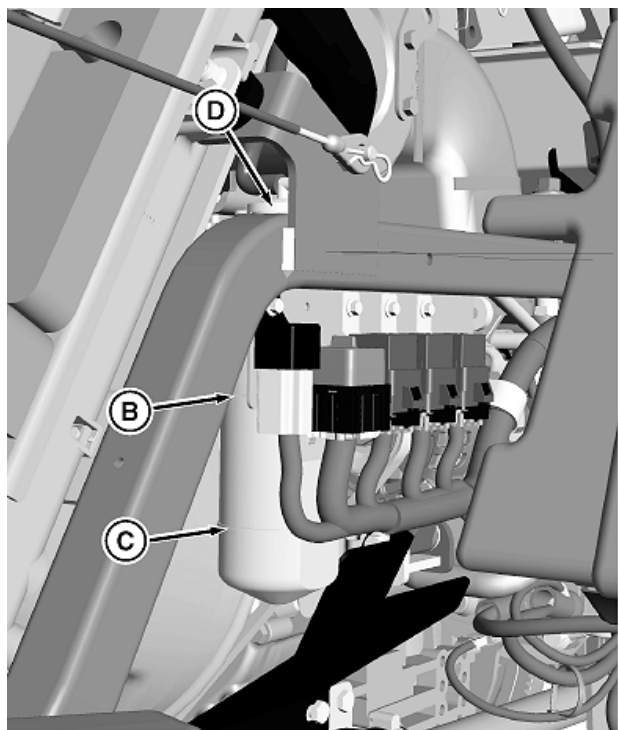
TCAL42226—UN—08MAR13



TCAL43359—UN—14MAR13

3. ラジエータキャップ (A) をゆっくりと開いて取り外し、クーラントレベルがフィラーネックに達していることを確認します。
4. クーラントレベルが低い場合は、ラジエータの右側のエア抜き穴を開き、クーラントを追加してエア抜き穴を閉めます。
5. ラジエータキャップを取り付けます。
6. クーラントリカバリタンクを点検します。オーバーフローホースがリカバリタンクの底に触れていないことを確認します。

エンジンの整備



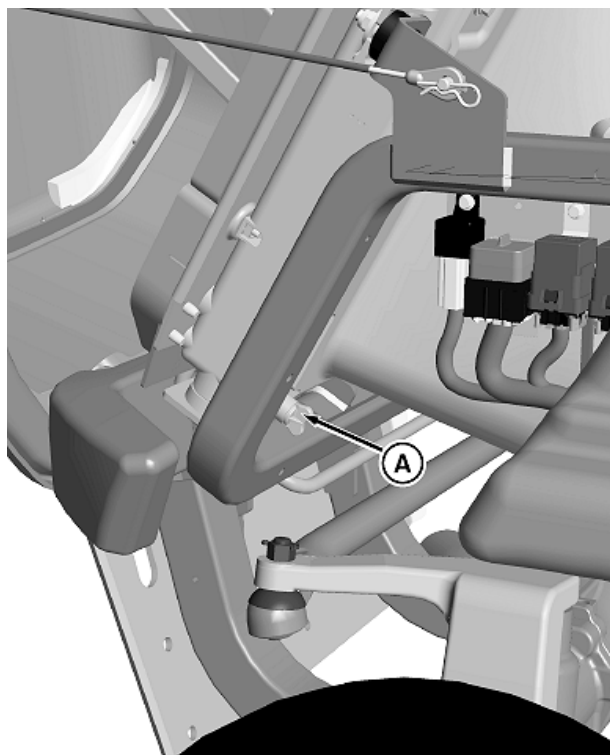
TCT009084—UN—04NOV13

7. クーラントリカバリタンクは、エンジン使用温度でおよそ FULL (B) と LOW (C) の間にある必要があります。
8. レベルが低い場合は、キャップ (D) を取り外してクーラントを追加します。
9. ホースとクランプの状態を点検します。接続の緩みや漏れがないか点検します。

冷却システムの整備

冷却システムの抜き取り

1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。)
2. エンジンを冷まします。
3. エンジンカバーを開きます。
4. ラジエータキャップを最初に止まる位置まで徐々に開き、すべての圧力を解放します。



TCT009085—UN—04NOV13

5. リアバンパーの下のラジエータの底部にあるラジエータドレン (A) を開きます。クーラントを容器に抜き取ります。
6. ラジエータからすべてのクーラントを抜き取ったら、ラジエータドレンを閉めます。
7. 冷却システムをフラッシングします。

冷却システムのフラッシング

1. 冷却システムから抜き取り、John Deere Cooling System Cleaner、John Deere Cooling System Quick Flush、または同等品を充填します。冷却システムに上水を補充します。容器に表示されている指示に従います。
2. ラジエータキャップを取り付けて締め付けます。
3. エンジンを始動し、運転温度に達するまでエンジンを運転します。
4. エンジンを停止します。
5. ラジエータのドレンバルブを開きます。錆やごみが付着する前にすぐに冷却システムから抜き取ります。
6. ラジエータのドレンバルブを閉めます。
7. 冷却システムに清浄な水を満たし、システムがきれいになるまでフラッシングを繰り返します。
8. システムから抜き取り、クーラントを充填します。

エンジンの整備

冷却システムへの充填

重要： 不適切なクーラント混合液を使用すると、ラジエータが損傷することがあります。

- 水のみでエンジンを運転しないでください。
 - クーラントと水の混合液は50%を超えないでください。
 - アルミニウム製のエンジンブロックやラジエータには、承認されたエチレングリコール系不凍液が必要です。
1. エンジンと冷却システムが冷えた状態で、ラジエータキャップを最初の停止位置まで開いて、すべての圧力を解放します。キャップをわずかに押し下げ、反時計回りに回して取り外します。
 2. 冷却システムに充填します。
 - 冷却システムの容量は以下のとおりです。

冷却システム仕様	
1550 — 容量	7.1 L (7.5 qt)
1570、1575、1580、1585 — 容量	7.6 L (8.0 qt)
 - 特定の地理的領域では、さらに低い温度に対する保護が必要になる場合があります。最新の情報と推奨事項については、お使いの不凍液の容器のラベルを参照するか、John Deere 取扱店にご相談ください。
 - 漏れを止めるため、John Deere Cooling System Sealer または同等品をラジエータに加えることができます。冷却システムに他の添加剤は使用しないでください。
 3. エンジンを始動してラジエータのクーラントレベルを確認します。必要に応じてクーラントを追加し、フィラーネックまでクーラントレベルを上げます。
 4. ラジエータキャップを取り付けて締め付けます。エンジンを使用温度まで運転します。
 5. エンジンを停止し、放置して冷まします。
 6. 必要に応じて、クーラントをクーラントリカバリタンクに追加します。
 7. ホースとクランプの状態を点検します。漏れや接続の緩みがないか点検します。

注記：クーラントリカバリタンクはラジエータからのオーバーフローを回収するために使用され、運転中は約半分のレベルに維持されます。冷却システムが冷めると、クーラントは必要に応じてラジエータに戻ります。

燃料フィルタの整備 (1550)

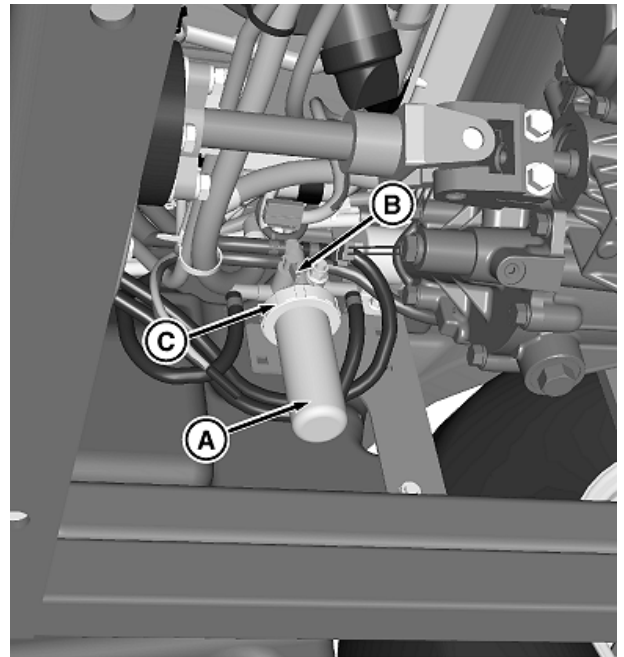
⚠ 注意： 燃料蒸気は爆発性および可燃性があります。

- 燃料を取り扱い中は喫煙しないでください。
- 火炎や火花に燃料を近づけないでください。
- 整備前にエンジンを停止してください。
- 整備を行う前にエンジンを冷ましてください。
- 十分に換気された場所で作業してください。
- こぼれた燃料はすぐに拭き取ってください。

注記：燃料レベルが低いときにフィルタを交換してください。

点検

1. 機械を安全に駐車します。（「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。）
2. エンジンを冷まします。
3. エンジンカバーを開きます。



TCT008013—UN—29JUL13

4. エンジンの左側にある燃料フィルタセグメントボウル (A) の位置を確認します。
5. セグメントボウルに水分がないか確認します。赤のフロートリングが底から持ち上がっていると、水分があることを示しています。

清掃と交換

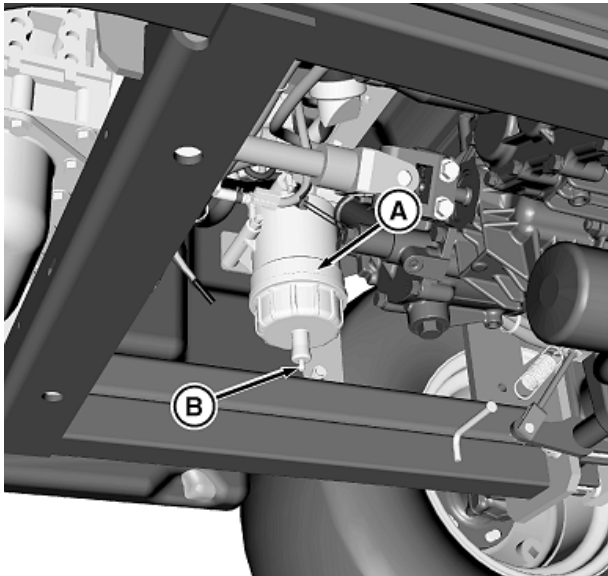
1. 燃料シャットオフバルブ (B) を水平位置まで回して閉めます。

エンジンの整備

2. カラー (C) を緩めてボウルとフィルタを取り外します。フィルタを廃棄します。
3. ボウルを清掃して新品のフィルタを取り付けます。
4. ボウルとカラーを取り付けます。カラーをしっかりと手締めします。
5. レバーを垂直位置まで回して (図示)、燃料シャットオフバルブを開きます。
6. 燃料ポンプのプライマレバーを使用して燃料システムをプライミングします。
7. エンジンを始動し、漏れがないか点検します。

ウォーターセパレータの抜き取り (1570、1575、1580、1585)

1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。)
2. エンジンを冷まします。



TCT008014—UN—29JUL13

3. エンジンの左側にある燃料フィルタセジメントボウル (A) の位置を確認します。
4. セジメントボウルに水分がないか確認します。赤のフロートリングが底から持ち上がっていると、水分があることを示しています。
5. 水分がある場合は、セジメントボウルの底部にあるドレン (B) を緩めて水分を抜き取ります。
6. ドレン (B) を閉めます。

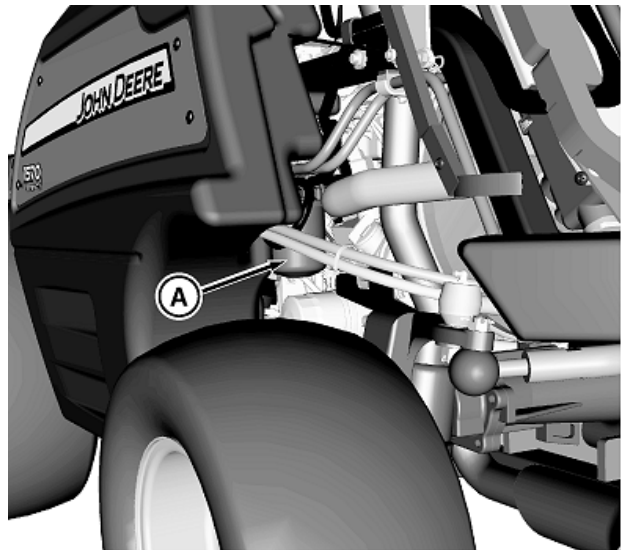
燃料フィルタの交換 (1570、1575、1580、1585)

⚠ 注意： 燃料蒸気は爆発性および可燃性があります。

- 燃料を取り扱い中は喫煙しないでください。
- 火炎や火花に燃料を近づけないでください。
- 整備前にエンジンを停止してください。
- 整備を行う前にエンジンを冷ましてください。
- 十分に換気された場所で作業してください。
- こぼれた燃料はすぐに拭き取ってください。

注記： 燃料レベルが低いときにフィルタを交換してください。

1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。)
2. エンジンを冷まします。
3. エンジンカバーを開きます。
4. ウォーターセパレータにある燃料シャットオフを OFF 位置まで回します。



TCT008015—UN—29JUL13

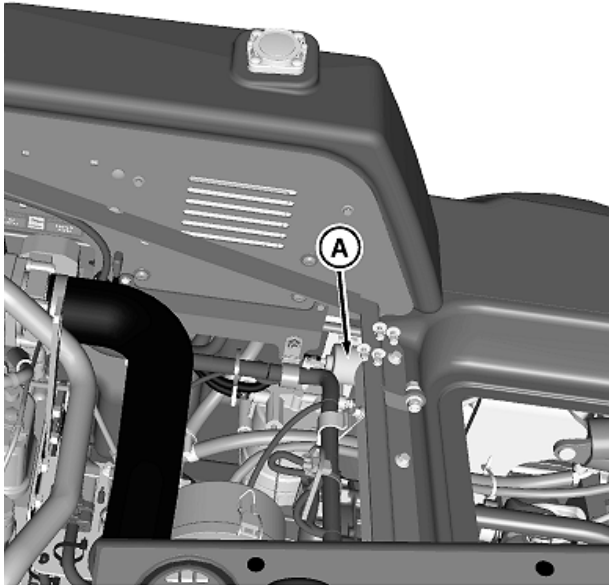
5. 燃料フィルタ (A) を反時計回りに回して取り外します。
6. 新品のフィルタのガスケットに清浄な燃料を薄く塗ります。
7. 新品の燃料フィルタを取り付けます。
8. 燃料シャットオフをオンの位置まで回します。
9. エンジンを始動し、漏れがないか点検します。

エンジンの整備

燃料システムのプライミング

注記：燃料切れになった後、または燃料フィルタを交換した後は、燃料システムのプライミングが必要になることがあります。

1. 機械を斜面ではなく水平な面に停止していることを確認します。
2. PTO スイッチをオフにします。
3. 装置を地面まで下げます。
4. パーキングブレーキをロックします。
5. キーを抜きます。



TCT009484—UN—11DEC13

電動ブーストポンプはシートの下、機械の左側にあります。

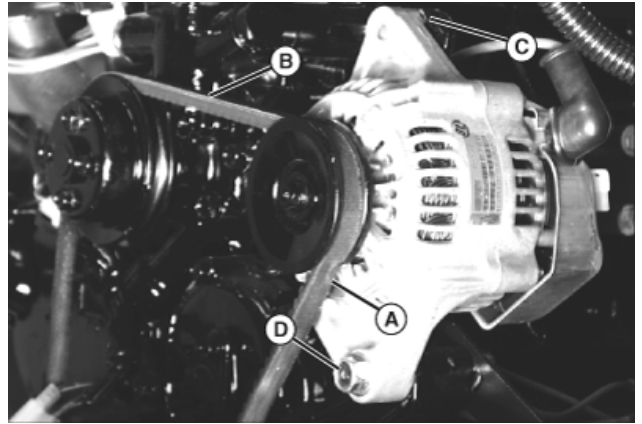
6. キースイッチを RUN 位置に 2 分間回してから、エンジンを始動します。燃料ポンプ (A) により燃料が加圧され、システムから空気が取り除かれます。
7. エンジンを始動します。エンジンが始動しない場合は、前の手順を繰り返します。

オルタネータベルトの点検と調整

⚠ 注意： 指、ゆったりした衣類、長い髪が回転部品に巻き込まれることがあります。オペレータステーションから離れて機械の調整や整備を行う前に、エンジンおよび可動部が停止するのを待ってください。

ベルト張力の点検

1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。)
2. エンジンを冷まします。
3. エンジンカバーを開きます。



TCAL43368—UN—14MAR13

4. オルタネータベルト (A) を点検します。
 - エンジンに取り付けられている状態で、ベルトに過度の摩耗、損傷、または伸びがないか点検します。
 - オルタネータとウォーターポンププーリーのおおよそ中間の位置 (B) でベルトに指で圧力をかけます。ベルトは、指定されている量だけたわむ必要があります。きつすぎるまたは緩すぎる場合は調整します。

仕様

オルタネータベルト — たわみ . . . 10~15 mm (3/8~1/2 in)

ベルト張力の調整

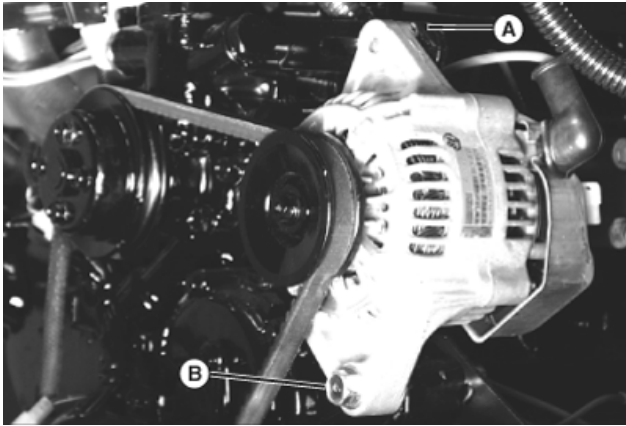
1. 調整ボルト (C) を緩めます。
2. オルタネータ取り付けボルト (D) を緩めます。
3. オルタネータハウジングに外向きの圧力を加えます。
4. 調整ボルト (C) と取り付けボルト (D) を締め付けます。
5. ベルト張力を点検します。
6. エンジンカバーを閉めます。

オルタネータベルトの交換

⚠ 注意： 高温の面に触れると、やけどを負う可能性があります。エンジンを運転している場合、エンジン、部品、フルードは高温になります。エンジンや部品の近くで整備や作業を行う前に、エンジンを冷ましてください。

1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。)
2. エンジンを冷まします。
3. エンジンカバーを開きます。

エンジンの整備



TCAL43369—UN—14MAR13

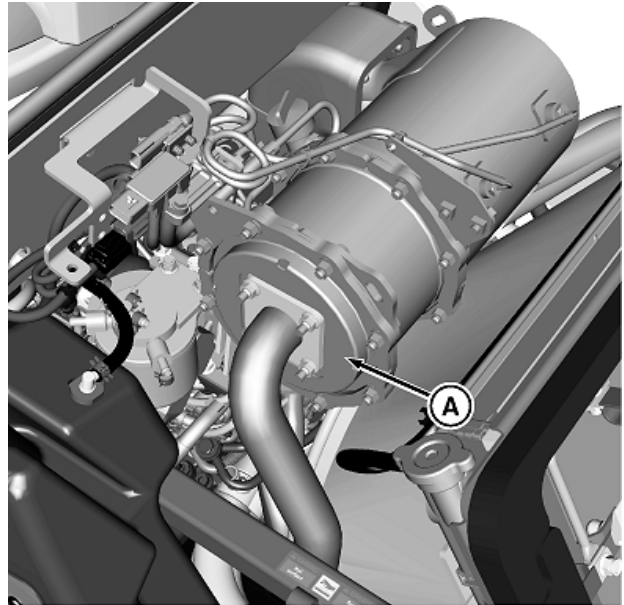
4. 調整ボルト (A) を緩めます。
5. オルタネータ取り付けボルト (B) を緩めます。
6. オルタネータをエンジン側に押してオルタネータベルトの張力を緩めます。
7. 摩耗しているオルタネータベルトを機械から取り外します。

注記： ベルトがプーリーから外れる程度に十分緩めるには、オルタネータ調整ボルトを取り外す必要がある場合があります。

8. ファンブレードをかわして新品のベルトを取り回し、エンジンとオルタネータプーリーに取り付けます。
9. オルタネータベルトの張力を調整します。
10. エンジンカバーを閉めます。

エグゾーストフィルタの整備

⚠ 注意： 連邦、州、地域の法律や規則により、エグゾーストフィルタの灰は危険廃棄物に分類されている場合があります。危険廃棄物は、危険廃棄物の処分に関するすべての適用可能な連邦、州、地域の法律や規則に従って処分する必要があります。資格を備えた整備提供者だけがエグゾーストフィルタから灰を除去する必要があります。エグゾーストフィルタの灰の取り扱いと廃棄については、認定取扱店にお問い合わせください。



TCT010611—UN—28FEB14

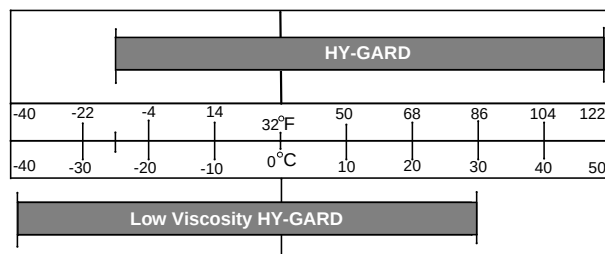
エグゾーストフィルタ (A) は残留灰を捉えるように作られており、この灰はクランクケースの潤滑剤と燃料に使用されている添加剤の不燃焼物です。灰の量が増えるとすすに対する容量が減ります。排気システムの背圧の増加により、エンジン性能が低下するおそれがあります。残留灰をフィルタから除去する必要があります。灰の除去を行うには、機械からエグゾーストフィルタを取り外して専用の装置でクリーニングするか、エグゾーストフィルタを交換します。

重要： 損傷を防止してください。機械からエグゾーストフィルタを取り外そうとしないでください。灰の除去または交換のためにエグゾーストフィルタを取り外すには、認定取扱店にお問い合わせください。

認可された灰の除去方法に従わないと、米国政府、州政府、自治体の廃棄物処理法に違反する可能性があります。またエグゾーストフィルタを破損し、排出ガスに関する保証が無効になる可能性があります。

トランスミッションの整備

トランスアクスルオイル



TCAL43372—UN—14MAR13

注記：トランスアクスルには、工場で **John Deere HY-GARD® (J20C)** トランスミッションオイルが充填されています。オイルを混合しないでください。

HY-GARD® (J20C) トランスミッションオイルのみを使用してください。

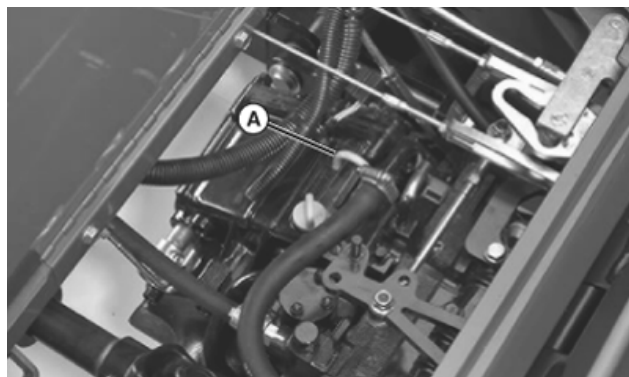
タイプ「F」オートマチックトランスミッションフルードは使用しないでください。

John Deere HY-GARD® (J20C) トランスミッションオイルは、機械的摩耗、腐食、発泡から最大限に保護するように特に調合されています。

重要：使用温度が -18°C (0°F) よりも低い場合は、Low Viscosity HY-GARD® (J20D) を使用する必要があります。そうでない場合、トランスミッションが損傷します。

トランスアクスルオイルレベルの点検

1. トランスアクスルのオイルレベルを点検する前に、エンジンを 30 秒間運転します。
2. 機械を安全に駐車します。（「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。）
3. オペレータプラットフォームのサービスハッチを開きます。



TCAL43373—UN—14MAR13

4. トランスアクスルの上部にあるディップスティック (A) の位置を確認します。
5. ディップスティックを取り外して清潔なウエスで拭き取ります。
6. ディップスティックをトランスアクスルハウジングに完全に差し込み、もう一度抜き取ります。
7. オイルレベルはディップスティックの目印 (XXX) の範囲内である必要があります。オイルレベルをディップスティックで確認できない場合は、オイルをトランスアクスルに追加します。レベルが高すぎる場合は、オイルを抜き取ります。
8. ディップスティックを取り付けてサービスハッチを閉めます。オイルを追加した場合は、機械を運転した後にオイルレベルを点検します。

トランスアクスルオイルとフィルタの交換

注意： 圧力のかかった液体が噴き出すと、皮膚に侵入して壊疽などの重傷を引き起こす可能性があります。

- 油圧ラインまたは他の加圧ラインを外す前に、圧力を抜いてください。
- ボール紙を使って漏れの有無を点検します。手や身体を高圧の液体にさらさないでください。
- また、圧力をかける前にすべての接続をしっかり締めてください。

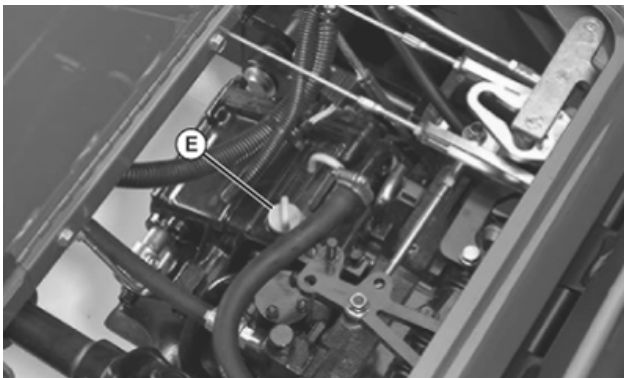
1. 機械を安全に駐車します。（「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。）
2. すべての装置を地面まで下げます。
3. トランスアクスルの下にドレンパンを置きます。

トランスミッションの整備



TCAL43374—UN—14MAR13

4. ごみを除去して、図に示す位置からドレンプラグ (A、B、D) を取り外します。放置してトランスアクスルからオイルを抜き取ります。
5. トランスアクスルオイルフィルタ (C) を取り外し、放置してトランスアクスルからオイルを抜き取ります。オイルフィルタ取り付けフランジを清潔なウエスで清掃します。
6. トランスアクスルオイルを新品のオイルフィルタのガスケットに数滴垂らして潤滑し、フィルタを取り付けフランジに取り付けます。フィルタがフランジに接触したら、フィルタをさらに 1/2～3/4 回転させて締め付けます。
7. ドレンプラグを取り付けます。



TCAL43375—UN—14MAR13

8. サービスハッチを上げて、トランスアクスルオイルフィラーキャップ (E) を取り外します。

9. レベルがディップスティックの XXX マークの上端に達するまで、推奨オイルをトランスアクスルに充填します。トランスアクスルの乾燥容量を下に示しますが、オイル交換のみを実施するときはこれよりも少ない可能性があります。注入しすぎないでください。

仕様

トランスアクスル (2WD) — 容量	8.5 L (9 qt)
トランスアクスル (4WD - 1550、1570)	
— 容量	8.7 L (9.2 qt)
トランスアクスル (4WD - 1575、1580、1585)	
— 容量	10.0 L (10.5 qt)

10. 機械を運転し、前進ペダルと後退ペダルを切り替えてトランスアクスルから空気を除去します。機械を停止してオイルレベルをもう一度点検します。

前進／後退ペダルの調整

ハイドロスタティックトランスミッションがフルレンジの速度内で作動するように前進ペダルと後退ペダルを調整します。

前進ペダルと後退ペダルの踏み代の点検

1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。)
2. 前進ペダルをいっぱいまで踏み込みます。
3. ペダルの底部とフロアプレートの間隔を測定します。フロアプレートからペダルの底部までは指定されている間隔である必要があります。そうでない場合は、ペダルの踏み代を調整します。

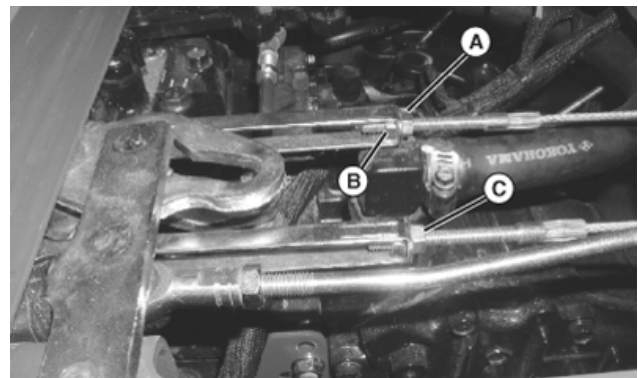
仕様

前進／後退ペダルからフロアプレートまで	
— 間隔	12.5 mm (0.5 in)

4. 手順 2 と 3 を後退ペダルで繰り返します。

前進ペダルと後退ペダルの踏み代の調整

1. サービスハッチを開きます。



TCAL43376—UN—14MAR13

2. 前進ペダルリンケージからナット (A、B) を緩めます。

トランスミッションの整備

3. 前進ペダルをいっぱいまで踏み込んだ状態でフロアプレートと前進ペダルの底部の間隔が仕様内になるまで、ケーブル端に沿ってナットを回します。

仕様

前進／後退ペダルからフロアプレートまで
— 間隔 12.5 mm (0.5 in)

4. ナット (A、B) を締め付けます。
5. 後退ペダルのリンケージ (C) で手順を繰り返します。

トランスアクスルのニュートラルの調整

⚠ 注意： この調整を実行できるのは、資格を有し、かつ適切な訓練を受けた技術者のみです。この調整が不適切だと、機械の安全性が損なわれる危険があります。

ペダルがニュートラル位置のときに機械が前方または後方へクリープする (ゆっくりと動く) ことがないようにトランスミッションのニュートラルを調整します。

1. 機械を堅固な、平坦な場所に停めます。各コントロールを以下の位置にします。
 - PTO OFF。
 - 4WD OFF (装備されている場合)。
 - デフロク解除。
 - 装置が取り外されている、またはサービスラッチがロックされている。
 - パーキングブレーキがロックされている。
 - エンジン停止。
 - オペレータプラットフォームのサービスハッチがロック解除されている。
2. リアタイヤに輪止めを取り付けて機械の前部を上げ、フロントタイヤを地面から離します。左右のフロント車軸の下にジャッキスタンドを置き、機械をジャッキスタンドの上に下ろします。
3. 4WD オプションを装備している場合は、機械の後部をジャッキアップしてタイヤを地面から離します。左右のリア車軸の下にジャッキスタンドを置き、機械をジャッキスタンドの上に下ろします。

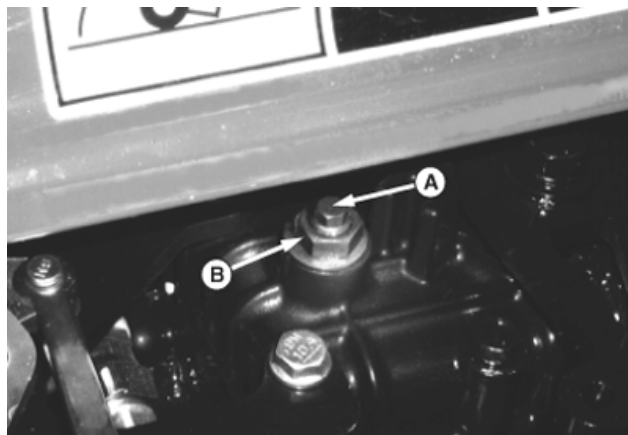
⚠ 注意： 調整中は、装置の昇降、4WD、デフロク、または PTO の接続を行わないでください。運転中は機械に人を近づけないでください。

4WD オプションを装備している場合は、必ず 4 輪を地面から離してください。4WD は常時連結されるので、いずれかのタイヤにトラクションがかかると、機械がジャッキスタンドから押し出されます。

調整中はタイヤから離れてください。

4. エンジンを始動します。パーキングブレーキのロックを解除します。

5. 前進方向または後退方向へのタイヤの回転を確認します。
6. 前進／後退ハイドロスタティックペダルを切り替えて、中央のニュートラル位置に戻るまで放置します。ニュートラルでのタイヤの回転をもう一度点検します。回転する場合は、ニュートラル調整が必要です。



TCAL43377—UN—14MAR13

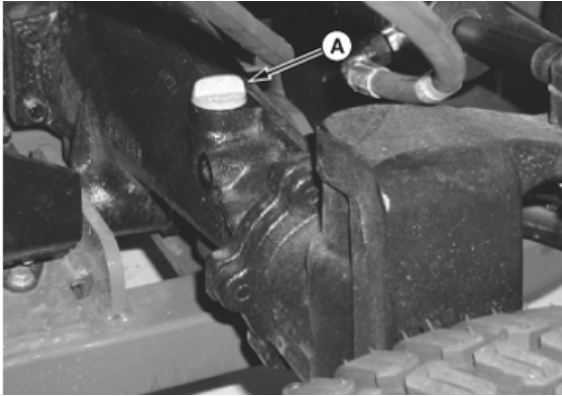
7. オペレータプラットフォームのサービスハッチを開きます。トランスアクスルの上部にあるニュートラルアジャスタスクリュー (A) の位置を確認します。
8. ロックナット (B) を緩めます。
9. タイヤの回転が止まるまでスクリューを回します。
10. ロックナットを締め付けます。ハイドロスタティックドライブペダルを切り替えてニュートラルに戻るまで放置します。必要に応じて、スクリューをもう一度調整します。

4WD オイル

- John Deere GL-5 Gear Lubricant を推奨します。
- 以下の仕様に適合する場合は、他のオイルも使用できます。
 - API クラス GL-5。

トランスミッションの整備

4WD オイルレベルの点検

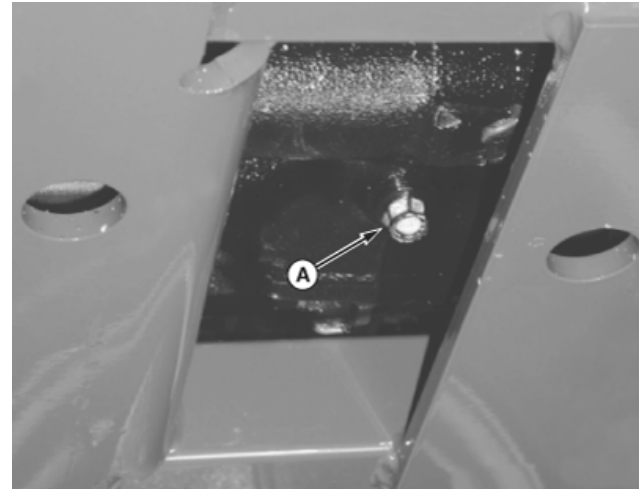


TCAL43378—UN—14MAR13

1. エンジンカバーを開いて、リア車軸の右後にあるリア車軸フィラーキャップとディップスティック (A) の位置を確認します。
2. フィラーキャップを緩めて、ディップスティックを拭いてきれいにします。
3. フィラーキャップを車軸ハウジングに戻しますが、ねじ込まないでください。
4. ディップスティックを取り外し、オイルレベルを点検します。オイルのレベルは、ディップスティックの XXX マークの範囲内にあり、トップマークの上にはないことが必要です。
5. 必要に応じてオイルを追加します。注入しすぎないでください。

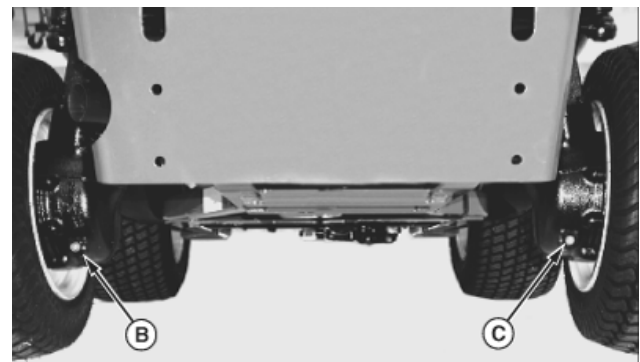
4WD オイルの交換

1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください)。
2. 機械の後部を上げてタイヤを地面から離して、リア車軸をジャッキスタンドで支持します。
3. 後輪を車軸から取り外します。



TCAL43379—UN—14MAR13

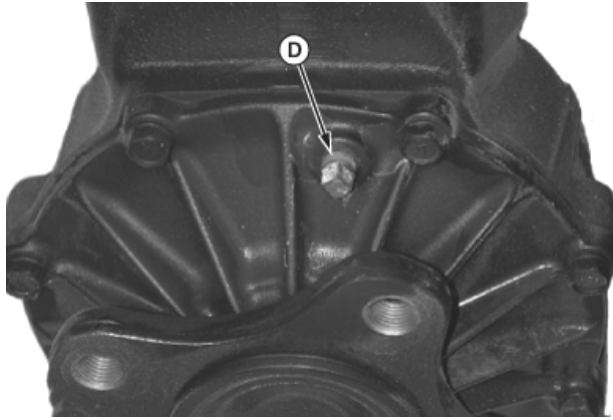
4. リア車軸ハウジングの中心の下にドレンパンを置き、センタードレンプラグ (A) を取り外します。
5. センタードレンプラグを取り付けます。



TCAL43380—UN—14MAR13

6. 左側のファイナルドライブハウジングのドレンプラグ (B) を取り外してオイルを抜き取ります。
7. ドレンプラグを取り付けます。
8. 右側のハウジング (C) でも手順 6～7 を繰り返します。

トランスミッションの整備



TCAL43381—UN—14MAR13

9. 左右のファイナルドライブギアケースの上部にあるエア抜きスクリュー (D) を取り外します。
10. オイルがエア抜きスクリューから流れ出るまで推奨オイルをリア車軸ハウジングに注入します。エア抜きスクリューを取り付けて、指定の量のオイルが充填されるまで注入を続けます。入れすぎないでください。ディップスティックでオイルレベルを点検します。機械を 4WD で運転してからオイルレベルを点検します。

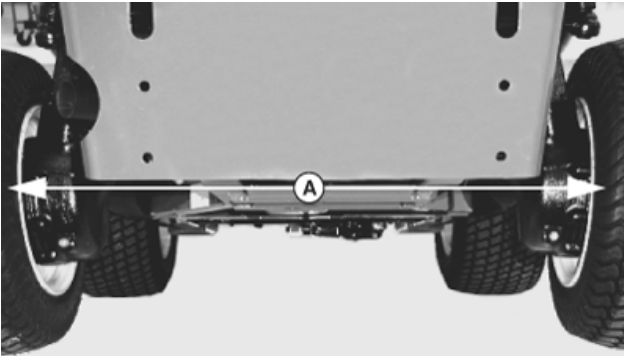
仕様

リア車軸ハウジングオイル — 容量 2.1 L (2-1/4 qt)

ステアリングとブレーキの整備

トーインの調整

1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください)。



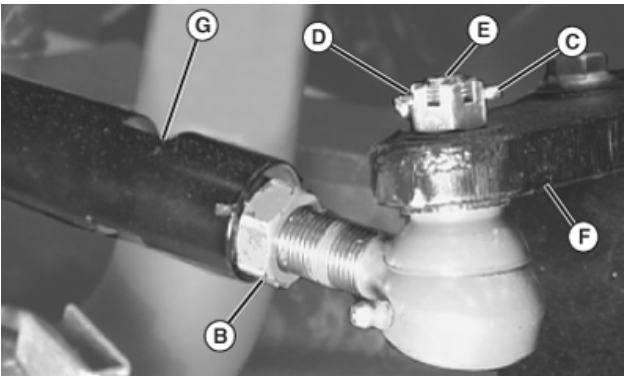
TCAL43382—UN—14MAR13

2. リヤタイヤ間の距離 (A) をタイヤの後部で測定します。
3. リヤタイヤ間の距離をタイヤの前部で測定します。
4. タイヤ間の距離 (トーイン) は、後側よりも前側が大きく、その値は以下の仕様未満である必要があります。

仕様

タイヤ間の距離 (トーイン)

— 距離 3~9 mm (0.12~0.35 in)



TCAL43383—UN—14MAR13

5. トーインを調整する必要がある場合は、以下の手順に従います。
 - a. 左右のタイロッドエンドのロックナット (B) を緩めます。(左側のロックナットは左ねじです)。
 - b. タイロッドの溝付きナット (D) からコッタキー (C) を取り外してナットを取り外します。
 - c. タイロッド取り付けスタッド (E) をステアリングアーム (F) から取り外します。
 - d. タイロッドを回しながらタイロッド取り付けスタッドを直立に維持して、タイロッドのボディ (G) を回してトーインを調整します。

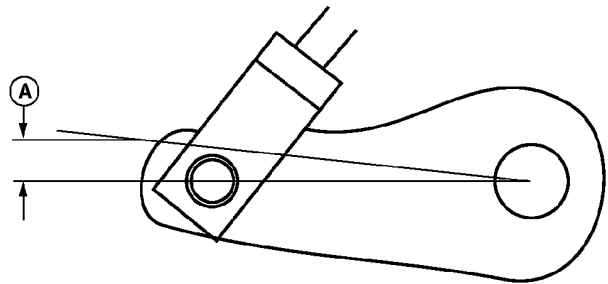
- e. タイロッドスタッドをステアリングアームに取り付けて、溝付きナットをスタッドに緩く取り付けます。
- f. トーインをもう一度測定します。正しい場合は、溝付きナットを締め付けてコッタキーを取り付けます。機械の左右のロックナットを締め付けます。

ブレーキの調整

⚠ 注意： この調整を実行できるのは、資格を有し、かつ適切な訓練を受けた技術者のみです。この調整が不適切だと、機械の安全性が損なわれる危険があります。

ブレーキペダルの遊びの点検

1. 機械を平坦な場所に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください)。
2. パーキングブレーキのロックを解除します。
3. ブレーキリンケージからブレーキリターンズプリングを取り外します。
4. 旋回ブレーキおよびマスターブレーキのペダルを最も高い位置にブロックします。



TCAL43384—UN—14MAR13

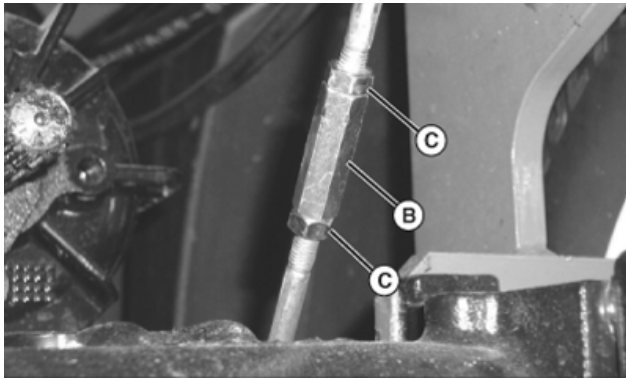
5. 左右のブレーキカムアームの遊び (A) を点検します。カムアームの端部から測定した遊びは仕様以内である必要があります。遊びが 5 mm よりも大きい場合は、ブレーキを調整してください。

仕様

ブレーキペダル — 遊び 3~5 mm

ステアリングとブレーキの整備

ブレーキの調整



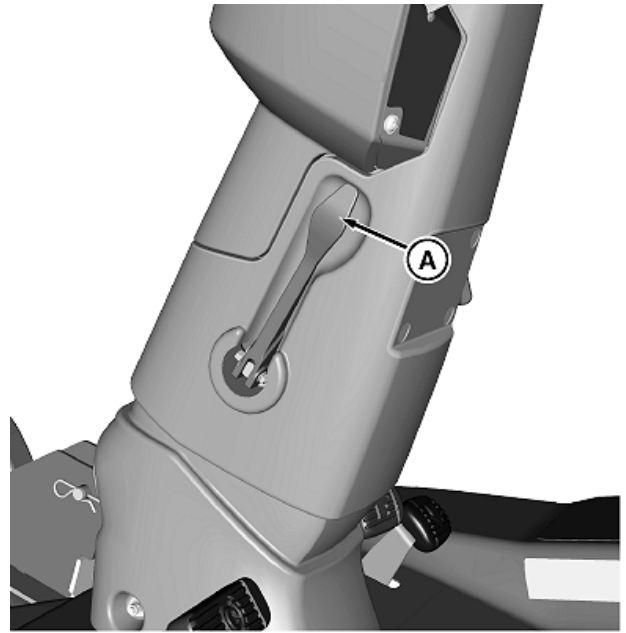
TCAL43385—UN—14MAR13

1. オペレータプラットフォームの下にあるブレーキロッドの調整ターンバックル (B) の位置を確認します。
2. ロックナット (C) を緩めて、ブレーキカム遊びが仕様内になるまでターンバックルを調整します。

仕様

ブレーキペダル 遊び.....3~5 mm

3. 機械の反対側のブレーキロッドでも手順を繰り返して、左右のペダルを均一に調整します。
4. すべてのターンバックルロックナットを締め付けます。
5. ブレーキをターンバックルの範囲内に調整できない場合は、John Deere 取扱店にお問い合わせください。



TCT009086—UN—04NOV13

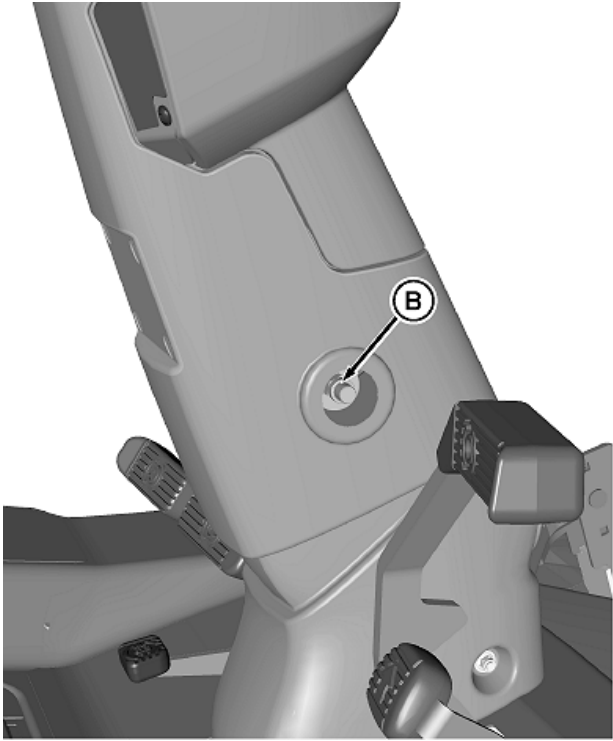
2. レバー (A) を外側に引いてステアリングコラムを解放します。
3. ステアリングコラムを前方または後方に動かして、ステアリングコラムの移動範囲の中心に配置します。

注記：少量の乾燥性の潤滑剤をチルトロックレバーに塗布すると、レバーを動かすために必要な力を軽減できます。

ステアリングコラムのチルトロックの調整

1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください)。

ステアリングとブレーキの整備



TCT009087—UN—04NOV13

4. オペレータの希望に合わせてステアリングコラムのナイロックナット (B) を締め付けます。ただし、仕様を超えないでください。

仕様

ステアリングコラムのナイロックナット

— トルク..... 48 N·m (35 ft-lb)

電気系統の整備

電気系統の整備

警告： バッテリー電極、端子、および関連アクセサリには、癌の原因になったり、生殖機能に有害なことがカリフォルニア州により確認されている鉛や鉛化合物が含まれています。取り扱い後は手を洗ってください。

バッテリーの安全な整備



TCAL42287—UN—08MAR13

注意： バッテリー電解液は硫酸を含んでいます。これは有毒であり、重度のやけどの原因になります。

- ・ゴーグルと手袋を着用してください。
- ・皮膚を保護してください。
- ・電解液を飲み込んだ場合は、直ちに治療を受けてください。
- ・電解液が目に入った場合は、すぐに 15～30 分間水で洗い、治療を受けてください。
- ・電解液が皮膚に触れた場合は、すぐに水で洗い、必要に応じて治療を受けてください。

バッテリーは可燃性ガスおよび爆発性ガスを発生します。バッテリーは爆発する可能性があるため、次の点に注意してください。

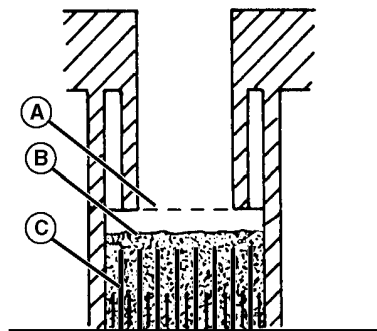
- ・バッテリーの近くで喫煙しないでください。
- ・ゴーグルと手袋を着用してください。
- ・バッテリー電極間に金属を直接接触させないでください。
- ・接続を外すときは、最初にマイナスケーブルを取り外してください。
- ・接続するときは、マイナスケーブルを最後に取り付けてください。

バッテリー電解液レベルの点検

注記： バッテリー電解液の補充には、蒸留水のみを使用してください。

1. 機械を安全に駐車します。（「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。）

2. バッテリーセルキャップを取り外します。キャップの通気孔が詰まっていないことを確認します。



TCAL41096—UN—18JAN13

3. 電解液レベルを点検します。電解液 (B) は、フィラーネック (A) 底部とプレート (C) 上部のほぼ中間位置まで入っている必要があります。

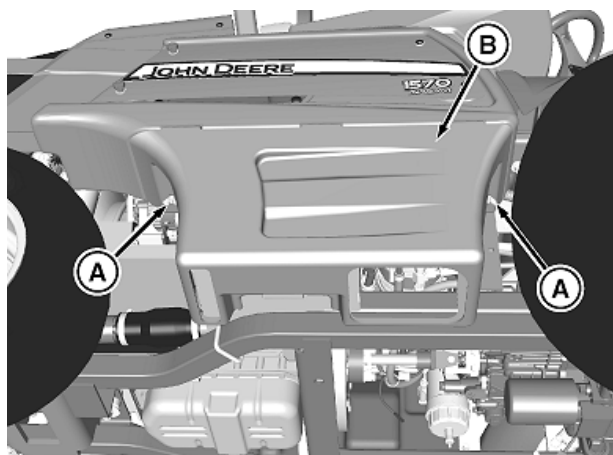
重要： バッテリーに入れすぎないでください。バッテリーの充電時に電解液があふれて、損傷が発生します。

4. 必要の場合は、蒸留水のみを補充してください。
5. バッテリーセルキャップを取り付けます。

バッテリーの取り外しと取り付け

取り外し

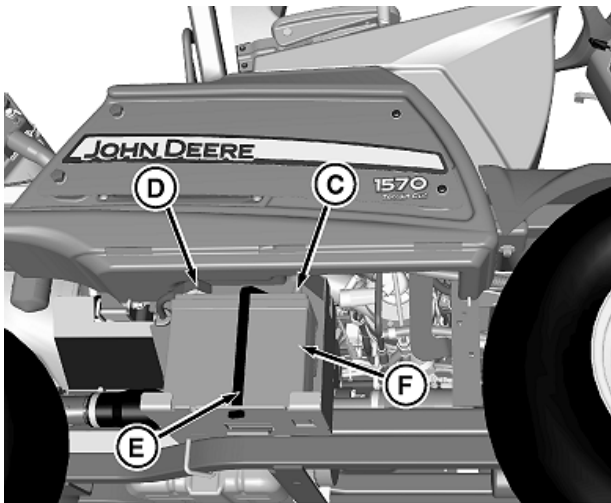
1. 機械を安全に駐車します。（「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。）



TCT008205—UN—02AUG13

2. 蝶ナット 2 個 (A) とバッテリーカバーパネル (B) を取り外します。

電気系統の整備



TCT008508—UN—20SEP13

3. バッテリーのマイナス (-) ケーブル (C) の接続を外します。
4. 赤のプラスチック製カバー (D) をプラス (+) バッテリークランプから取り外して、プラス (+) バッテリークランプをバッテリー端子から外します。
5. ゴム製ストラップ (E) をバッテリー固定ブラケットの底部から取り外します。
6. バッテリー (F) を機械から取り外します。バッテリーを持ち上げるためにバッテリー端子を使用しないでください。

取り付け

1. プラス端子 (+) を機械の後部に向けてバッテリーを取り付けます。
2. ゴム製ストラップをバッテリー固定ブラケットの底部に取り付けます。
3. プラスケーブルクランプ (赤のケーブル) をプラス (+) バッテリー端子に取り付けます。赤のプラスチック製カバーをプラスケーブルクランプに引き戻します。
4. マイナスケーブルクランプ (黒のケーブル) をマイナス (-) バッテリー端子に取り付けます。
5. スプレー潤滑剤をバッテリー端子に吹き付けて、腐食を防止します。
6. 蝶ナット 2 個を使用してバッテリーカバーパネルを取り付けます。

バッテリーと端子の清掃

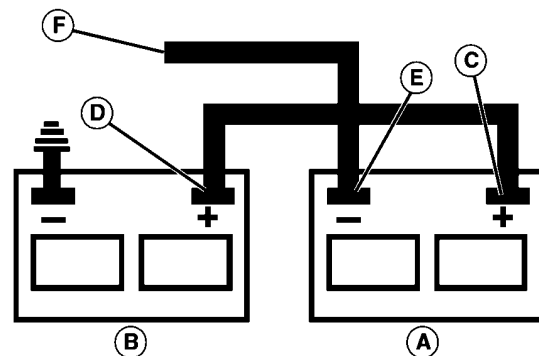
1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。)
2. バッテリーの接続を外して取り外します。
3. 水 1 gal に重曹大さじ 4 を混ぜた溶液でバッテリーを洗浄します。重曹溶剤がセル内に入らないように注意してください。

4. バッテリーを淡水で洗い、乾燥させます。
5. ワイヤブラシで端子とバッテリーケーブル端部を光沢が出るまで清掃します。
6. バッテリーを取り付けます。
7. 座金とナットを使用し、プラスケーブルから先にケーブルをバッテリー端子に取り付けます。
8. スプレー潤滑剤を端子に吹き付けて腐食を防止します。

ブースターバッテリーの使用

⚠ 注意： バッテリーは可燃性ガスおよび爆発性ガスを発生します。バッテリーは爆発する可能性があるため、次の点に注意してください。

- バッテリーの近くで喫煙したり、直火を使用しないでください。
- ゴーグルと手袋を着用してください。
- 凍りついたバッテリーをジャンプスタートしたり、充電したりしないでください。バッテリーを 16°C (60°F) に暖めてください。
- 放電したバッテリーのマイナス (-) 端子にマイナス (-) ブースターケーブルを接続しないでください。放電したバッテリーから離れた良好なアース位置に接続してください。



TCAL42290—UN—08MAR13

A —ブースターバッテリー
B —放電したバッテリー

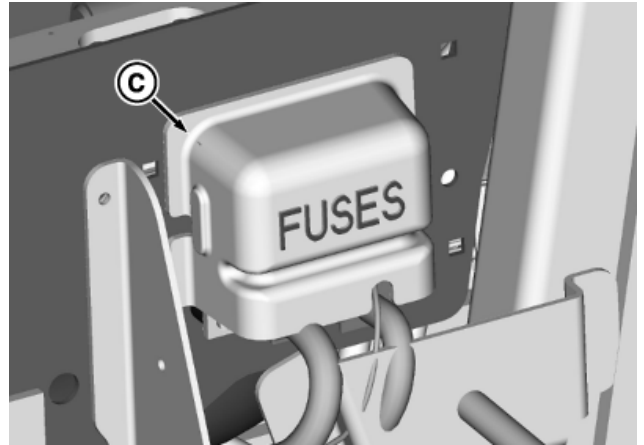
1. プラス (+) ブースターケーブルをブースターバッテリー (A) のプラス (+) 電極 (C) に接続します。
2. プラス (+) ブースターケーブルの反対側の端部を、放電したバッテリー (B) のプラス (+) 電極 (D) に接続します。
3. マイナス (-) ブースターケーブルをブースターバッテリーのマイナス (-) 電極 (E) に接続します。

電気系統の整備

重要： ブースターバッテリーからの電荷により機械の部品が損傷する場合があります。マイナスブースターケーブルを機械のフレームに取り付けしないでください。エンジンブロックのみに取り付けてください。

ベルトやファンブレードなど、エンジンルームの可動部品から離してマイナスのブースターケーブルを取り付けます。

4. マイナス (-) ブースターケーブルの反対側の端部 (F) を、放電した機械のバッテリーから離れたエンジンブロックの金属部分に接続します。
5. 放電した機械のエンジンを始動し、機械を数分間運転します。
6. ブースターケーブルを接続したときと逆の順に、次のように外します。最初にマイナスケーブル、次にプラスケーブル。



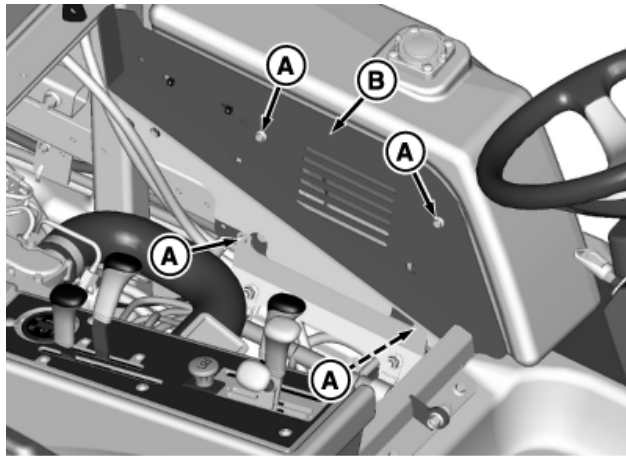
TCT010636—UN—24MAR14

5. カバー (C) を電気コントロールボックスから取り外します。

ヒューズの点検と交換 (1550)

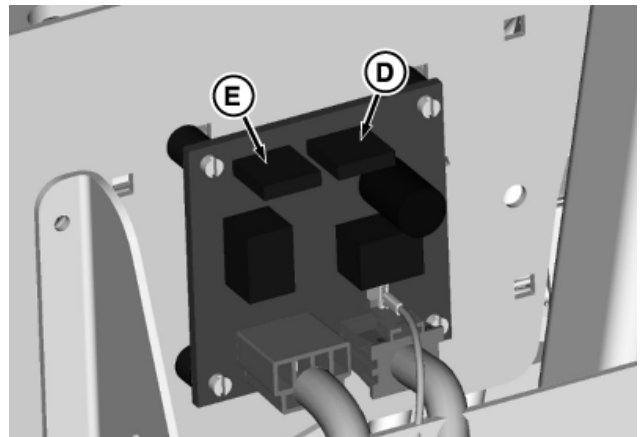
メインヒューズの交換

1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。)
2. シートプラットフォームを上げるか、取り外します。



TCT010635—UN—31MAR14

3. 機械の右側にパネル (B) を固定しているねじ 4 本 (A) を取り外します。
4. パネルを慎重に取り外して、電気コントロールボックスの位置を確認します。



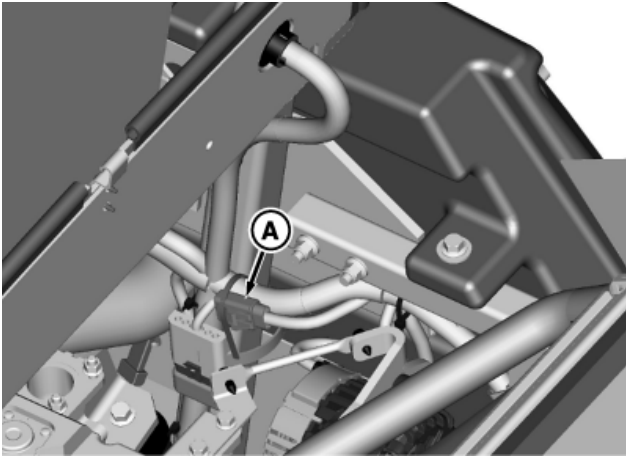
TCT010637—UN—24MAR14

6. ヒューズ (D) は 15 A ヒューズで、ステアリングコラムのワークランプを制御しています。
7. ヒューズ (E) は 15 A ヒューズで、他のすべての電気機能を制御しています。
8. 電圧計またはテストランプでヒューズをテストし、切れている場合は交換してください。
9. カバーを電気コントロールボックスに取り付けます。
10. 前の手順で取り外したねじを使用してカバーを機械の左側に取り付けます。
11. シートプラットフォームを取り付けるか、下げます。
12. エンジンカバーを閉めます。

12 V 電源コンセントヒューズの交換

1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。)
2. エンジンカバーを開きます。

電気系統の整備



TCT010617—UN—24MAR14

3. 右側のハーネスに連結されている 12 V 電源コンセントヒューズ (A) の位置を確認します。

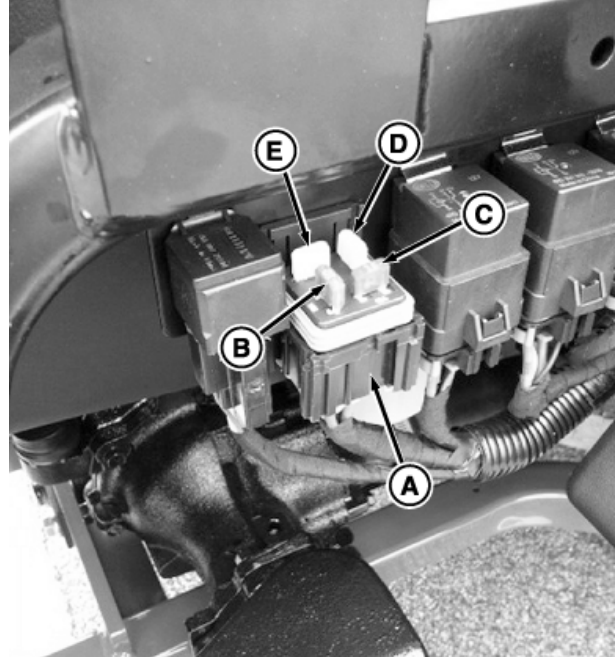


TCT010638—UN—24MAR14

4. ロックタブ (B) を外して、ヒューズホルダのヒューズ取り付け部を下に引いてキャップから外します。
5. 電圧計またはテストランプを使用してヒューズをテストします。キースイッチが RUN 位置のときは、ヒューズの両側が暖かいはずです。
6. ヒューズが切れている場合は交換します (10 A)。
7. ヒューズホルダをカップに取り付けます。
8. エンジンカバーを閉めます。

ヒューズの点検と交換 (1570、1575、1580、1585)

1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。)
2. エンジンカバーを開きます。

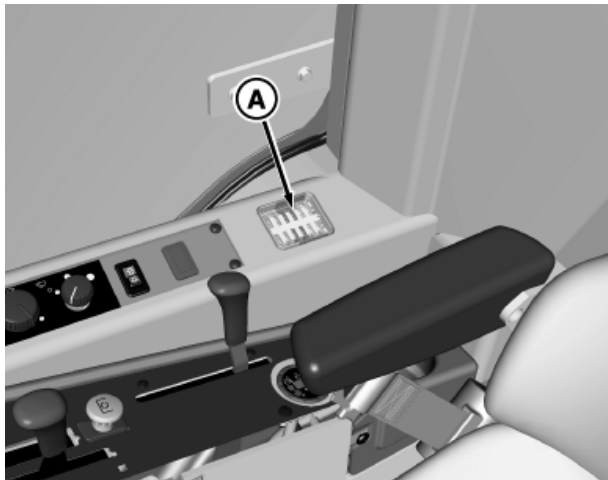


TCT009088—UN—24MAR14

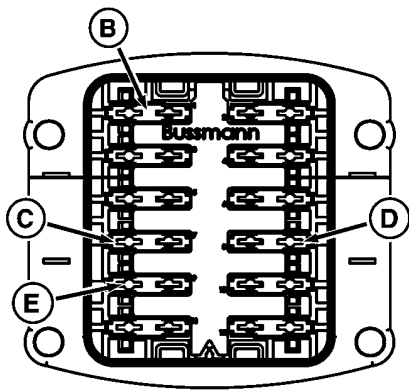
3. エンジンルームの右側にある電気コントロールボックス (A) を確認します。
4. カバーを電気コントロールボックスから取り外します。
5. ヒューズ (B) は 10 A のヒューズで、補助電源コンセント用です。
6. ヒューズ (C) は 15 A のヒューズで、車両コントローラ (VCU) 用です。
7. ヒューズ (D) は 20 A のヒューズで、キースイッチ電源用です。
8. ヒューズ (E) は 25 A のヒューズで、エンジンコントローラ (ECU) 用です。
9. 電圧計またはテストランプでヒューズをテストし、切れている場合は交換してください。
10. カバーを電気コントロールボックスに取り付けます。
11. エンジンカバーを閉めます。

キャビンのヒューズの点検と交換 (1575、1585)

1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。)



TCT009089—UN—24MAR14



TCT010639—UN—24MAR14

A — ヒューズパネル

B — 位置 1 (20 A)

C — 位置 7 (30 A)

D — 位置 8 (20 A)

E — 位置 9 (20 A)

2. シートのすぐ右側にあるヒューズパネル (A) の位置を確認します。
3. ヒューズ (B) は 20 A ヒューズで、ウインドシールドワイパーとラジオを制御しています。
4. ヒューズ (C) は 30 A ヒューズで、ワークライト、ターンシグナル/フラッシャ、ビーコンライト (装備されている場合) を制御しています。
5. ヒューズ (D) は 20 A ヒューズで、ドームライトと右ブロワを制御しています。
6. ヒューズ (E) は 20 A ヒューズで、左ブロワを制御しています。
7. 電圧計またはテストランプでヒューズをテストし、切れている場合は交換してください。
8. 必要な場合は、ヒューズを交換します。

その他の整備

ディーゼル燃料

エンジン性能の低下を防ぎ、排ガスの増加を抑えるため、適切なディーゼル燃料を使用してください。記載された燃料の要件に従わない場合、エンジンの保証が無効になる場合があります。

地域のディーゼル燃料の特性については、現地の燃料販売店にお問い合わせください。

一般に、ディーゼル燃料は販売される地域の低温要件に合わせて混合されます。

ISO EN 590 または ASTM D975 に規定されたディーゼル燃料をお勧めします。

必要な燃料特性

あらゆる場合に燃料は次の特性に適合する必要があります。

最低 45 のセタン価。特に -20°C (-4°F) 未満の温度または 1500 m (5000 ft) を超える高度では、50 を超えるセタン価を推奨します。

フィルタ目詰まり点 (CFPP, Cold Filter Plugging Point) が予期される最低温度より少なくとも 5°C (9°F) 低いか、**曇り点**が予期される最低周囲温度より低い必要があります。

燃料の潤滑性 が ISO EN 590 または ASTM D975 に適合する必要があります。

重要： 損傷を防止してください。不適切な燃料添加剤の使用により、ディーゼルエンジンのフューエルインジェクション装置が損傷する恐れがあります。

潤滑性が低いまたは不明な燃料を使用する場合は、指定の濃度の John Deere PREMIUM DIESEL FUEL CONDITIONER (または同等品) を加えてください。

硫黄含有量

- ディーゼル燃料の品質と燃料硫黄含有量は、エンジンを運転する地域に存在するすべての排出ガス規制に準拠する必要があります。
- 硫黄含有量が最大 0.0015% (15 mg/kg) の超低硫黄ディーゼル (ULSD) 燃料のみを使用してください。

重要： 損傷を防止してください。ディーゼルエンジンオイルやその他の種類の潤滑剤をディーゼル燃料と混合しないでください。

バイオディーゼル燃料の使用

バイオディーゼル燃料は、最新版の ASTM D6751、ASTM D7467、EN14214、または同等品の特性に適合するもののみ使用できます。

バイオディーゼル燃料の現行の最大許容濃度は石油系ディーゼル燃料で 7% ブレンド (B7) です。

お使いのディーゼルエンジンでのバイオディーゼル使用時の推奨事項の変更については、John Deere 取扱店にお問い合わせください。

ディーゼル燃料の取り扱いと保管

⚠ 注意： けがを防止してください。燃料の取り扱いに注意してください。エンジンの作動中は燃料タンクに給油しないでください。

燃料タンクへの給油や燃料システムの整備中は、喫煙しないでください。

重要： 損傷を防止してください。亜鉛メッキされた容器は使用しないでください。亜鉛メッキされた容器のディーゼル燃料と容器の亜鉛コーティングが反応して亜鉛フレークが発生します。燃料に水が含まれる場合も亜鉛ゲルが形成されます。ゲルやフレークは、急速に燃料フィルタを詰まらせてフューエルインジェクタや燃料ポンプを損傷させます。

- 寒冷気候での水分凝縮や凍結を避けるため、毎日の作業終了時に燃料タンクをいっぱいにしてください。
- 燃料を長期間保管する場合や燃料の使用がわずかな場合は、燃料を安定させて水分凝縮を防ぐために、フューエルコンディショナを追加してください。推奨品については、燃料の販売業者にお問い合わせください。

その他の整備

燃料タンクの充填

⚠ 注意： 燃料蒸気は爆発性および可燃性があります。

- 燃料タンクに充填する前にエンジンを OFF にしてください。
- 燃料を補給する前にエンジンが冷めるまで待ちます。
- 燃料を取り扱い中は喫煙しないでください。
- 火炎や火花に燃料を近づけないでください。
- 屋外または十分に換気されたエリアで燃料タンクに充填してください。
- こぼれた燃料はすぐに拭き取ってください。
- 認定済みの清潔な非金属製容器を使用して、静電気を防止してください。

重要： 燃料内のごみや水分はエンジンの損傷の原因になります。

- 燃料タンクの開口部の汚れやごみを除去してください。
- 清浄で新鮮な安定している燃料を使用してください。
- 燃料タンクでの水分凝縮を避けるため、毎日の作業終了時に燃料タンクをいっぱいにしてください。
- 燃料タンクや容器に燃料を充填するときは、プラスチックメッシュストレーナ付きの非金属製ファネルを使用してください。

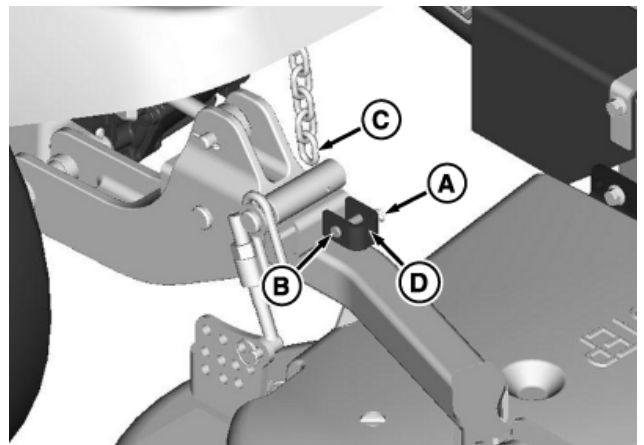
寒冷気候での結露や凍結を避けるため、毎日の作業終了時に燃料タンクをいっぱいにしてください。

1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。)
2. エンジンを冷まします。
3. 燃料タンクキャップの周囲からごみを除去します。
4. 燃料タンクキャップをゆっくりと取り外して、タンクに溜まっている圧力を逃がします。
5. 燃料タンクにはフィルターネックの底部まで補充してください。注入しすぎないでください。
6. 燃料タンクキャップを取り付けます。
 - ガスモデル：カチッと音がするまでキャップを回します。

整備用ラッチの使用

⚠ 注意： けがを防止してください。機械を動かす前に整備用チェーンのラッチを外し、けがを防止してください。フロントの装置を上げた状態や取り外した状態で傾斜地で運転したり高速で運転すると、機械が不安定になる場合があります。装置を上げた状態や取り外した状態では低速で移動し、急ブレーキを避けてください。装置を上げた後も PTO は回転し続けます。使用しない時は PTO を停止してください。

1. 機械は傾斜地ではなく水平な地面に止めてください。
2. PTO スイッチをオフにします。
3. モアデッキを最高レベルまで上げます。
4. パーキングブレーキをかけます。
5. エンジンを停止し、キーを抜きます。
6. 運転席を離れる前に、エンジンとすべての可動部が停止するのを待ちます。

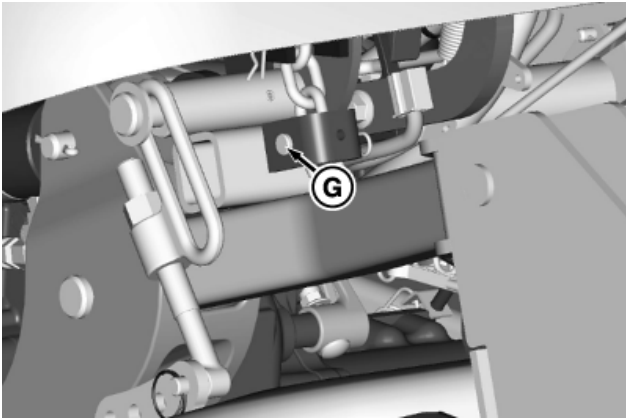


TCT010375—UN—20FEB14

7. スプリングピン (A) とクレビスピン (B) をモアデッキのリフトアームから取り外します。
8. 整備用ラッチのチェーン (C) の下部リンクをモアデッキのリフトアームの溶接ブラケット (D) に挿入します。

注記： 整備用ラッチのチェーンには、すべての構成に対応できるように 7 つのリンクが用意されています。最も強く締め付けられるチェーンリンクを選択してください。

その他の整備



TCT010376—UN—20FEB14

9. 継ぎ手ピン (G) をブラケットとチェーンに通して取り付け、スプリングピンで固定します。

キャビンエアコンの整備

注記：コンプレッサは工場でオイルが充填されているので、オイルを追加する必要はありません。

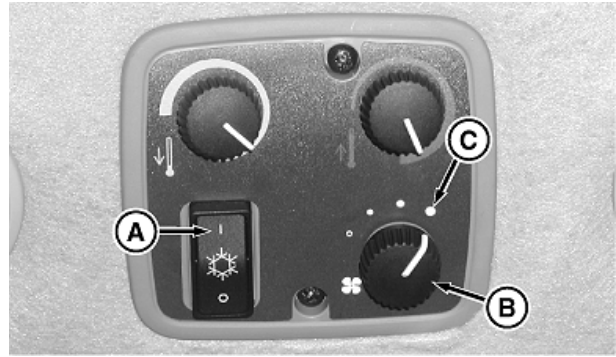
エアコンの点検

エアコンが冷えなかったり、冷房が間欠的な場合は、以下を点検してください。

重要： 損傷を防止してください。R134a 冷媒を使用しなければなりません。このため特別な装置と手順が必要です。John Deere 取扱店にお問い合わせください。

注記：下部フロントでのコンプレッサシャフトシールからの多少のオイル浸出は正常です。

1. 機械が保管された後にエアコンクラッチがスリップする場合は、コンプレッサが固着している場合があります。
 - エンジンを停止して、イグニッションスイッチを「停止 (OFF)」位置に回します。
 - ボンネットを上げ、クラッチハブを前後に回して、コンプレッサを解放します。



TCT008316—UN—13AUG13

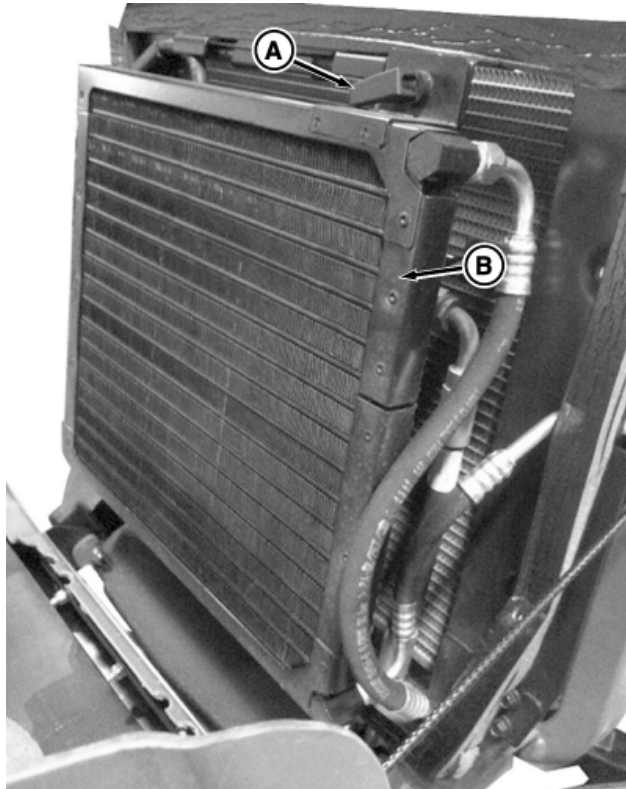
2. エンジンを 2000 rpm で運転します。A/C の上半分と霜取りスイッチ (A) を押し、ブロウコントロールノブ (B) を高い位置 (C) に設定します。冷房が間欠的な場合は、ボンネットグリル、ラジエータ、コンデンサを清掃します。問題が解決しない場合は、John Deere 取扱店にお問い合わせください。
3. オペレータキャビンフィルタに詰まりがないか点検します。問題が続く場合は、John Deere 取扱店に問い合わせ、エバポレータのコア部を清掃させてください。

その他の整備

エアコンコンデンサの清掃

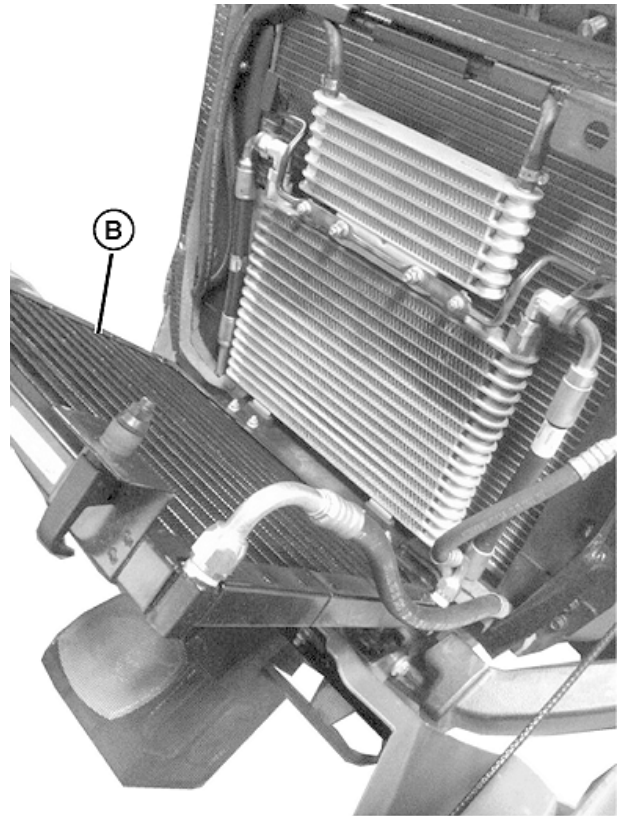
⚠ 注意： けがを防止してください。圧縮空気を使用すると、遠くまでごみが飛ぶ可能性があります。

- 作業エリアに人を近づけないでください。
- 清掃のために圧縮空気を使用するときは、ゴーグルを着用してください。
- 圧縮空気の圧力を 210 kPa (30 psi) まで下げてください。



TCT007885—UN—21MAR14

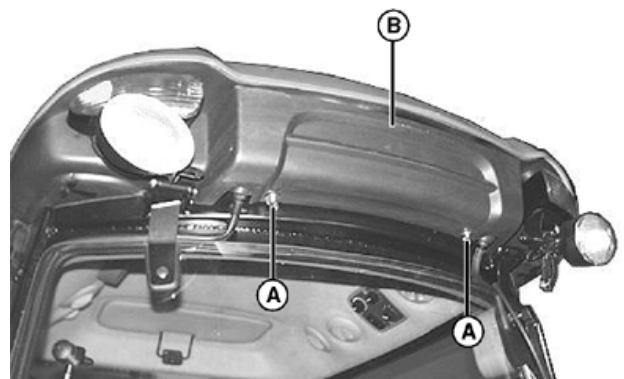
1. ハンドル (A) を上にかつ機械の前方に回してエアコンコンデンサ (B) のラッチを外します。



TCT008317—UN—13AUG13

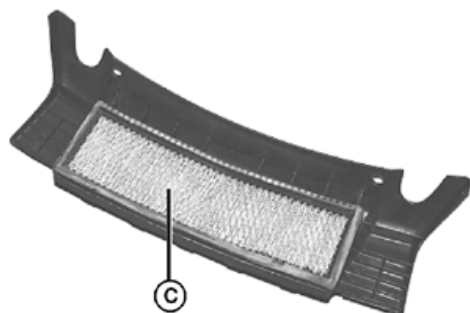
2. 図のようにエアコンコンデンサ (B) を前方に旋回させます。
3. エアコンコンデンサ (B) に泥やごみがないか点検します。ブラシまたは圧縮空気を使用してコンデンサを清掃します。
4. より十分な清掃が必要な場合は、ラジエータの両側を圧縮空気または水で清掃します。曲がっているフィンがあればまっすぐにします。

キャビンエアフィルタの清掃



LVAL13682—UN—08NOV10

その他の整備

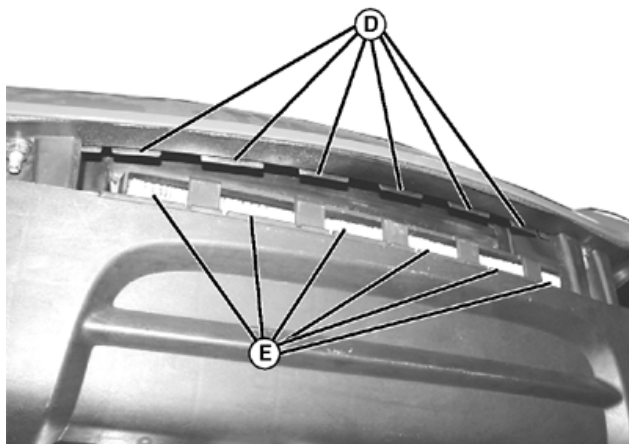


LVAL13683—UN—08NOV10

- A — 蝶ボルト (2 本使用)
B — フィルタベース
C — フィルタ

1. 蝶ボルト 2 本 (A)、座金、フィルタベース (B) を取り外します。
2. フィルタ (C) をフィルタベースから取り外し、圧縮空気で清掃します。フィルタに損傷がないか点検します。必要に応じて交換します。
3. フィルタをフィルタベースに取り付けます。

重要： 損傷を防止してください。ルーフパネルのタブ 6 個 (D) がフィルタベースの溝 (E) にかみ合っていることを確認してください。



LVAL13684—UN—08NOV10

- D — つまみ
E — 溝

4. ルーフパネルの 6 個のタブ (D) がフィルタベースの溝 (E) にかみ合っていることを確認しながら、フィルタベースを取り付けます。座金 2 枚と蝶ボルトを使ってベースアセンブリをルーフパネルに固定します。

金属面の清掃と補修

清掃：

車両の塗装された金属面の手入れについては、自動車の慣行に従ってください。高品質の自動車用ワックスを定期的に使用して、車両の塗装面を工場出荷時と同じ外観に維持してください。

軽微な傷 (表面の傷) の修理：

1. 修理する面を十分清掃します。

重要： 塗装面に研磨コンパウンドを使用しないでください。

2. 自動車用のつや出しコンパウンドを使用して表面の傷を除去します。
3. 表面全体にワックスをかけます。

深い傷 (素地やプライマーが見える傷) の修理：

1. 消毒用アルコールまたは石油系溶剤を使用して、修理するエリアを清掃します。
2. 認定取扱店から入手できる工場出荷時の色と同じ色のタッチアップペイントを使用して傷に塗ります。タッチアップペインに掲載されている指示に従って使用し、乾燥させます。
3. 自動車用つや出しコンパウンドを使用して表面を滑らかにします。電動バフは使用しないでください。
4. 表面にワックスをかけます。

プラスチック面の清掃

重要： 機械のプラスチック面を不適切に手入れすると、その面が傷む可能性があります。

- プラスチック面が乾燥しているときはその面を拭かないでください。乾燥した面を拭くと、軽微な傷が発生します。
- 軟らかい清潔なウエス (バスタオル、布、自動車用ミット) を使用してください。
- 研磨コンパウンドなど、研磨性の物はプラスチック面に使用しないでください。

1. 上水でボンネットおよび機械全体を洗い、表面を傷つける可能性がある泥やほこりを除去します。
2. 表面を上水と自動車用洗剤で洗います。
3. 水痕が残らないように十分乾かします。
4. 液体ワックスで表面にワックスをかけます。「研磨剤を含まない」製品を使用してください。

重要： ワックスを除去するために電動バフを使用しないでください。

5. バフで塗布したワックスは、清潔で軟らかい布を使用して手で拭き取ります。

その他の整備

転倒時保護システムの取り付けの点検

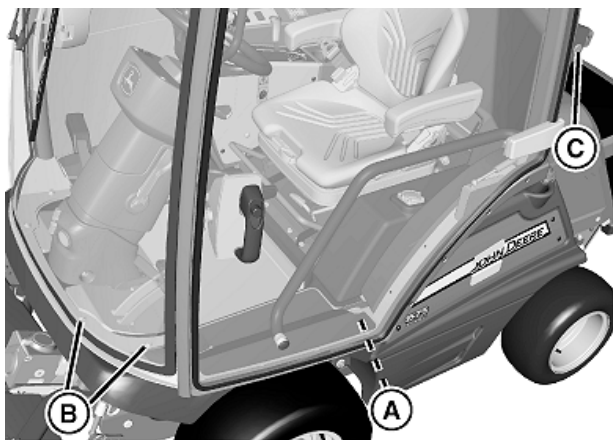
⚠ 注意： けがを防止してください。オペレータ保護と ROPS 認定を維持するための注意事項：

- ROPS を修理または改造しないでください。
- ROPS の改造にはメーカーの承認が必要です。

重要： 損傷を防止してください。すべての部品が正しく取り付けられていることを確認します。キャビン保護システムが緩んでいる場合、または何らかの理由で取り外した場合は、取り付けボルトを規定のトルクで締め付けます。

キャビン保護システムが横転事故のような構造的な損傷を受けた場合、または溶接、曲げ、穴あけ、または切断により何らかの改造を施された場合、キャビン保護システムの保護機能が損なわれます。損傷したキャビン保護システムは交換し、再使用しないでください。キャビン保護システムの改造にはメーカーの承認が必要です。

1. 機械への装置の取り付けのためにキャビン保護システムを緩めたり、取り外したりする必要がある場合には、取り付けボルトを規定のトルクで締め付ける必要があります。
2. キャビン保護システムの取り付け金具が適切なトルクであるか 500 時間ごとに点検するか、金具を交換してください。



TCT008318—UN—13AUG13

3. ゴムフロアマット (A) を持ち上げて、フロント取り付け金具にアクセスします。
4. フロント取り付け金具の位置 2 箇所 (B) を点検します。
5. 取り付けピボット金具 (C) を点検します。
6. 取り付け金具を 260 N•m (192 lb-ft) のトルクで締め付けます。
7. キャビンの反対側でも手順を繰り返します。

前輪の取り外しと取り付け

⚠ 注意： ホイールは安全に取り外してください。

- 安全なリフト装置を使用し、機械をジャッキスタンドで支持します。
- 持ち上げていない前輪または後輪に輪止めを取り付けて機械が動かないようにします。
- ホイールは重量があり、取り外すときの取り扱いが困難である可能性があります。

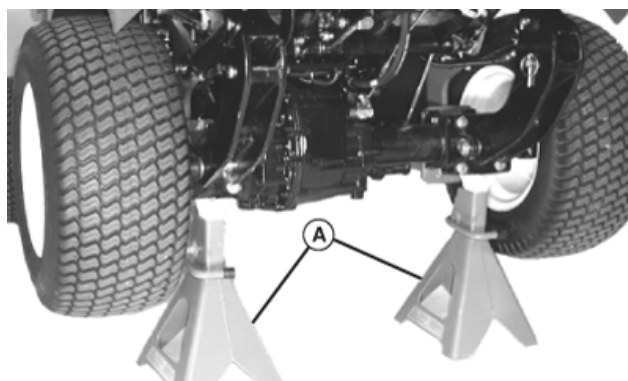
機械の前部を上げる

1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください)。
2. 装置を機械から取り外します。
3. リアタイヤをブロックします。



TCAL43399—UN—14MAR13

4. 前輪の後のフレームにフロアジャッキを使用して、フロントタイヤが地面から離れるまで機械を上げます。トランスアクスルやオイルフィルタにジャッキを使用すると、損傷する可能性があります。

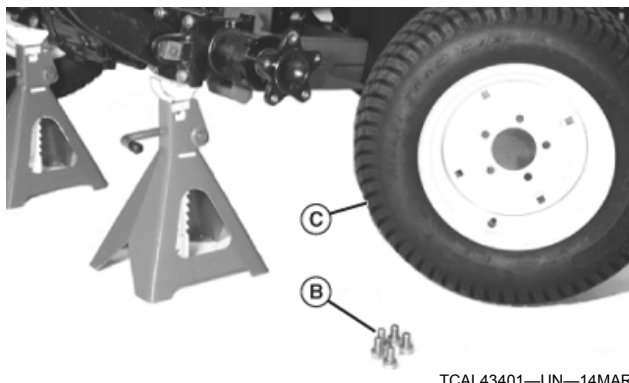


TCAL43400—UN—14MAR13

5. ジャッキスタンド (A) を左右のフロント車軸の下に取り付けます。

その他の整備

前輪の取り外し



TCAL43401—UN—14MAR13

1. 前輪のボルト (B)、座金、補強プレートを取り外します。
2. 前輪 (C) をフロント車軸から取り外します。

前輪の取り付け

- ⚠ 注意：ホイールは安全に取り外してください。**
- 安全なリフト装置を使用し、機械をジャッキスタンドで支持します。
 - 持ち上げていない前輪または後輪に輪止めを取り付けて機械が動かないようにします。
 - ホイールは重量があり、取り外すときの取り扱いが困難である可能性があります。



TCAL43402—UN—14MAR13

1. バルブステム (A) を外側に向けてホイールを車軸ハブに取り付けます。座金が各ホイールボルト (B) に取り付けられていることを確認して、ボルトを補強プレート、ホイール、ハブに取り付けます。
2. トルクレンチを使用して前輪ボルトを規定のトルクで締め付けます。

仕様

前輪ボルト — トルク 225 N・m (165 lb-ft)

3. 機械を地面に下ろし、フロアジャッキを撤去します。
4. リアタイヤを固定しているホイールブロックを取り外します。

5. ホイールボルトのトルク値を次の時期に点検します。
 - 方向を変えながら 30 m (100 ft) 走行した後。
 - 3～10 時間の使用後
 - その後の 100 運転時間中に頻繁に。

後輪の取り外し／取り付け

- ⚠ 注意：ホイールは安全に取り外してください。**
- 安全なリフト装置を使用し、機械をジャッキスタンドで支持します。
 - 持ち上げていない前輪または後輪に輪止めを取り付けて機械が動かないようにします。
 - ホイールは重量があり、取り外すときの取り扱いが困難である可能性があります。

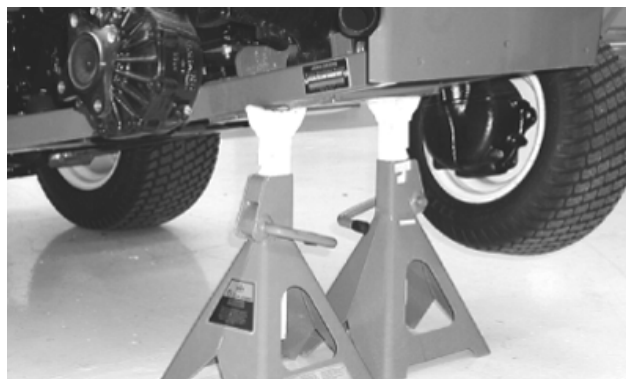
機械の後部の持ち上げ

1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。)



TCAL43403—UN—14MAR13

2. リアフレームの中心にフロアジャッキをかけて、リアタイヤが地面から離れるまで機械を持ち上げます。また、リアフレームプレート (A) をジャッキポイントまたはリフトポイントとして使用することもできますが、マフラー (B) を損傷しないように注意する必要があります。



TCAL43404—UN—14MAR13

その他の整備

3. ジャッキスタンドを左右のリアフレームの下に取り付けます。
4. 機械をジャッキスタンドの上に下ろします。

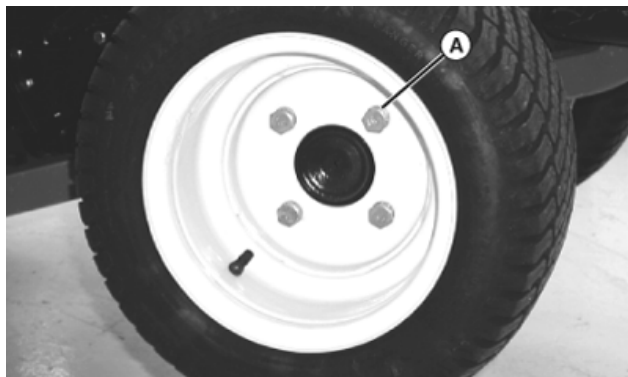
後輪の取り外し：2WD



TCAL43405—UN—14MAR13

1. 後輪のボルトと座金 (A) を後輪の中心から取り外します。
2. ホイール／タイヤアセンブリをリア車軸からまっすぐに引っ張って外します。

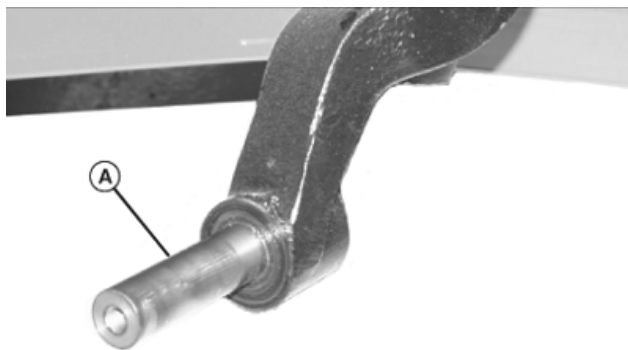
後輪の取り外し：4WD



TCAL43406—UN—14MAR13

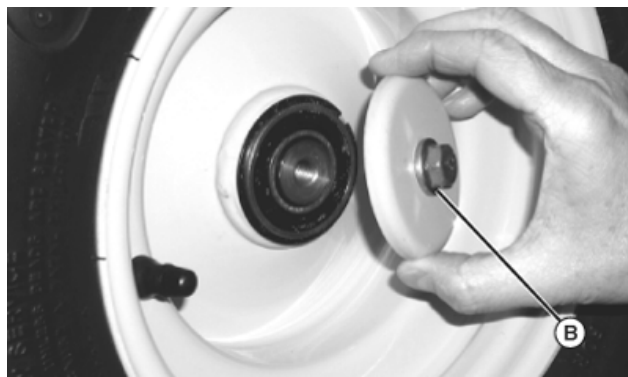
ホイールボルトと座金 (A) を取り外します。ホイールをリア車軸から取り外します。

後輪の取り付け：2WD



TCAL43407—UN—14MAR13

1. 後輪を取り付ける前に推奨グリースをリア車軸シャフト (A) に注入します。
2. バルブシステムを外側に向けて後輪を車軸ハブに取り付けます。



TCAL43408—UN—14MAR13

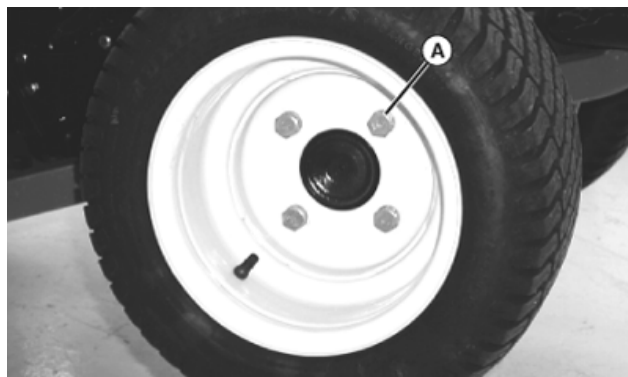
3. 座金とホイールボルト (B) を取り付けます。トルクレンチを使用して後輪取り付けボルトを規定のトルクで締め付けます。

仕様

リアホイールボルトー トルク 82 N・m (60 lb-ft)

4. リアフレームの中心をジャッキアップして機械を上げます。ジャッキスタンドを取り外して、機械を地面に下ろします。

後輪の取り付け：4WD



TCAL43409—UN—14MAR13

1. バルブシステムを外側に向けて後輪を車軸ハブに取り付けます。
2. 座金とホイールボルトを取り付けます。トルクレンチを使用して後輪取り付けボルト (A) を規定のトルクで締め付けます。

仕様

リアホイールボルトー トルク 225 N・m (165 lb-ft)

3. リアフレームの中心をジャッキアップして機械を上げます。ジャッキスタンドを取り外して、機械を地面に下ろします。

トラブルシューティング

トラブルシューティング表の使用

この表に掲載されていない問題が発生している場合は、整備について認定取扱店にお問い合わせください。
掲載されているすべての原因を確認し、引き続き問題が発生している場合は、認定取扱店にお問い合わせください。

エンジン

問題	点検
エンジンの性能低下	燃料システムに異物が混入しているか、燃料が古くなっている。燃料を、スタビライザを添加した新しい燃料と交換します。作業機の問題を疑う前に、他のサプライヤから燃料を入手します。燃料のブレンドは販売業者間で異なるため、販売業者を変えると性能の問題が一般に解決します。 寒冷気候または温暖気候用にブレンドされた燃料は、正しくない季節に使用した場合、特に数か月以上保存した場合、性能の問題を引き起こす可能性があります。新しい燃料を入手してください。
エンジンが始動しない (スタータがかみ合わない)	シートスプリング調整が固すぎるためにシートスイッチが作動していない。 PTO スイッチが ON になっている。 マスターブレーキペダルが踏み込まれていない。 電気的問題：「電気のトラブルシューティング」セクション参照。
エンジンが始動しない (スタータがかみ合い、エンジンが回る)	燃料シャットオフバルブが OFF 位置にある。 燃料がないまたは不適切。 燃料フィルタの詰まり。 電気的問題：「電気のトラブルシューティング」セクション参照。
エンジンが始動しにくい	チョークまたはエンジン予熱ヒーターの不適切な使用。 燃料フィルタの詰まり。 燃料が古いか、不適切。
エンジンの運転が不均一	チョークが全開していない。 燃料ラインまたは燃料フィルタの詰まり。 燃料が古いか、汚れている。 フューエルインジェクタの詰まり。 エアクリーナエレメントの詰まり。
負荷状態でエンジンが失火する	チョークが全開していない。 燃料が古いか、汚れている。 燃料フィルタの詰まり。
エンジンのオーバーヒート	エンジン吸気スクリーンの詰まり。 エンジンクーラントレベルが低い。 エンジンオイルレベルが低すぎるか高すぎる。 スローアイドル回転数でのエンジンの運転時間が長すぎる。
エンジンがアイドリングにならない	チョークが正しく使用されていない。 燃料レベルが低すぎる。 エアクリーナエレメントが汚れている。 オペレータがパーキングブレーキをロックしないでシートから離れている。
エンジンがノッキングを起こす	燃料の劣化。 エンジン過負荷。 エンジン回転数が低い。
傾斜面で運転しているときにエンジンが停止または失火する	燃料レベルが低すぎる。 オペレータがシートから離れている。
エンジンのバックファイア	オペレータがシートから離れている。
エンジン出力低下	エンジンのオーバーヒート。 エンジンオイルが多すぎる。 エアクリーナの汚れ。 走行速度が条件に対して速すぎる。 燃料が不適切。
排気煙が黒い	チョークが全開していない。 エアフィルタエレメントが汚れている。

トラブルシューティング

電気

症状	点検
スタータがかみ合わない	ブレーキペダルが踏まれていない。 PTO スイッチが ON 位置にある。 バッテリーが充電されていない。 ヒューズが切れている。
バッテリーが充電されない	バッテリーのセルが放電している。 バッテリーのケーブルと端子が汚れている。 エンジン回転数が低いか、アイドルリング過剰。
表示灯が機能しない	ライトのプラグが外れている。 バルブの緩みまたは切れ。

機械

症状	点検
エンジンは作動しているが、機械が動かない	トランスアクスルのパイパスバルブプレートがかみ合い位置にある。

一般的な DTC のトラブルシューティングガイド

以下によくある診断トラブルコード (DTC) と考えられる解決法の一覧を示します。一覧にある解決法でコードを解決できない場合や、一覧にないコードが発生した場合は、該当の技術マニュアルを参照するか、お近くの John Deere 取扱店にお問い合わせください。

DTC のコード	DTC の説明	考えられる解決法
70.14	パーキングブレーキ OFF、始動 ON	パーキングブレーキを踏み込み、機械を始動します。
100.1	エンジン油圧が低い	エンジnakラックケースのオイルレベルと種類が適正であることを確認します。
110.0	エンジンクーラント温度が高い	ラジエータとオーバーフローボットのエンジンクーラントレベルが適正であることを確認します。
168.16	バッテリー電圧が高い	電圧を点検し、オルタネータをテストします。
168.18	バッテリー電圧が低い	電圧を点検し、バッテリーとオルタネータをテストします。
677.4	スタータリレー：アースへの短絡	スタータ回路の電気接続に湿気がないか点検します。露出した配線や短絡がないことを確認します。
677.14	クランク時間超過	エンジンのクランク時間は 30 秒を超えないようにしてください。
677.31	スタータのクールダウン	スタータを数分間冷まします。
920.3	ブザー：高電圧側への短絡	電気システムを点検します。
920.4	ブザー：アースへの短絡	電気システムを点検します。
931.3	燃料ポンプ：高電圧側への短絡	電気システムを点検します。
931.4	燃料ポンプ：アースへの短絡	電気システムを点検します。
1504.31	PTO ON：オペレータがシートにいない	オペレータはシートに座っている必要があります。PTO を解除し、オペレータがシートにいる状態で機械を再始動します。
1638.0	作動油温度が高い	ラジエータのオイルクーラーにごみがないか点検します。エンジンを運転して、作動油を冷却システムに循環させます。
3695.14	フィルタクリーニングが必要	機械のフィルタステータスが AUTO モードであることを確認します。DPF レベルを点検し、必要に応じて駐車再生を使用してフィルタをクリーニングします。
3702.01	駐車再生停止	再生を停止する必要があるか確認します。必要に応じて、再生を再開します。
3720.16	灰の清掃が必要	駐車再生を実行します。再生後に DTC が持続する場合は、取扱店にお問い合わせください。
3719.00	整備が必要	John Deere 取扱店の整備部門にお問い合わせください。
3719.16	駐車クリーニングが必要	駐車再生を実行します。再生後に DTC が持続する場合は、取扱店にお問い合わせください。
3941.14	PTO ON：シート ON	これはポップアップです。実際の DTC ではありません。
3941.31	PTO ON：パーキングブレーキ ON	機械を刈り作業などに使用する場合は、パーキングブレーキを解除します。
516124.3	エンジン運転要求：高電圧側への短絡	電気システムを点検します。

トラブルシューティング

DTC のコード	DTC の説明	考えられる解決法
516124.4	エンジン運転要求：アースへの短絡	電気システムを点検します。

安全な保管

⚠ 注意： 燃料蒸気は爆発性および可燃性があります。エンジンの排気ガスは一酸化炭素を含んでおり、深刻な病気や死亡事故の原因になります。

- 保管場所へまたは保管場所からの機械の移動に必要な時間のみエンジンを運転してください。
- 冷める前に機械を保管した場合、エンジンやマフラーの周辺からごみを取り除いていない場合、または可燃物の近くに保管した場合、機械や構造物の火災が発生する恐れがあります。
- タンクに燃料が残っている車両を、燃料蒸発ガスが直火や火花に達する可能性がある建物内に保管しないでください。
- 閉鎖区域に機械を保存する前にエンジンを冷ましてください。

保管のための機械の準備

1. 摩耗または損傷している部品を修理します。必要に応じて、部品を交換します。緩んでいる金具を締め付けます。
2. 錆防止のため傷や欠けのある金属面を修理します。
3. 機械から草やごみを取り除きます。
4. デッキの下を清掃し、シュートやバガーの内側から草やごみを取り除きます。
5. 機械を洗浄し、金属面やプラスチック面にワックスをかけます。
6. 機械を 5 分間運転し、ベルトやプーリーを乾燥させます。
7. 回転ポイントや摩耗ポイントにエンジンオイルを軽く塗布して錆を防止します。
8. グリースポイントを潤滑して、タイヤ空気圧を点検します。

保管のための燃料とエンジンの準備

燃料：

「安定化燃料」を使用していた場合は、安定化燃料をタンクにいっぱいまで注入します。

注記： 燃料タンクを満タンにすることにより、燃料タンク内の空気の量が減り、燃料の劣化が少なくなります。

安定化燃料を使用していない場合：

1. 十分に換気された区域に機械を安全に駐車します。（「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。）

注記： シーズン中は機械を最後に使用する時期を予測して、燃料タンクに燃料がほとんど残らないようにしてください。

2. エンジンをかけて、燃料がなくなるまで作動させます。
3. キースイッチ付きの機械の場合は、キーを OFF 位置にします。

重要： 劣化した燃料からはワニスが生じられ、キャブレターやインジェクタの部品が詰まってエンジン性能に影響を与える可能性があります。

- タンクに充填する前に、燃料に燃料コンディショナまたは安定剤を追加してください。
4. 燃料と燃料安定化剤を別の容器に混ぜます。混合の手順については、安定剤の手順に従ってください。
 5. 安定化燃料を燃料タンクに充填します。
 6. エンジンを数分間運転し、ガソリンエンジンのキャブレターまたはディーゼルエンジンのフューエルインジェクタ全体に混合燃料を循環させます。

エンジン：

車両を 60 日間以上使用しない場合は、エンジン保管手順に従ってください。

1. エンジンが暖かいときにエンジンオイルとフィルタを交換します。
2. 必要に応じて、エアフィルタを交換します。
3. エンジン吸気スクリーンからごみを除去します。
4. ガソリンエンジンの場合：
 - スパークプラグを取り外します。シリンダに 30 mL (1 oz) の新品のエンジンオイルを入れます。
 - スパークプラグを取り付けます。ただし、スパークプラグワイヤを接続しないでください。
 - エンジン 5~6 回クランキングしてオイルを行き渡らせます。
5. エンジンとエンジンルームを清掃します。
6. バッテリーを取り外します。
7. バッテリーとバッテリー電極を清掃します。電解液レベルを点検します (バッテリーがメンテナンスフリータイプではない場合)。
8. 燃料シャットオフバルブを閉じます (機械に装備されている場合)。
9. 涼しく、乾燥した、バッテリーの凍結しない場所にバッテリーを保管します。

注記： 保管しているバッテリーは、90 日ごとに再充電してください。

10. バッテリーを充電します。

重要： 長期にわたって日光にさらされると、ボンネット面が損傷します。機械を屋内に保管するか、屋外に保管する場合はカバーを使用してください。

11. 乾燥した、保護された場所に車両を保管します。車両を屋外に保管する場合は、車両に防水カバーをかけます。

バイオディーゼル燃料の保管

重要：バイオディーゼル燃料は、燃料販売業者が製造した日から 3 か月以内に使用する必要があります。

バイオディーゼル燃料使用の機械を (エンジンを作動させずに) 長期間保管する前に：

- 燃料タンクからすべてのバイオディーゼル燃料を抜き出します。
- オペレータマニュアルに記載されているように、タンクに従来型の石油燃料を満たします。
- エンジンを始動し、5 時間以上作動させます。

保管からの機械の復帰

1. タイヤ空気圧を点検します。
2. エンジンオイルレベルを点検します。
3. バッテリー電解液レベルを点検します (バッテリーがメンテナンスフリータイプではない場合)。必要に応じて、バッテリーを充電します。
4. バッテリーを取り付けます。
5. ガソリンエンジンの場合：スパークプラグの隙間を点検します。プラグを取り付け、規定のトルクで締め付けます。
6. すべてのグリースポイントを潤滑します。
7. 燃料シャットオフバルブを開きます (機械に装備されている場合)。
8. モアやアタッチメントを作動させないでエンジンを 5 分間運転し、エンジンにオイルを行き渡させます。
9. すべてのシールド、ガード、またはデフレクタが所定の位置に取り付けられていることを確認します。

仕様

エンジン

1550 のエンジン

エンジンモデル番号	Yanmar 3TNV80F
エンジン型式	4 サイクル、3 気筒、直列ディーゼル
排気量	1.267 L (77.3 cu in)
ボア	80 mm (3.15 インチ)
ストローク	84 mm (3.31 インチ)
バルブクリアランス	0.2 mm (0.008 インチ)
冷却	液冷式
インジェクションの種類	インダイレクト
エアクリーナ	ドライ、交換式デュアルエレメント
始動補助装置	グロープラグ

1570、1575、1580、1585 のエンジン

エンジンモデル番号	Yanmar 3TNV88C
エンジン型式	4 サイクル、3 気筒、直列ディーゼル
排気量	1.642 L (100.2 cu in)
ボア	88 mm (3.46 インチ)
ストローク	90 mm (3.54 インチ)
バルブクリアランス	0.2 mm (0.008 インチ)
冷却	液冷式
インジェクションの種類	ダイレクト
エアクリーナ	ドライ、交換式デュアルエレメント
始動補助装置	グロープラグ

容量

燃料タンク	60.5 L (16.0 gal)
クーラント (1550)	7.1 L (7.5 qt)
クーラント (1570、1575、1580、1585)	7.6 L (8.0 qt)
ハイドロスタティックトランスミッション (2WD)	8.5 L (9 qt)
ハイドロスタティックトランスミッション (1550、1570、4WD)	8.7 L (9.2 qt)
ハイドロスタティックトランスミッション (1575、1580、1585)	10.0 L (10.5 qt)
リア車軸 (4WD)	4.7 L (5 qt)
エンジンオイル容量 1550 (フィルタを含む)	3.1 L (3.3 qt)
エンジンオイル容量 1570、1575 (フィルタを含む)	4.1 L (4.3 qt)
エンジンオイル容量 1580、1585 (フィルタを含む)	4.8 L (5.1 qt)

締め付けトルク

全ホイール (以下を除く)	122 N•m (90 lb-ft)
後輪 : 2WD	82 N•m (60 lb-ft)

走行速度

1550, 1570, 1575

前進	0~12 km/h (0~7.5 mph)
後退	0~5 km/h (0~3.1 mph)

1580, 1585

前進 (ローレンジ)	0~13.7 km/h (0~8.5 mph)
前進 (ハイレンジ)	0~24.1 km/h (0~15.0 mph)

仕様

後退 (ローレンジ)	0~6.8 km/h (0~4.2 mph)
後退 (ハイレンジ)	0~12.9 km/h (0~8.0 mph)

タイヤの寸法

1550, 1570

前輪駆動タイヤ：標準	23x10.50-12
前輪駆動タイヤ：オプション	23x8.50-12
前輪駆動タイヤ：ダブル	23x8.50-12
リアタイヤ：2WD	18x.8.50-8
リアタイヤ：4WD	18x8.50-10

1575

前輪駆動タイヤ：標準	23x10.5-12
リアタイヤ	18x8.5-10

1580, 1585

前輪駆動タイヤ：標準	26x12-12
リアタイヤ	20x10-10

タイヤ空気圧

1550

フロントおよびリアタイヤ	140 kPa (20 psi)
------------------------	------------------

1570, 1575

前部	140 kPa (20 psi)
リアタイヤ：2 輪駆動	140 kPa (20 psi)
リアタイヤ：4 輪駆動	220 kPa (32 psi)

1580, 1585

前部	210 kPa (30 psi)
リアタイヤ	220 kPa (32 psi)

寸法

高さ (キャビン付き)	2.2 m (86.6 in)
幅 (標準タイヤ装着時)	1.3 m (51.7 in)
長さ (モアデッキ非装備時)	2.2 m (86.6 in)
軸距	1.3 m (49.2 in)
重量 (モアデッキまたは燃料を含まず)	844 kg (1860 lb)
地上高 (1550、1570、1575)	16.5 cm (6.5 in)
地上高 (1580、1585)	17.8 cm (7 in)

保証

製品保証

John Deere は新品の John Deere 製品について標準的な保証を提供しています。製品保証規約の写し、または米国およびカナダで購入された製品の保証条件の詳細については、最寄りの John Deere 取扱店にお問い合わせるか、以下に示すリソースをご利用ください。

米国

Web サイト :

http://www.deere.com/en_US/services_and_support/warranty/warranty.page

フリーダイヤル : 1-800-537-8233

取扱店検索 :

<http://dealerlocator.deere.com/servlet/country=US>

カナダ

Web サイト (英語) :

http://www.deere.ca/en_CA/services_and_support/service_plans_warranties/service_plans_warranties.page

Web サイト (フランス語) :

http://fr.deere.ca/en_CA/services_and_support/service_plans_warranties/service_plans_warranties.page

フリーダイヤル : 1-800-537-8233

取扱店検索 :

<http://dealerlocator.deere.com/servlet/country=CA>

排出ガス関連の保証はこのオペレータマニュアルに掲載されており、法または規則により要求される場合に適用可能です。

米国またはカナダ以外で購入された製品については、最寄りの John Deere 取扱店にお問い合わせください。

John Deere、カリフォルニア州および米国 EPA 排出ガス制御システム保証 (ノンロードディーゼル)

保証の下での権利と義務 :

カリフォルニア州大気資源局 (CARB)、アメリカ合衆国環境保護庁 (EPA) および John Deere は、お客様の2015年、2016年、あるいは2017年モデル年の産業用圧縮イグニッションエンジンに関する**排出ガス制御システム保証**について説明します。カリフォルニア州認定の新しいオフロード用圧縮イグニッションエンジンは、州の厳しいスモッグ防止基準に合致して設計、製造、装備される必要があります。その他の49州では、新しい非道路用圧縮イグニッションエンジンは、米国 EPA 排出ガス規制に合致して設計、製造、装備される必要があります。John Deere は、エンジンに誤用、無視、不適切なメンテナンスがない限り、下記の期間中エンジンの排出ガス制御システムを保証しなければなりません。

お客様の排出ガス制御システムには、フューエルインジェクション、空気導入システム、電子制御システム、EGR (排気ガス再循環装置) システムやディーゼル微粒子フィルタシステムなどの部品が含まれている場合があります。また、ホース、ベルト、コネクタ、その他の排出ガス関連部品がある場合もあります。

保証条件が存在する場合、John Deere は診断、部品、工数を含め、オフロード用圧縮イグニッションエンジンを無償で修理します。

メーカー保証期間 :

2015、2016あるいは2017モデル年のオフロード用圧縮イグニッションエンジンの保証期間は以下のとおりです：保証期間中にエンジンの排出ガス関連部品が故障した場合、部品は John Deere が修理または交換します。

お客様のエンジン認定	最大出力	定格回転数	保証期間
可変速または一定速度	kW <19	任意の速度	1,500 時間か 2 年のいずれか早い時期 運転時間の測定装置がない場合、エンジンの保証期間は 2 年間です。
一定速度	19 ≤ kW <37	3000 rpm 以上	1,500 時間か 2 年のいずれか早い時期 運転時間の測定装置がない場合、エンジンの保証期間は 2 年間です。
一定速度	19 ≤ kW <37	3,000 rpm 未満	3,000 時間か 5 年のいずれか早い時期 運転時間の測定装置がない場合、エンジンの保証期間は 5 年間です。
可変速	19 ≤ kW <37	任意の速度	3,000 時間か 5 年のいずれか早い時期 運転時間の測定装置がない場合、エンジンの保証期間は 5 年間です。
可変速または一定速度	kW ≥ 37	任意の速度	3,000 時間か 5 年のいずれか早い時期 運転時間の測定装置がない場合、エンジンの保証期間は 5 年間です。

保証範囲 :

保証期間中に機械が売却される場合、その後の各購入者にこの保証が譲渡されます。保証対象に修理または交換は John Deere 認定整備店が行います。

オーナーマニュアルが規定する必要なメンテナンスとして交換が予定されていない保証部品は、保証期間中は保証対象となります。オーナーマニュアルが規定す

る必要なメンテナンスとして交換が予定されている保証部品は、最初に予定されている交換時期以前の保証期間中に保証対象となります。必要なメンテナンスとして修理または交換が予定されている保証部品は、最初に予定されている交換時期前の残り期間中に保証対象となります。保証により修理または交換が予定されていない部品は、残りの保証期間について保証対象となります。

保証

保証期間中、John Deere は保証期間中に保証部品の故障により生じたその他のエンジン部品への損傷について責任を負います。

あらゆる点でオリジナルの装置と機能が同等である任意の交換部品をエンジンのメンテナンスあるいは修理に使用できます。これが John Deere の保証義務を軽減することはありません。免除対象ではない追加部品または改変部品を使用してはいけません。免除対象ではない追加部品または改変部品を使用すると、保証が拒否されます。

保証部品：

John Deere が最初の購入者に提供したエンジンの排出ガス制御システムの一部であるエンジン構成部品が保証対象となっています。そのような構成部品は以下のものを含みます：

- (A) フューエルインジェクション (高度補正システム)
- (B) 冷間始動エンリッチメントシステム
- (C) インテークマニホールドおよび吸気スロットルバルブ
- (D) ターボチャージャシステム
- (E) エグゾーストマニホールド
- (F) クランクケースベンチレーション (PCV) システム
- (G) チャージャエア冷却システム
- (H) 排気ガス再循環装置 (EGR) システム
- (I) 後処理排気ガス (ディーゼル微粒子フィルタシステム)
- (J) 上記システムで使用される電子コントロールユニット、センサー、ソレノイド、ワイヤハーネス
- (K) 上記システムで使用されるホース、ベルト、コネクタ、アセンブリ
- (L) 排出ガス規制情報ラベル

排出ガスに関連する部品はモデルごとにわずかに異なる場合があります。このため、モデルによってはこれらの部品すべては含まれてない場合や、機能上の同等品を含んでいる場合があります。

除外事項：

材料あるいは製造工程における不具合から起こる故障以外の故障は、この保証の保証対象ではありません。以下は保証対象ではありません：濫用、誤用、不適切な調整、改造、変更、不正変更、接続の解除、不適切なまたは誤ったメンテナンス、指定された規格に適合していない燃料や潤滑油の使用、事故による損傷および予定されているメンテナンスに関連して行われた消耗品の交換によって生じた故障。John Deere は、時間の損失、不便、装置／エンジンの使用不能損失、あるいは商業的損失などの偶発的あるいは間接的損傷に対して責任を負いません。

所有者の保証ならびに責務：

オフロード圧縮点火エンジンの所有者は、オペレータマニュアルに記載されている必要なメンテナンスを行う責任があります。 John Deere は、お客様のオフロード圧縮点火エンジンのメンテナンスに関するすべてのレシートを保管しておくことをお勧めしますが、レシートがないことまたはすべての予定メンテナンスを実施しなかったことだけを理由に保証を拒否することはできません。

しかし、お使いのオフロード用圧縮イグニッションエンジンまたはのディーゼルエンジンが、誤用、無視、不適切なメンテナンス、許可されていない改造のために故障した場合は、John Deere は保証を拒否する場合があります。

お使いのエンジンはディーゼル燃料のみを使用して運転するように設計されています。それ以外の燃料を使用すると、エンジンが CARB および EPA 規制を順守する運転ができなくなることがあります。

保証請求プロセスを開始する責任はお客様にあります。問題が発生次第、直ちに John Deere 整備店にお使いのエンジンを提示する必要があります。保証の下での修理は、取扱店によってできるだけ迅速に行われる必要があります。

排出ガス保証範囲、排出ガス保証クレームの申請方法、排出ガス関連の承認された修理の予定を立てる方法について質問がある場合は、John Deere Turf and Utility 取扱店または John Deere Customer Contact Center (1-800-537-8233) に電話で、または https://groundscare.custhelp.com/app/utils/login_form/redirect/ask からメールでお問い合わせください。

タイヤ保証

John Deere の保証は、John Deere パーツシステムを通じて入手可能なタイヤに適用されます。John Deere 部品システムから入手できないタイヤの場合、米国外ではメーカーの保証が機械に適用されない場合があります（詳細については、John Deere 取扱店にお問い合わせください）。

工場取り付けバッテリーのバッテリー限定保証

注記：北米のみに適用。機械全体の保証については、John Deere 保証書の写しを参照してください。写しについては、John Deere 取扱店にお問い合わせください。

保証整備を受けるには

購入者は、John Deere バッテリーの販売を許可されている John Deere 販売店に保証サービスを要求し、販売店に上部のカバープレートコードを提示する必要があります。

保証

無料交換期間

材料または製造工程の欠陥により、無料交換期間内に整備不能（たんなる放電ではなく）となった新品のバッテリーは無料で交換します。サービス不能となったバッテリーが John Deere の工場または取扱店により取り付けられた場合、交換バッテリーを John Deere 取扱店が取り付けた場合は、取り付け費用も保証の対象となります。

比例調整 (文字コード識別付きバッテリーのみ)

材料または製造工程の欠陥により、比例保証期間内に整備不能（たんなる放電ではなく）となった新品のバッテリーは、整備の未使用月に対する比例クレジット未満の、バッテリーの現行表示価格を支払うことにより交換します。適用可能な調整期間は、バッテリーの上部に表示されている保証コードおよび下の表により決定されます。バッテリー保証期間終了後は、取り付け費用は保証の対象とはなりません。

保証コード	無料交換期間	比例保証期間
A	90 日	40 か月
B	90 日	36 か月
C	90 日	24 か月
D	12 か月	48 か月
E	90 日	12 か月
F	90 日	60 か月
G	12 か月	60 か月
H	12 か月	60 か月
6	6 か月	0 か月
12	12 か月	0 か月
18	18 か月	0 か月

この保証は、下記の条件には適用されません。

- A. 容器、カバー、または端子の破損
- B. 合理的で必要なメンテナンスの欠如または不適切なメンテナンスにより発生した価値の低下または損傷
- C. 保証整備に関連する輸送、郵送、または整備の電話の料金
- D. たんなる放電のバッテリー。

黙示保証の制限と購入者の救済

法により許される範囲において、John Deere とその関連会社は、この保証の対象に含まれる製品の品質、性能、または欠陥がないことについて一切保証、提示、または約束を行いません。商品性の暗黙保証および特定の目的への適合性は、適用される範囲で、ここに規定する適用可能な調整期間に制限されるものとします。John Deere バッテリーの保証の不履行または遂行に関連する、購入者の唯一の救済策はここに記載するとおりです。いかなる場合でも、取扱店、John Deere、または John Deere 関連会社は偶発的または間接的損害に責任を負いません。(注記：一部の州では、黙示保証の持続期間の制限、または偶発的または間接的損害の保証の除外または制限が許可されていません。このような場合、制限や除外はお客様に適用されない場合があります)。この保証は固有の法的権利を与えるものであり、お客様は州によって異なる複数の権利を有する場合があります。

取扱店の保証なし

販売している取扱店は独自の保証を行いません。また、John Deere に代わって提示または約束を行った、方法はどうかでこの保証の条件または制限を変更したりする権限を有しません。

保証期間表

注記：バッテリーに保証コードのラベルがない場合、保証コード「6」に該当します。

John Deere 品質に関する声明

John Deere 品質



TCAL41258—UN—18JAN13

John Deere の装置は単に購入するものではなく、品質への投資対象です。この品質は装置を越えて John Deere 取扱店の部品や整備サポートに及びます。このサポートはお客様の満足を維持するうえで必要です。

お客様の質問や問題が発生した場合に John Deere がそれを扱うプロセスを開始した理由はここにあります。プロセスを進めるうえで以下の 3 つの手順がお客様の役に立ちます。

手順 1

オペレータマニュアルの参照

- | | |
|---|--|
| A. オペレータマニュアルには、お客様の装置の安全で正しい操作に関する多数のイラストおよび詳細情報が記載されています。 | C. 部品カタログ、整備、技術マニュアルの注文情報が記載されています。 |
| B. トラブルシューティング手順や仕様情報が記載されています。 | D. オペレータマニュアルで質問の回答が見つからない場合は、手順 2 に進んでください。 |

手順 2

取扱店への問い合わせ

- | | |
|---|---|
| A. John Deere 取扱店は、質問に答え、問題を解決し、お客様の部品や整備のニーズを満たす責任、権限、能力があります。 | C. 部品や整備の担当者がお客様の問題を解決できない場合は、販売店の管理者または所有者にお問い合わせください。 |
| B. まず、取扱店の熟練した部品/整備スタッフと質問や問題を話し合ってください。 | D. 取扱店で質問や問題が解決しない場合は、手順 3 に進んでください。 |

手順 3

John Deere への問い合わせ

- A. John Deere 取扱店はすべての問題に対処する際に最も効率的な問合せ先です。ただし、オペレータマニュアルを参照し、取扱店に問い合わせても問題を解決できない場合に John Deere にお問い合わせください。
- B. 適切で効果的な整備を実施するため、電話をかける前に次の情報を用意してください。
- | | |
|-------------------|------------------------------|
| 応対した取扱店の名前。 | このマニュアルの表紙の内側に記録したシリアル番号。 |
| 装置のモデル番号。 | アタッチメントの問題の場合は、アタッチメントの識別番号。 |
| 機械の運転時間 (該当する場合)。 | |
- C. 次に、1-800-537-8233 (米国およびカナダ) までお電話ください。当社のアドバイザーが取扱店と共同で懸案事項を調査します。米国およびカナダ以外の国に居住する場合は、以下の Web サイトにアクセスしてご連絡ください。 www.deere.com/wps/dcom/en_US/regional_home.page

整備記録

整備日の記録

[illegible]

索引

4	
4 輪駆動 (1550、1570、1575)	36
4 輪駆動 (1580、1585)	36
D	
DPF 負荷レベル	48
P	
PDU	
セットアップ	
パスコード	39
PTO シャフト、潤滑	61
PTO スイッチ、テスト	
1570、1575、1580、1585	30
PTO スイッチ、使用	
1570、1575、1580、1585	32
R	
ROPS、上げる／下げる	53
ウ	
ウォーターセパレータ、抜き取り (1570、 1575、1580、1585)	76
エ	
エアクリーナエレメント、整備	71
エグゾーストフィルタ、整備	
フィルタ、整備、エグゾースト	78
エンジンオイル	
フィルタ、交換	
1550	65
1570、1575、1580、1585	66
点検	
1550	64
1570、1575、1580、1585	65
エンジンカバー、開く	35
エンジンのトラブルシューティング	100
エンジン、始動	54
エンジン、停止	54
オ	
オイル、エンジン	63
オイルクーラーとラジエータの清掃	68
オイル、トランスアクスル、交換	79
オイルレベル、トランスアクスル	79
オペレータコントロール	
1570、1580	25
1575 と 1585 (キャブモデル)	26
オペレータのトレーニングが必要です	16
オルタネータベルト、調整	77
キ	
キースイッチ、使用	
1550	33
1570、1575、1580、1585	33
キャビン、ROPS (転倒時保護構造) の取り付けの点検	
ROPS (転倒時保護構造) の取り付け、 キャビンの点検	97
キャビン、エアコンの整備	

エアコン、キャビン、整備	94
キャビンのエアフィルタ、清掃	95
キャビン、乗降	29
キャブのコントロール	34
ク	
クーラント	
ディーゼルエンジン	
ライトデューティ	72
クーラントレベル、点検	73
グリース	60
クリーブの調整	81
コ	
コントローラ	
セットアップ	
PDU	
パスコード	39
シ	
シートスライド、潤滑	62
シートブラットフォーム、上げる／下げる	64
シート、調整	31
シート、調整 (デラックスサスペンション)	30
ス	
スイッチ、シートおよびパーキングブレー キのテスト	30
スクリーン、エンジンカバーの清掃	68
ステアリングコラムのチルトロック、潤滑	62
ステアリングコラム、調整	32
ステアリングシリンダ、潤滑	60
ステアリングスピンドル、潤滑	61
スパークアレスタ、使用	17
スロットルレバー、使用	33
タ	
タイロッドトーイン調整	84
タイロッド、潤滑	60
ダストアンローディングバルブ、清掃	71
チ	
チルトロックの調整、ステアリングコラム	85
テ	
ディーゼル燃料、使用	92
ディーゼル微粒子フィルタ (DPF) 再生機能 (1570、1575、1580、1585)	48
ディスプレイ、使用	
1550	36
1570、1575、1580、1585	37
ト	
トラブルシューティングガイド、一般的な DTC	101
トラブルシューティング表	100
トランスアクスルオイル	79
トランスアクスルドライブシャフト、潤滑	61
ハ	
ハイドロスタティックリンケージ、潤滑	61

索引

バッテリーと端子、清掃	88	後	
バッテリー、ブースターの使用	88	後退ペダルと前進ペダルの調整	80
バッテリー、安全な整備	87	再	
バッテリー、取り付けと取り外し	87	再生	
ヒ		能動的再生の禁止	47
ヒューズ		車	
点検と交換		車軸ピボットピン、潤滑	60
1550	89	遮	
1570, 1575, 1580, 1585	90	遮断弁、燃料、使用	52
キャビン、1575/1585	90	準	
フ		準備	16
フィルタ目詰まりインジケータ、点検	70	診	
プラスチック面や塗装面、損傷の防止	29	診断トラブルコード (DTC) 一覧	101
プラスチック面、清掃	96	整	
ブレーキ、パーキングのテスト	30	整備タイマー	
ブレーキペダルリンケージ、潤滑	62	使用	44
ブレーキ、使用	51	整備用ラッチ、使用	93
ヘ		清	
ペダル、トラクションアシストの使用	52	清掃エリア	24
ペダル、ハイドロスタティックの使用	51	装	
ベルト、オルタネータの交換	77	装置、上昇と下降	53
ホ		電	
ホイールの取り外し/取り付け、リア	98	電解液レベル、バッテリーの点検	87
ホイールの取り外し/取り付け、前輪	97	電気のトラブルシューティング	101
ホースとクランプの点検、エアインテーク	72	認	
ホースの点検、ラジエータ	72	認定	10
ラ		燃	
ラベル、安全テキスト	7	燃料システム	
リ		ブライミング	77
リア車軸オイル	81	燃料タンク、注入	93
リア車軸オイル、交換	82	燃料の安全	22
リア車軸のオイルレベル	82	燃料の保管	103
安		燃料フィルタ	
安全システム、テスト	29	1550、整備	75
安全、タイヤ	22	1570、1575、1580、1585、交換	76
安全な牽引	20	燃料遮断弁、使用	52
安全な保管	103	部	
安全ラベル、テキスト	7	部品、交換	57
安全ラベル、警告：挟み込み防止 TCU31702	13	保	
慣		保管、機械の準備	103
慣らし運転点検間隔	58	保管、機械の復帰	104
機		保証メンテナンス告知、エンジン	63
機械ディスプレイ、ポップアップ通知		保証、製品	107
(1570、1575、1580、1585)	41	冷	
機械のトレーラー輸送	55	冷却システム、安全な整備	73
機械を動かす	54	冷却システム、整備	74
技			
技術マニュアル	57		
金			
金属面、補修と清掃	96		

